

蕪崎市国民健康保険
データヘルス計画
(第3期特定健康診査等実施計画)

(平成30年度～平成35年度)

平成30年3月
蕪崎市

第1章	計画策定について	
	1. 背景	1
	2. 基本方針	2
	3. データヘルス計画の位置づけ	3
	4. 計画期間	3
第2章	現状と課題把握	
	1. 保険者の特性把握	4
	(1) 基本情報	4
	(2) 医療費等の状況	6
	(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	7
	① 特定健康診査	7
	② 特定保健指導	9
	(4) 介護保険の状況	11
	(5) 主たる死因の状況	14
	2. 過去の取り組みの考察	15
	3. 医療情報分析結果	17
	(1) 基礎統計	17
	(2) 高額レセプトの件数及び医療費	19
	① 高額レセプトの件数及び割合	19
	② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	21
	(3) 疾病別医療費	25
	① 大分類による疾病別医療費統計	25
	② 中分類による疾病別医療費統計	29
	4. 保健事業実施に係る分析結果	39
	(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	39
	(2) 特定健康診査に係る分析	40
	(3) 特定保健指導に係る分析	42
	(4) 健診異常値放置者に係る分析	44
	(5) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	46
	(6) 受診行動適正化に係る分析	50
	(7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	53
	5. 分析結果に基づく健康課題の把握	56
	(1) 分析結果	56
	(2) 分析結果に基づく課題とその対策	60
第3章	保健事業実施計画	
	1. 各事業の目的と概要一覧	61
	2. 各事業の実施内容と評価方法	63
	(1) 特定健康診査受診勧奨事業	63
	(2) 特定保健指導事業	64
	(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業	65
	(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業	66

-目次-

	(5) 受診行動適正化指導事業（重複・頻回受診、重複服薬）	67
	(6) ジェネリック医薬品差額通知事業	68
	3. 全体スケジュール	69
第4章	特定健康診査等実施計画	
	1. 計画策定の趣旨	70
	2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ	70
	3. 計画期間	70
	4. 特定健診及び保健指導の分析	70
	(1) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況等	70
	(2) 特定健康診査及び特定保健指導の事業実施に係る分析結果	70
	5. 第3期計画の目標値	71
	(1) 特定健診（特定健康診査）の目標値	71
	(2) 特定保健指導の目標値	71
	6. 特定健診・特定保健指導の実施方法	71
	(1) 特定健康診査の実施方法	71
	(2) 特定保健指導の実施方法	72
	(3) 特定健診等年間スケジュール	75
	7. 特定健康診査等の結果の管理と個人情報の保護	75
	(1) データの保管・管理方法・保存年限	75
	(2) 個人情報の取扱い	75
	8. 特定健康診査等実施計画の公表・周知	75
	9. 特定健康診査等実施計画の評価・見直し	75
第5章	その他	
	1. データヘルス計画の見直し	76
	2. 計画の公表・周知	76
	3. 事業運営上の留意事項	76
	4. 個人情報の保護	76
地区分析		
	1. 大分類による疾病別医療費地区別統計	
	2. 中分類による疾病別医療費地区別統計	
年度別	特定健康診査結果分析	
	1. 有所見者割合	
	2. 質問別回答状況	
巻末資料		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	2. 用語解説集	
	3. 疾病分類表	

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。その中で蕪崎市国民健康保険はこれまで各種計画に基づき保険事業を行ってきた。さらに、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。

こうした背景を踏まえて、レセプト・健診データの分析に基づくデータヘルス計画の作成・公表、事業実施、評価などの取組みを行うため、データヘルス計画と第3期特定健診実施計画を一体的に策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

2. 基本方針

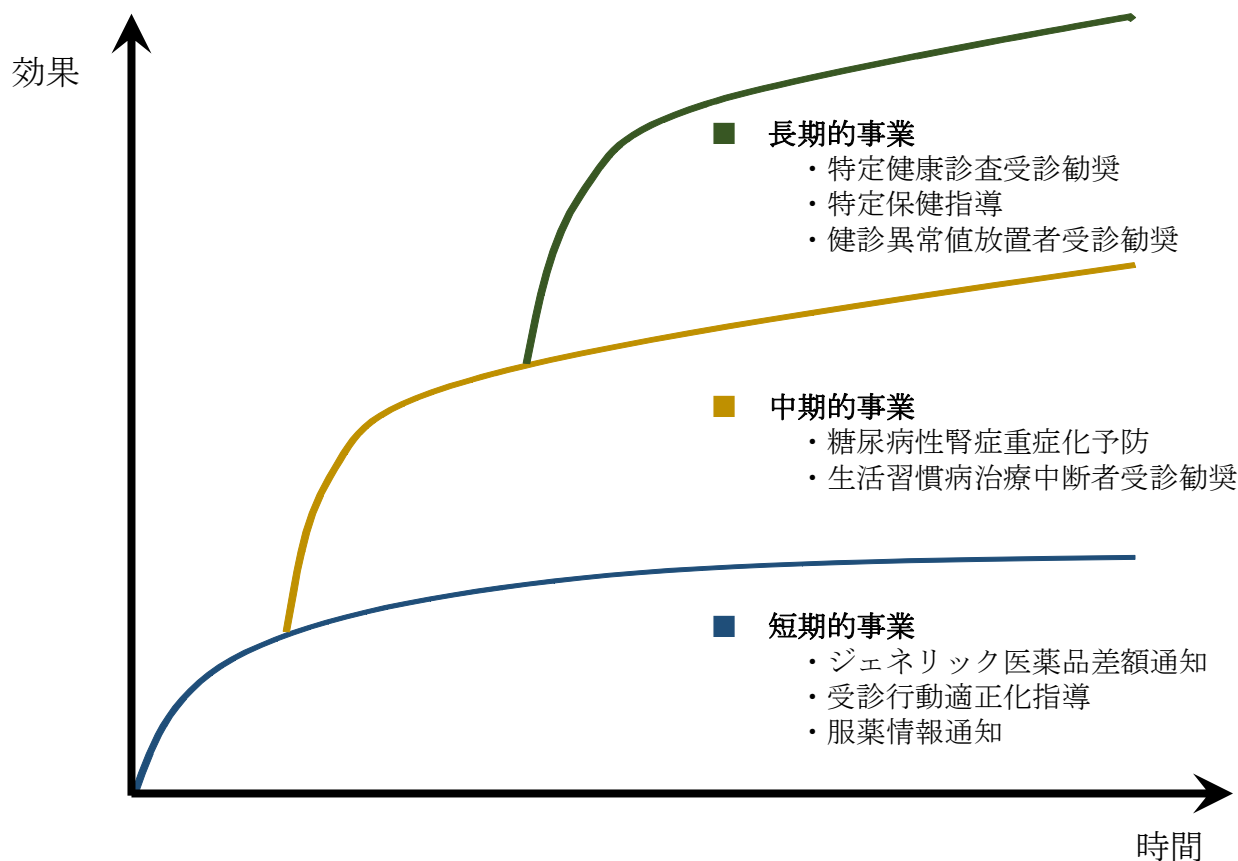
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を韮崎市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



3. データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

4. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度までの6年間とする。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース (KDB) システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

第2章 現状と課題把握

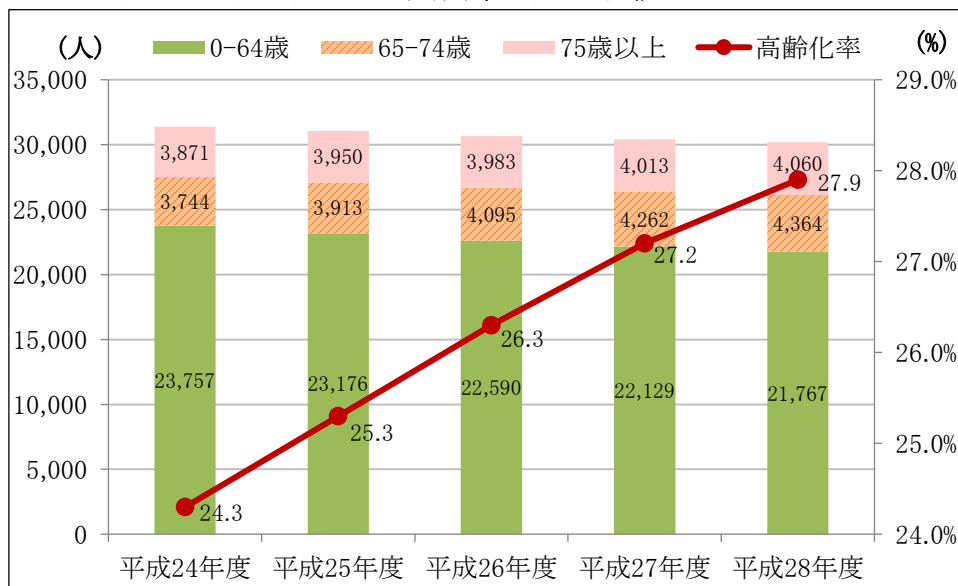
1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

①市の人口と高齢化率

本市の人口構成を、過去5年で比較すると、総人口は1,151人減少しているが、65歳以上の人口は809人増加しており、平成28年の高齢化率は27.9%となっている。

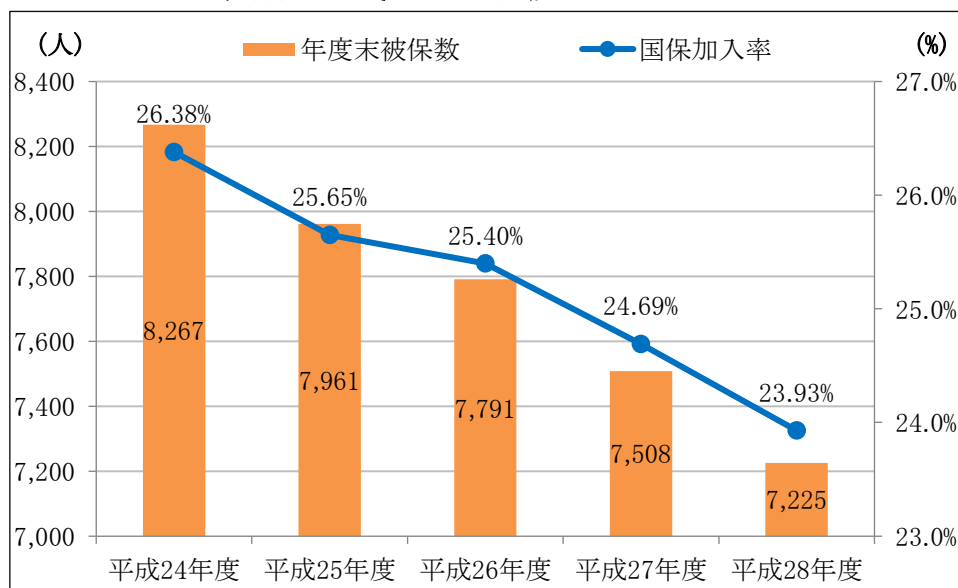
図1 市の人口と高齢化率の推移



②国民健康保険被保険者の状況

本市の国保加入状況を過去5年間で比較すると、加入者は、1,042人減少して7,225人、平成28年度末の国保加入率は23.9%となっている。

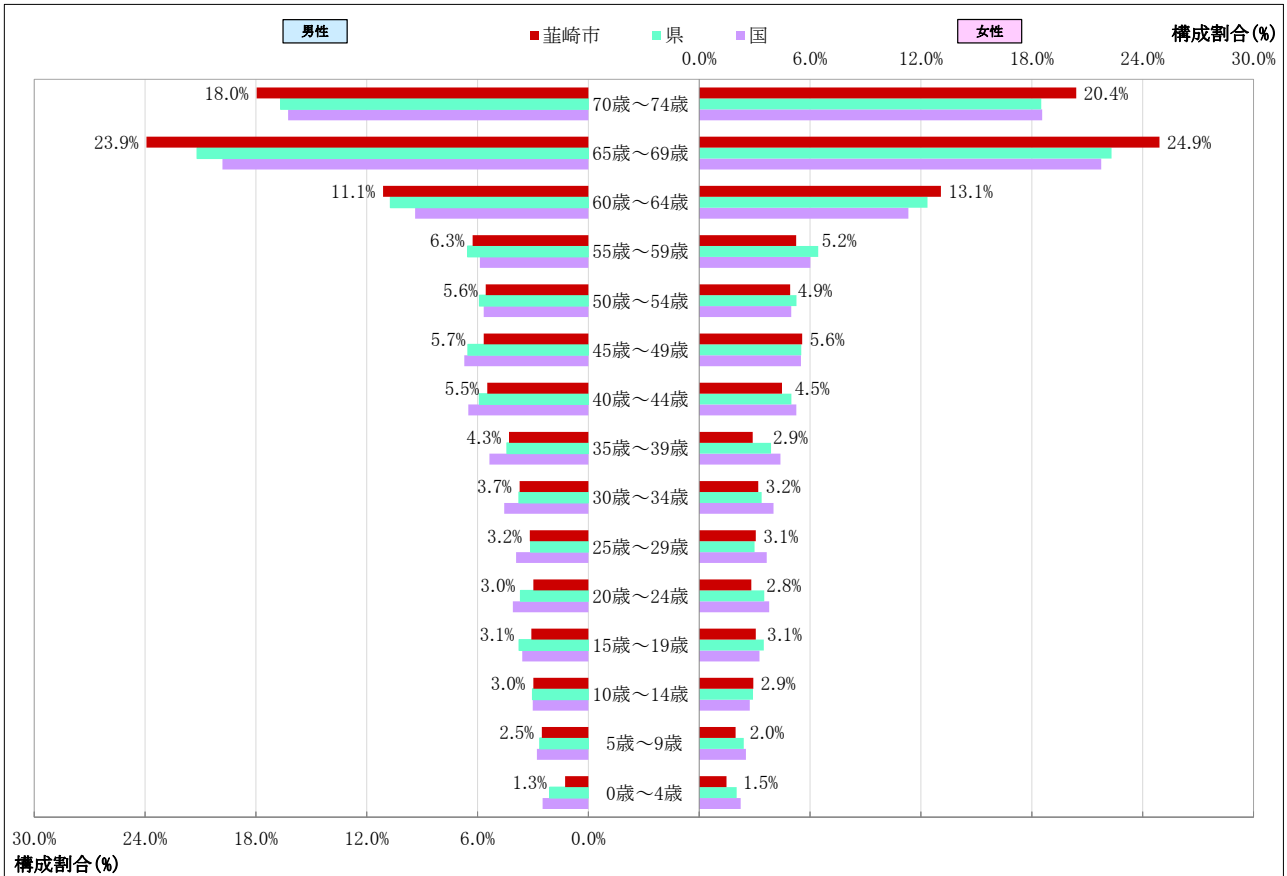
図2 国保加入状況の推移



③年齢階層別男女別構成

年齢階層別・性別の被保険者数を比較すると、男女ともに65歳から69歳までの階層の被保険者が最も多く、60歳から74歳までの加入者が全被保険者の半数を超えている。これは、定年退職等に伴い社会保険等から国民健康保険に加入する方が多いという制度上の傾向とも重なる。国、県ともに構成は同様の傾向にある。

図3 男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド（平成28年度）



(2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	韮崎市	県	国
千人当たり			
病院数	0.7	0.3	0.3
診療所数	3.8	3.1	3.0
病床数	92.4	49.8	46.8
医師数	9.2	8.7	9.2
外来患者数	681.6	660.1	668.3
入院患者数	18.2	18.6	18.2
受診率	699.8	678.7	686.5
一件当たり医療費(円)	35,280	35,850	35,330
一般(円)	35,330	35,880	35,270
退職(円)	33,920	34,910	37,860
後期(円)	0	0	0
外来			
外来費用の割合	59.8%	61.0%	60.1%
外来受診率	681.6	660.1	668.3
一件当たり医療費(円)	21,680	22,490	21,820
一人当たり医療費(円)	14,770	14,840	14,580
一日当たり医療費(円)	14,370	14,590	13,910
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.6
入院			
入院費用の割合	40.2%	39.0%	39.9%
入院率	18.2	18.6	18.2
一件当たり医療費(円)	543,260	510,540	531,780
一人当たり医療費(円)	9,910	9,490	9,670
一日当たり医療費(円)	33,330	31,350	34,030
一件当たり在院日数	16.3	16.3	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

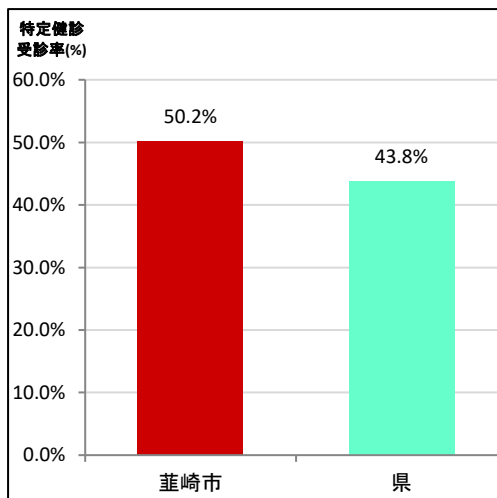
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
韮崎市	50.2%
県	43.8%

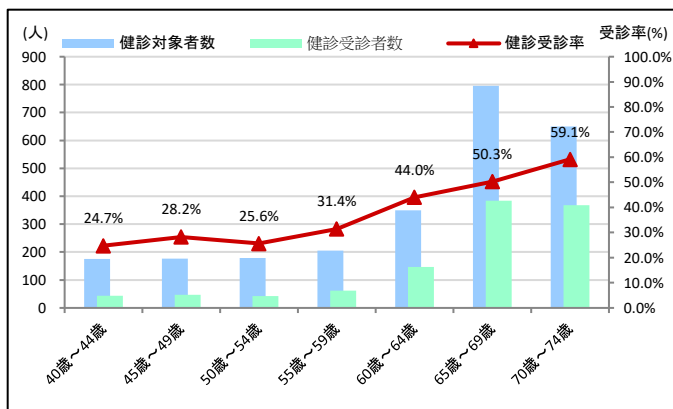
出典: 特定健診・特定保健指導実施結果集計表(県集計)

特定健康診査受診率(平成28年度)

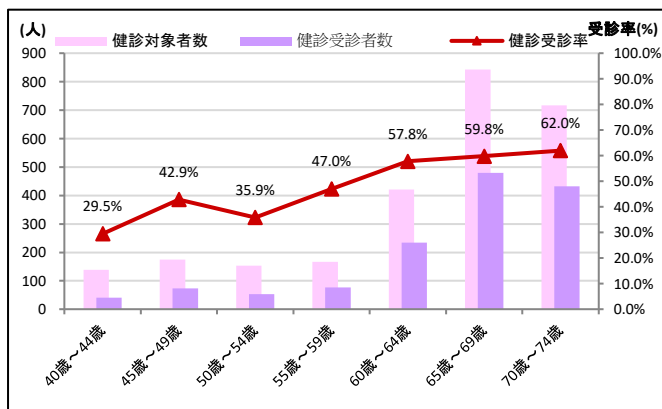


出典: 特定健診・特定保健指導実施結果集計表(県集計)

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



(女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: (平成28年度 法定報告値) 特定健診・特定保健指導実施結果総括表(平成28年度)

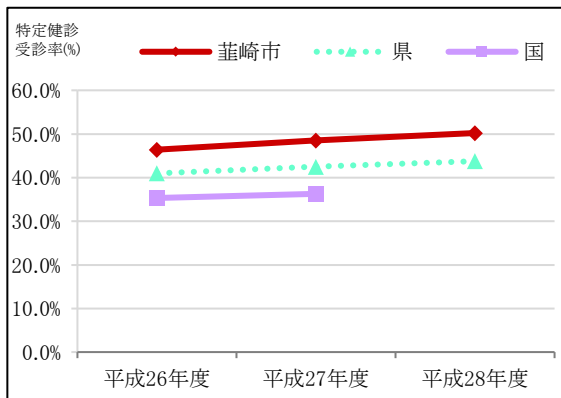
本市の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率50.2%は平成26年度46.4%より3.8ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
蕪崎市	46.4%	48.5%	50.2%
県	41.0%	42.5%	43.8%
国	35.3%	36.3%	-

出典: 特定健診・特定保健指導実施結果集計表 (県集計)

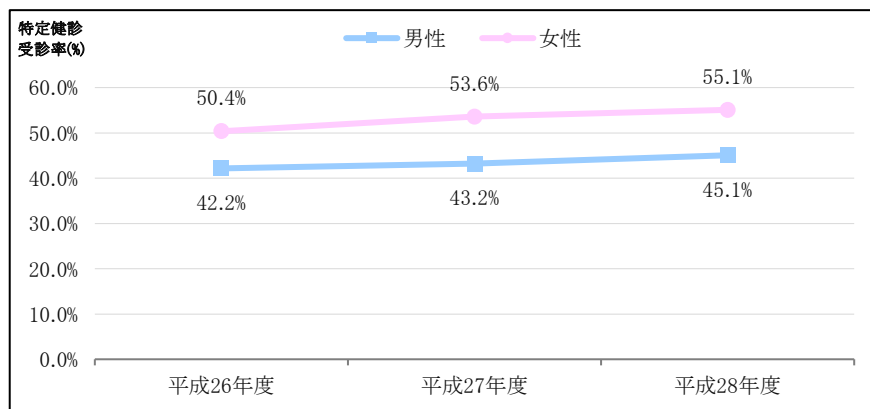
年度別 特定健康診査受診率



出典: 特定健診・特定保健指導実施結果集計表 (県集計)

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率45.1%は平成26年度42.2%より2.9ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率55.1%は平成26年度50.4%より4.7ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典: (平成28年度 法定報告値) 特定健診・特定保健指導実施結果総括表 (平成28年度)

②特定保健指導

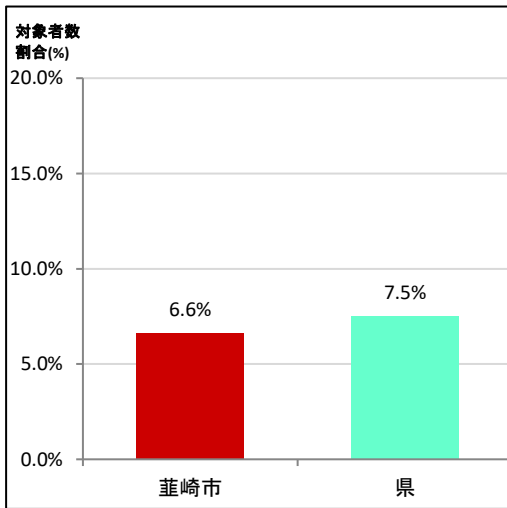
本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
韮崎市	6.6%	2.4%	9.0%	73.0%
県	7.5%	3.2%	10.7%	47.2%

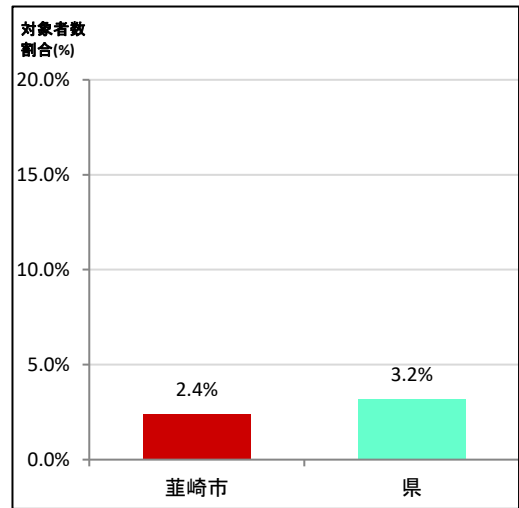
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
出典:特定健診・特定保健指導実施結果集計表(県集計)

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



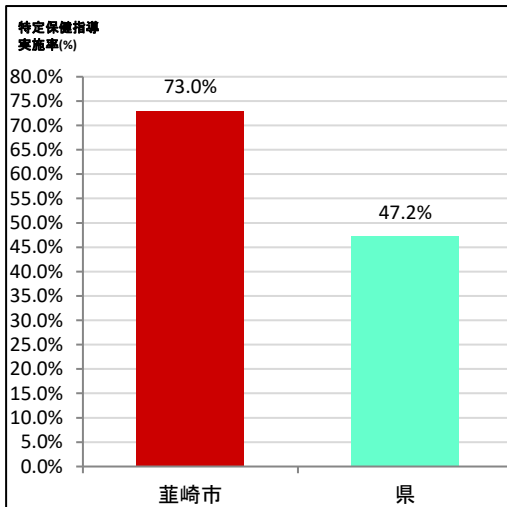
出典:特定健診・特定保健指導実施結果集計表(県集計)

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:特定健診・特定保健指導実施結果集計表(県集計)

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:特定健診・特定保健指導実施結果集計表(県集計)

本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成28年度の特定保健指導実施率73.0%は平成26年度79.5%より6.5ポイント低下している。

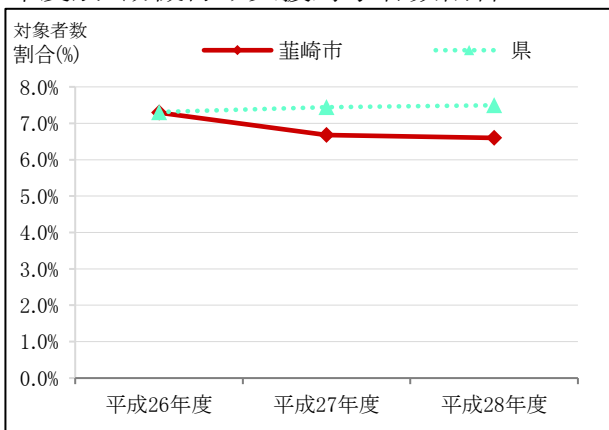
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
韮崎市	7.3%	6.7%	6.6%	2.3%	2.7%	2.4%	9.6%	9.4%	9.0%	79.5%	75.5%	73.0%
県	7.3%	7.4%	7.5%	3.2%	3.3%	3.2%	10.5%	10.6%	10.7%	47.5%	46.5%	47.2%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

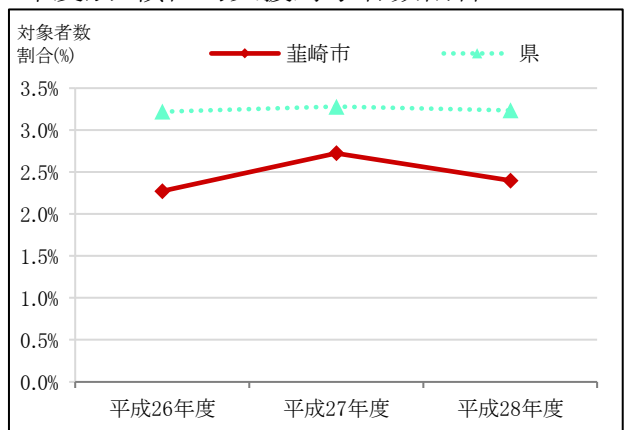
出典:特定健診・特定保健指導実施結果集計表（県集計）

年度別 動機付け支援対象者数割合



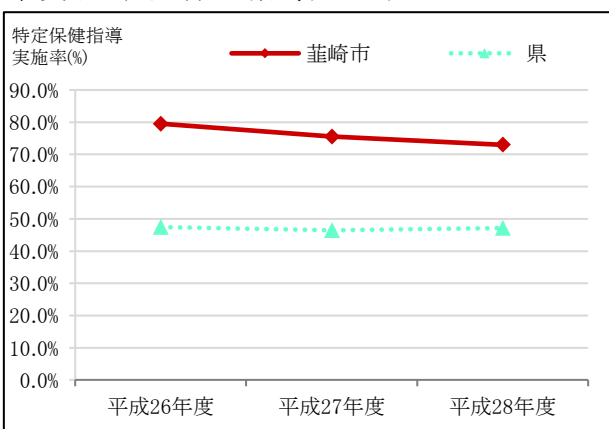
出典:特定健診・特定保健指導実施結果集計表（県集計）

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:特定健診・特定保健指導実施結果集計表（県集計）

年度別 特定保健指導実施率



出典:特定健診・特定保健指導実施結果集計表（県集計）

(4) 介護保険の状況

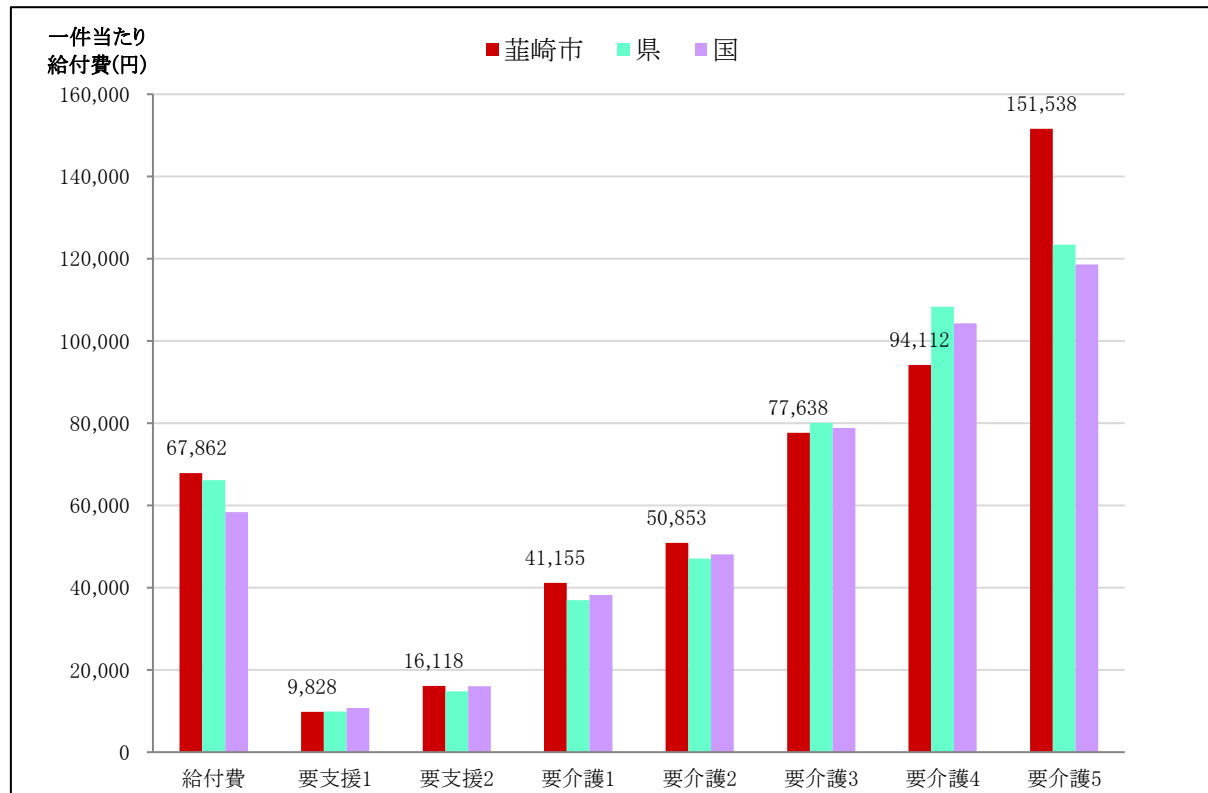
本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	菫崎市	県	国
認定率	15.2%	17.9%	21.2%
認定者数(人)	1,142	38,702	6,034,085
第1号(65歳以上)	1,118	37,888	5,882,340
第2号(40～64歳)	24	814	151,745
一件当たり給付費(円)			
給付費	67,862	66,103	58,349
要支援1	9,828	9,907	10,730
要支援2	16,118	14,802	15,996
要介護1	41,155	36,939	38,200
要介護2	50,853	47,079	48,047
要介護3	77,638	80,058	78,791
要介護4	94,112	108,312	104,264
要介護5	151,538	123,374	118,599

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

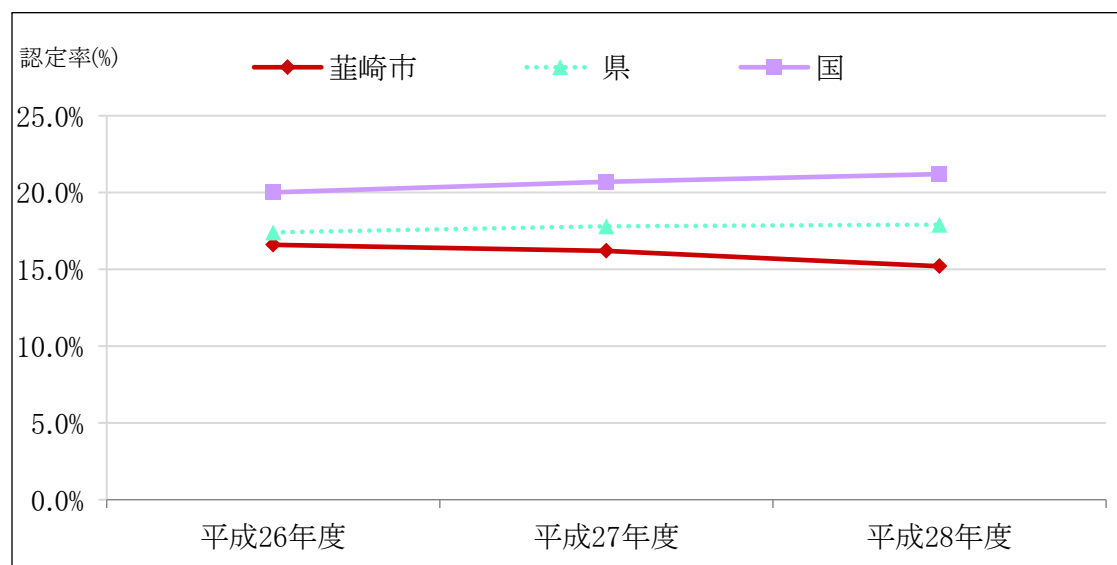
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率15.2%は平成26年度16.6%より1.4ポイント低下しており、平成28年度の認定者数1,142人は平成26年度1,266人より124人減少している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
韮崎市	平成26年度	16.6%	1,266	1,237	29
	平成27年度	16.2%	1,194	1,168	26
	平成28年度	15.2%	1,142	1,118	24
県	平成26年度	17.4%	38,062	37,174	888
	平成27年度	17.8%	38,334	37,483	851
	平成28年度	17.9%	38,702	37,888	814
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,034,085	5,882,340	151,745

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.6疾病は平成26年度2.8疾病より減少している。

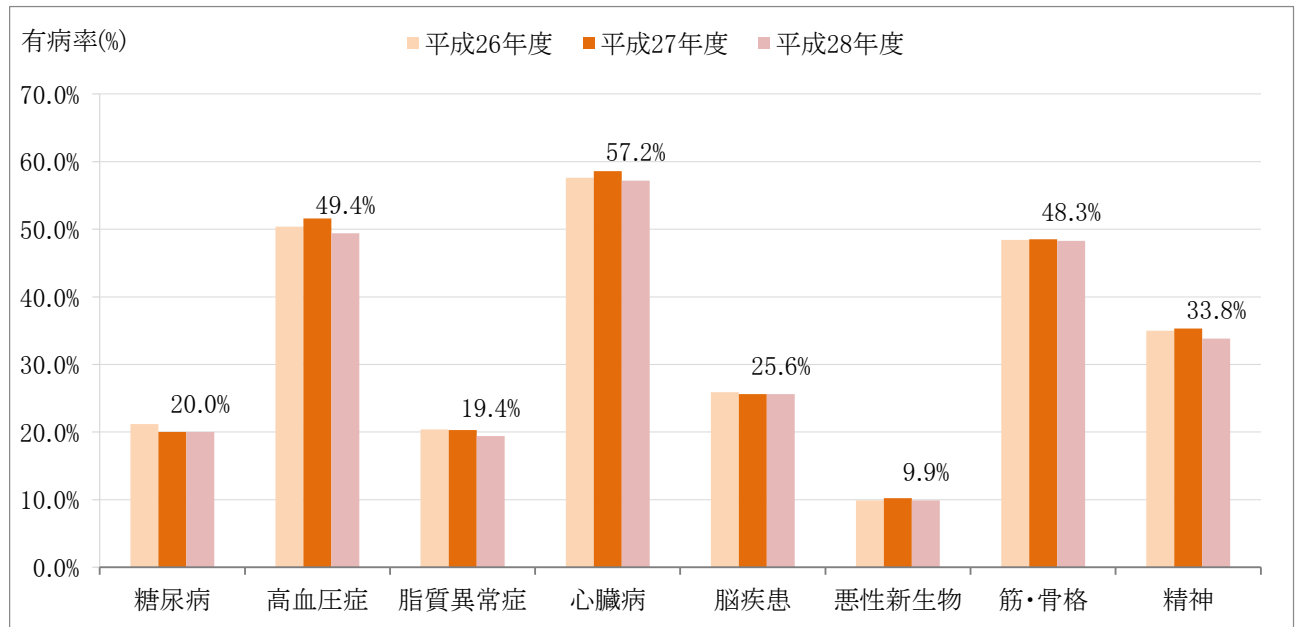
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	菟崎市						県			国		
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
認定者数(人)	1,266		1,194		1,142		38,062	38,334	38,702	5,324,880	5,751,982	6,034,085
糖尿病	実人数(人) 有病率(%)	272 6	237 6	234 6	234 6	234 6	8,479 21.9%	8,739 22.3%	8,820 22.6%	1,089,285 20.3%	1,241,024 21.4%	1,343,240 21.9%
高血圧症	実人数(人) 有病率(%)	660 2	619 2	577 2	577 2	577 2	19,959 51.5%	20,252 52.2%	20,356 52.0%	2,551,660 47.9%	2,865,466 49.7%	3,085,109 50.5%
脂質異常症	実人数(人) 有病率(%)	262 7	230 7	218 7	218 7	218 7	9,689 24.7%	10,094 25.7%	10,231 26.2%	1,386,541 25.7%	1,586,963 27.3%	1,733,323 28.2%
心臓病	実人数(人) 有病率(%)	749 1	701 1	657 1	657 1	657 1	22,881 59.1%	23,253 59.9%	23,432 59.8%	2,914,608 54.8%	3,261,576 56.7%	3,511,354 57.5%
脳疾患	実人数(人) 有病率(%)	341 5	315 5	284 5	284 5	284 5	9,928 26.0%	9,842 25.7%	9,738 25.2%	1,324,669 25.2%	1,455,985 25.4%	1,530,506 25.3%
悪性新生物	実人数(人) 有病率(%)	133 8	117 8	117 8	117 8	117 8	3,805 9.8%	4,022 10.2%	4,189 10.4%	493,808 9.2%	569,967 9.8%	629,053 10.1%
筋・骨格	実人数(人) 有病率(%)	619 3	573 3	563 3	563 3	563 3	19,739 51.2%	20,258 52.0%	20,424 52.2%	2,505,146 47.1%	2,813,795 48.9%	3,051,816 49.9%
精神	実人数(人) 有病率(%)	464 4	406 4	375 4	375 4	375 4	14,119 36.1%	14,575 37.3%	14,794 37.6%	1,720,172 32.2%	1,963,213 33.8%	2,141,880 34.9%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

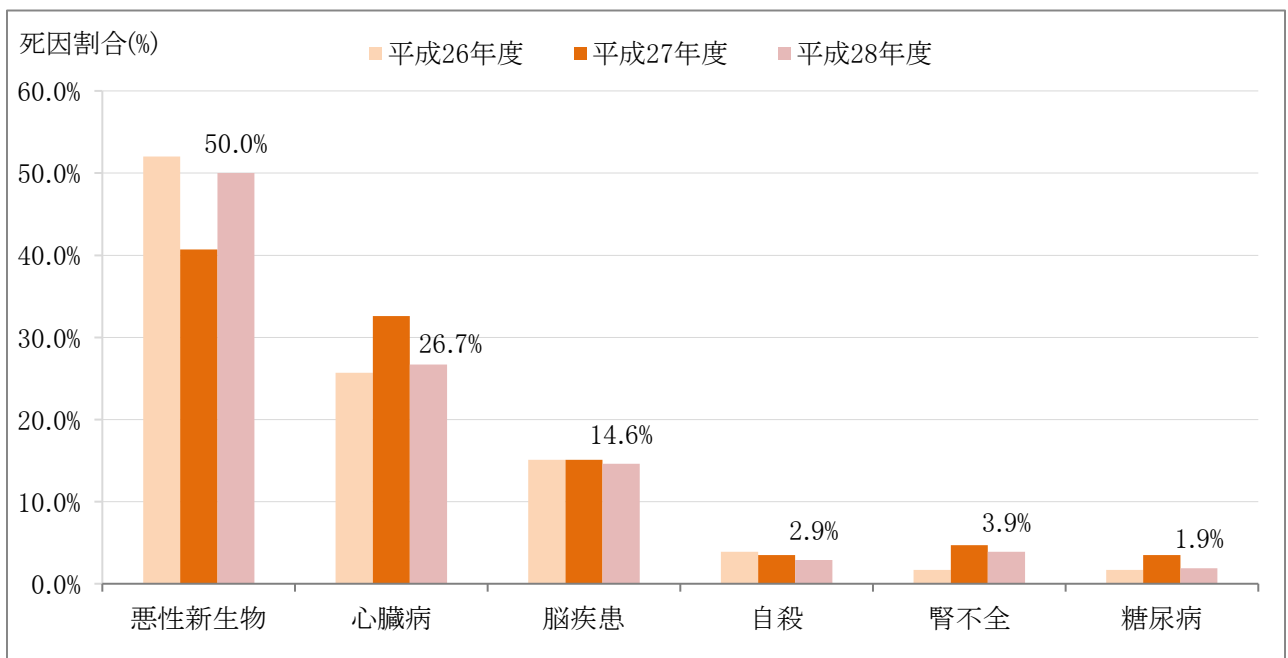
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数103人は平成26年度93人より10人増加しており、心臓病を死因とする人数55人は平成26年度46人より9人増加している。また、脳疾患を死因とする人数30人は平成26年度27人より3人増加している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	韮崎市						県			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度						
悪性新生物	93	70	103	52.0%	40.7%	50.0%	47.4%	47.5%	47.2%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	46	56	55	25.7%	32.6%	26.7%	26.4%	24.3%	25.1%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	27	26	30	15.1%	15.1%	14.6%	17.9%	18.9%	17.9%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	7	6	6	3.9%	3.5%	2.9%	3.4%	3.7%	3.4%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	3	8	8	1.7%	4.7%	3.9%	2.9%	3.3%	3.8%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	3	6	4	1.7%	3.5%	1.9%	2.0%	2.4%	2.5%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	179	172	206									

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

2. 過去の取り組みの考察

健康保持増進の各事業の状況

健康保持増進のため実施した各事業についての実施状況を以下に示し、考察する。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査事業	メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防	40歳から74歳の人を対象とし特定健康診査を実施する。
特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話で行う。
糖尿病性腎症重症化予防事業 (平成29年度開始)	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けられるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。
受診行動適正化指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬) (平成26年度開始)	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
ジェネリック医薬品差額通知事業 (平成24年度開始)	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

実施状況(平成28年度時点)	評価	実施内容と考察
受診率 50.2%	継続	対象者を特定し、受診券を発送した。その後、対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認した。受診率は、年々上昇している。今後も事業を継続するため受診率の向上に努める。
実施率 73.0%	継続	指導対象者に対して適切な保健指導を行い、健康診査データより検査値の推移を確認した。例年の実施率は高い数値を維持している。今後も事業を継続するため実施率の維持に努める。
	新規	指導対象者に対して適切な保健指導を行い、健康診査、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認した。平成29年度より新規事業として開始した。指導終了者のフォローを含め事業内容を一部改善する必要がある。
訪問指導実施者数 46人	一部改善	指導対象者に対して適切な保健指導を行い、指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認した。平成29年度より業務を一部改善し、指導内容の見直しをはかったため、結果の動向を注視しつつ事業を継続する。
年6回(2ヶ月1回)通知 差額500円以上 普及率(金額ベース) 42.0% 普及率(数量ベース) 65.7%	一部改善	対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、平成29年度より業務を一部改善し、実施方法の見直しをはかったため、結果の動向を注視しつつ事業を継続する。

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、韮崎市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均7,486人、レセプト件数は平均8,865件、患者数は平均3,742人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均49,499円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	7,691	7,553	7,552	7,586	7,564	7,496	7,500	
B	レセプト件数(件)	入院外	5,432	4,963	5,152	5,038	5,022	5,030	5,146
		入院	137	118	122	120	127	141	148
		調剤	3,920	3,597	3,675	3,598	3,571	3,537	3,651
		合計	9,489	8,678	8,949	8,756	8,720	8,708	8,945
C	医療費(円) ※	192,276,860	168,048,600	195,292,480	172,052,660	185,539,600	183,956,180	192,924,210	
D	患者数(人) ※	3,927	3,681	3,790	3,711	3,693	3,652	3,776	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	25,000	22,249	25,860	22,680	24,529	24,541	25,723	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,263	19,365	21,823	19,650	21,277	21,125	21,568	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	48,963	45,653	51,528	46,363	50,241	50,371	51,092	
B/A	受診率(%)	123.4%	114.9%	118.5%	115.4%	115.3%	116.2%	119.3%	
D/A	有病率(%)	51.1%	48.7%	50.2%	48.9%	48.8%	48.7%	50.3%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	7,463	7,419	7,382	7,315	7,315	7,486		
B	レセプト件数(件)	入院外	5,057	5,295	4,972	4,804	5,270	5,098	61,181
		入院	126	149	150	150	144	136	1,632
		調剤	3,563	3,762	3,536	3,391	3,763	3,630	43,564
		合計	8,746	9,206	8,658	8,345	9,177	8,865	106,377
C	医療費(円) ※	181,105,390	201,899,330	190,716,370	173,291,500	185,592,400	185,224,632	2,222,695,580	
D	患者数(人) ※	3,713	3,861	3,659	3,638	3,803	3,742	44,904	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	24,267	27,214	25,835	23,690	25,371	24,742		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,707	21,931	22,028	20,766	20,224	20,895		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	48,776	52,292	52,123	47,634	48,802	49,499		
B/A	受診率(%)	117.2%	124.1%	117.3%	114.1%	125.5%	118.4%		
D/A	有病率(%)	49.8%	52.0%	49.6%	49.7%	52.0%	50.0%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数は、平成26年度より435人減少しており、医療費は平成26年度より約355万円増加している。また、一カ月平均の患者数は、平成26年度より199人減少している。

年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	7,921	7,745	7,486	
B	レセプト件数(件)	入院外	64,560	63,938	61,181
		入院	1,714	1,636	1,632
		調剤	45,811	45,227	43,564
		合計	112,085	110,801	106,377
C	医療費(円) ※	2,219,154,050	2,283,048,970	2,222,695,580	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	3,941	3,891	3,742	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	280,152	294,790	296,900	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	19,799	20,605	20,895	
D/A	有病率(%)	49.8%	50.2%	50.0%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

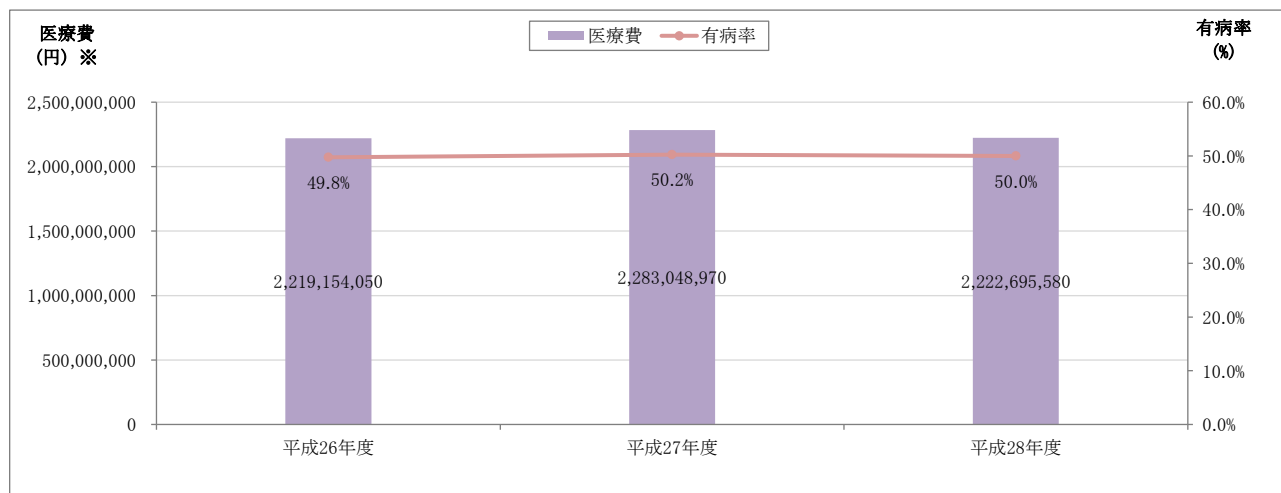
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは726件発生しており、レセプト件数全体の0.7%を占める。高額レセプトの医療費は7億681万円となり、医療費全体の31.8%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	9,489	8,678	8,949	8,756	8,720	8,708	8,945
B	高額レセプト件数(件)	60	51	61	57	60	59	71
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%
C	医療費(円) ※	192,276,860	168,048,600	195,292,480	172,052,660	185,539,600	183,956,180	192,924,210
D	高額レセプトの医療費(円) ※	60,320,490	50,122,960	69,638,970	50,689,060	63,473,210	56,613,940	66,132,040
E	その他レセプトの医療費(円) ※	131,956,370	117,925,640	125,653,510	121,363,600	122,066,390	127,342,240	126,792,170
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	31.4%	29.8%	35.7%	29.5%	34.2%	30.8%	34.3%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	8,746	9,206	8,658	8,345	9,177	8,865	106,377
B	高額レセプト件数(件)	62	70	67	51	57	61	726
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.8%	0.8%	0.6%	0.6%	0.7%	
C	医療費(円) ※	181,105,390	201,899,330	190,716,370	173,291,500	185,592,400	185,224,632	2,222,695,580
D	高額レセプトの医療費(円) ※	58,237,520	69,785,610	64,008,350	46,618,140	51,167,070	58,900,613	706,807,360
E	その他レセプトの医療費(円) ※	122,867,870	132,113,720	126,708,020	126,673,360	134,425,330	126,324,018	1,515,888,220
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	32.2%	34.6%	33.6%	26.9%	27.6%	31.8%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数は平成26年度より71件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費は平成26年度より約8,528万円増加している。

年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	112,085	110,801	106,377
B	高額レセプト件数(件)	655	682	726
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.7%
C	医療費(円) ※	2,219,154,050	2,283,048,970	2,222,695,580
D	高額レセプトの医療費(円) ※	621,533,360	695,250,300	706,807,360
E	その他レセプトの医療費(円) ※	1,597,620,690	1,587,798,670	1,515,888,220
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	28.0%	30.5%	31.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

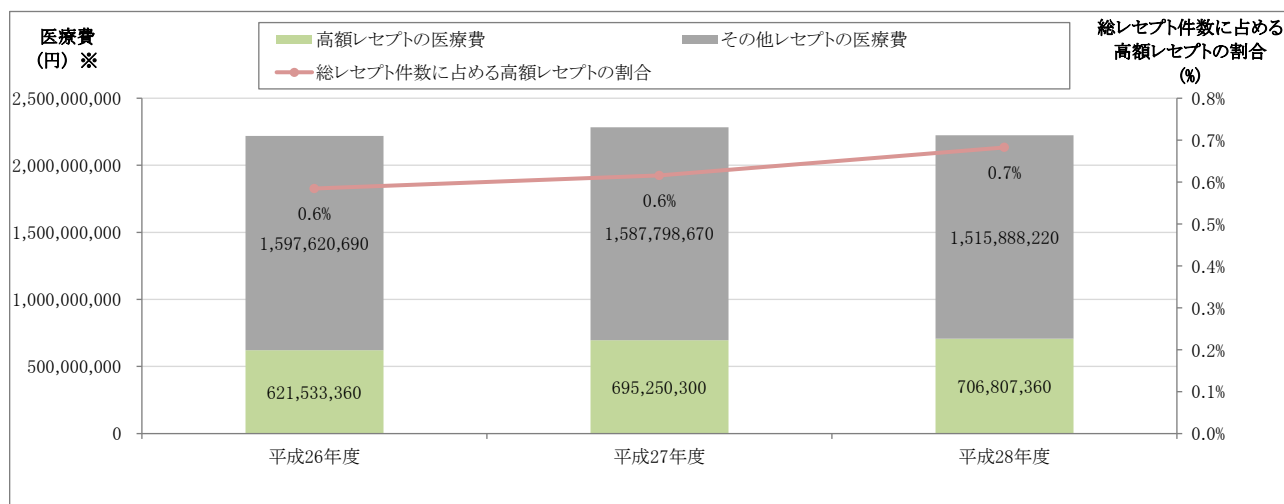
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「頭蓋内損傷及び内臓の損傷」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」「白血病」等となった。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
				入院	入院外	合計	
1	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	1	9,953,200	0	9,953,200	9,953,200
2	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2	14,563,960	718,910	15,282,870	7,641,435
3	0209	白血病	1	1,389,690	4,884,470	6,274,160	6,274,160
4	0501	血管性及び詳細不明の認知症	1	6,145,600	0	6,145,600	6,145,600
5	0109	その他の感染症及び寄生虫症	2	8,756,590	2,892,940	11,649,530	5,824,765
6	1402	腎不全	11	34,765,500	29,280,450	64,045,950	5,822,359
7	0903	その他の心疾患	12	40,129,900	25,311,780	65,441,680	5,453,473
8	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	6	26,965,380	5,721,030	32,686,410	5,447,735
9	1202	皮膚炎及び湿疹	1	4,927,200	0	4,927,200	4,927,200
10	0904	くも膜下出血	1	4,588,270	92,380	4,680,650	4,680,650
11	0507	その他の精神及び行動の障害	2	9,060,640	119,220	9,179,860	4,589,930
12	0102	結核	1	3,833,310	678,800	4,512,110	4,512,110
13	0906	脳梗塞	10	41,471,480	2,912,040	44,383,520	4,438,352
14	0905	脳内出血	6	22,904,830	3,635,630	26,540,460	4,423,410
15	1307	その他の脊柱障害	2	7,102,850	1,205,650	8,308,500	4,154,250
16	0107	真菌症	1	940,450	3,105,850	4,046,300	4,046,300
17	0908	その他の脳血管疾患	2	7,573,250	432,170	8,005,420	4,002,710
18	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	6	20,906,230	2,580,970	23,487,200	3,914,533
19	0105	ウイルス性肝炎	7	2,414,390	24,380,230	26,794,620	3,827,803
20	0606	その他の神経系の疾患	6	20,472,070	1,611,880	22,083,950	3,680,658

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	1602 その他の周産期に発生した病態	新生児特発性呼吸窮迫症候群, 重症新生児仮死, 新生児一過性多呼吸	4	7,571,315
	2	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	遷延性意識障害, 嚥下障害, 失語症	3	7,464,870
	3	0301 貧血	重症再生不良性貧血, 貧血	2	6,751,150
	4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	6,674,550
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 腎不全, 末期腎不全	14	5,989,872
平成27年度	1	0507 その他の精神及び行動の障害	高次脳機能障害, 摂食障害	2	9,871,075
	2	1307 その他の脊柱障害	脊柱後弯	1	8,198,720
	3	0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮内膜癌	1	7,804,550
	4	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	嚥下障害	1	7,753,800
	5	0209 白血病	慢性骨髄性白血病	1	6,509,420
平成28年度	1	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	頭部損傷・頭蓋内に達する開放創合併あり	1	9,953,200
	2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	痙性四肢麻痺, 片麻痺	2	7,641,435
	3	0209 白血病	慢性骨髄性白血病	1	6,274,160
	4	0501 血管性及び詳細不明の認知症	血管性認知症	1	6,145,600
	5	0109 その他の感染症及び寄生虫症	セレウス菌敗血症, 敗血症	2	5,824,765

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「関節症」「気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」である。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 胸部食道癌, 胆管癌	32	63,478,830	24,778,960	88,257,790	2,758,056
2	1302	関節症	変形性股関節症, 変形性膝関節症, 一側性原発性膝関節症	19	53,227,380	7,138,620	60,366,000	3,177,158
3	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 中葉肺癌	15	29,990,640	20,317,940	50,308,580	3,353,905
4	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	骨髄線維症, トルコ鞍部腫瘍, 肺良性腫瘍	13	12,941,750	11,016,300	23,958,050	1,842,927
5	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 蘇生に成功した心停止, 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	12	40,129,900	25,311,780	65,441,680	5,453,473
6	1402	腎不全	慢性腎不全, 急性腎不全	11	34,765,500	29,280,450	64,045,950	5,822,359
7	0902	虚血性心疾患	不安定狭心症, 初発労作型狭心症, 安定狭心症	10	19,940,680	3,021,730	22,962,410	2,296,241
7	0906	脳梗塞	脳梗塞, 多発性脳梗塞, ラクナ梗塞	10	41,471,480	2,912,040	44,383,520	4,438,352
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	9	13,210,630	5,469,530	18,680,160	2,075,573
9	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石, 胆石性急性胆のう炎, 胆のう結石症	9	8,720,230	2,664,290	11,384,520	1,264,947
9	1901	骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨骨幹部骨折, 後十字靭帯付着部剥離骨折	9	12,812,740	3,407,600	16,220,340	1,802,260
12	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	うつ状態, うつ病, 躁うつ病	8	21,878,050	1,796,150	23,674,200	2,959,275
12	1113	その他の消化器系の疾患	癒着性イレウス, イレウス, 絞扼性イレウス	8	5,981,800	1,254,110	7,235,910	904,489
12	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 内側半月板損傷, 頸髄損傷	8	16,949,030	1,574,990	18,524,020	2,315,503
15	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型肝炎変	7	2,414,390	24,380,230	26,794,620	3,827,803
15	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝細胞癌	7	13,213,880	7,302,600	20,516,480	2,930,926
15	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房上外側部乳癌, 乳房上内側部乳癌, 炎症性乳癌	7	4,579,750	10,469,550	15,049,300	2,149,900
15	0912	その他の循環器系の疾患	総腸骨動脈瘤, 腹腔動脈瘤, 腹部大動脈瘤	7	22,947,450	1,995,430	24,942,880	3,563,269
15	1004	肺炎	肺炎, 急性肺炎, 緑膿菌肺炎	7	14,070,470	2,125,430	16,195,900	2,313,700
20	0606	その他の神経系の疾患	代謝性脳症, 脊髄梗塞, 重症筋無力症	6	20,472,070	1,611,880	22,083,950	3,680,658

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 腎細胞癌	27	3,271,159
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調感情障害	17	2,754,628
	3	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髓症, 変形性脊椎症	16	2,213,852
	4	1402 腎不全	慢性腎不全, 腎不全, 末期腎不全	14	5,989,872
	4	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 腓骨遠位端骨折, 足関節脱臼骨折	14	2,377,904
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 転移性肝癌	22	2,270,715
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 大腿骨転子部骨折, 橈骨遠位端骨折	17	1,631,801
	3	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝硬変, C型肝炎	16	5,676,276
	3	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 慢性腎臓病ステージG5	16	5,832,134
	5	0903 その他の心疾患	発作性上室頻拍, 心不全, 慢性心不全	14	3,010,245
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 胸部食道癌, 胆管癌	32	2,758,056
	2	1302 関節症	変形性股関節症, 変形性膝関節症, 一側性原発性膝関節症	19	3,177,158
	3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺腺癌, 下葉肺癌, 中葉肺腺癌	15	3,353,905
	4	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	骨髄線維症, トルコ鞍部腫瘍, 肺良性腫瘍	13	1,842,927
	5	0903 その他の心疾患	うつ血性心不全, 蘇生に成功した心停止, 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	12	5,453,473

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

① 大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の17.0%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の12.1%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	70,536,928	3.2%	11	7,147	13	1,767	9	39,919	13
II. 新生物<腫瘍>	267,228,363	12.1%	2	7,670	11	1,875	8	142,522	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12,443,812	0.6%	15	2,045	17	459	16	27,111	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	205,837,717	9.3%	4	33,016	2	3,031	3	67,911	9
V. 精神及び行動の障害	199,021,931	9.0%	5	10,269	8	964	14	206,454	2
VI. 神経系の疾患	129,005,684	5.8%	9	17,498	6	1,608	11	80,227	8
VII. 眼及び付属器の疾患	71,345,924	3.2%	10	10,791	7	2,324	6	30,700	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	8,435,471	0.4%	16	2,249	15	657	15	12,839	20
IX. 循環器系の疾患	375,250,297	17.0%	1	37,697	1	2,991	4	125,460	5
X. 呼吸器系の疾患	141,302,223	6.4%	8	19,329	5	3,551	1	39,792	14
X I. 消化器系の疾患 ※	143,905,090	6.5%	7	26,717	3	3,220	2	44,691	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	41,226,158	1.9%	13	9,696	9	2,076	7	19,858	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	258,316,268	11.7%	3	25,690	4	2,851	5	90,605	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	168,823,891	7.6%	6	7,656	12	1,295	12	130,366	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	3,361,579	0.2%	20	76	20	32	20	105,049	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	4,575,634	0.2%	19	20	21	6	21	762,606	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	5,499,201	0.2%	18	292	19	93	18	59,131	10
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	33,194,781	1.5%	14	8,032	10	1,764	10	18,818	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	65,422,341	3.0%	12	4,093	14	1,260	13	51,922	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	6,205,315	0.3%	17	2,112	16	330	17	18,804	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	669,012	0.0%	21	391	18	86	19	7,779	21
合計	2,211,607,620			105,537		6,748		327,743	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

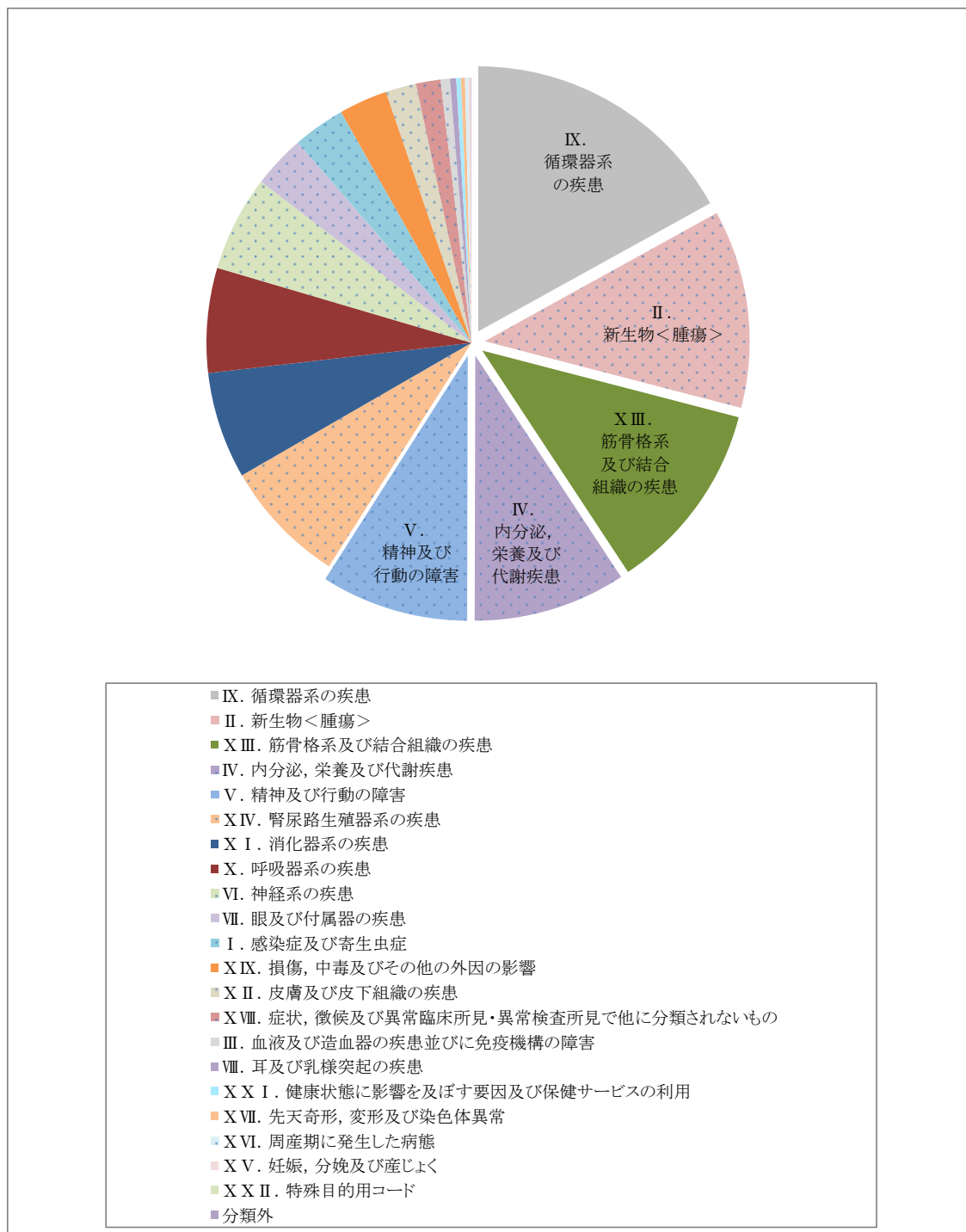
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「精神及び行動の障害」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	61,110,391	2.8%	12	121,731,341	5.4%	10	70,536,928	3.2%	11
II. 新生物<腫瘍>	255,951,979	11.6%	2	255,626,799	11.3%	2	267,228,363	12.1%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	30,158,170	1.4%	15	15,378,593	0.7%	15	12,443,812	0.6%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	215,964,062	9.8%	5	209,262,859	9.2%	5	205,837,717	9.3%	4
V. 精神及び行動の障害	219,352,230	9.9%	4	215,841,543	9.5%	4	199,021,931	9.0%	5
VI. 神経系の疾患	125,490,329	5.7%	9	126,012,623	5.6%	9	129,005,684	5.8%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	74,688,915	3.4%	10	80,276,207	3.5%	11	71,345,924	3.2%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	10,413,657	0.5%	17	8,560,150	0.4%	16	8,435,471	0.4%	16
IX. 循環器系の疾患	340,694,175	15.5%	1	343,857,153	15.1%	1	375,250,297	17.0%	1
X. 呼吸器系の疾患	146,913,139	6.7%	7	139,864,959	6.2%	8	141,302,223	6.4%	8
X I. 消化器系の疾患 ※	156,440,494	7.1%	6	158,173,056	7.0%	7	143,905,090	6.5%	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	52,248,873	2.4%	13	45,672,116	2.0%	13	41,226,158	1.9%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	222,185,536	10.1%	3	242,977,525	10.7%	3	258,316,268	11.7%	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	142,568,356	6.5%	8	171,923,339	7.6%	6	168,823,891	7.6%	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	6,764,792	0.3%	19	4,503,418	0.2%	19	3,361,579	0.2%	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	23,501,267	1.1%	16	1,442,201	0.1%	20	4,575,634	0.2%	19
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	5,652,878	0.3%	20	7,360,737	0.3%	17	5,499,201	0.2%	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	33,202,464	1.5%	14	36,513,991	1.6%	14	33,194,781	1.5%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	70,221,889	3.2%	11	78,350,775	3.5%	12	65,422,341	3.0%	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10,144,559	0.5%	18	5,609,288	0.2%	18	6,205,315	0.3%	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	1,065,685	0.0%	21	938,677	0.0%	21	669,012	0.0%	21
合計	2,204,733,840			2,269,877,350			2,211,607,620		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

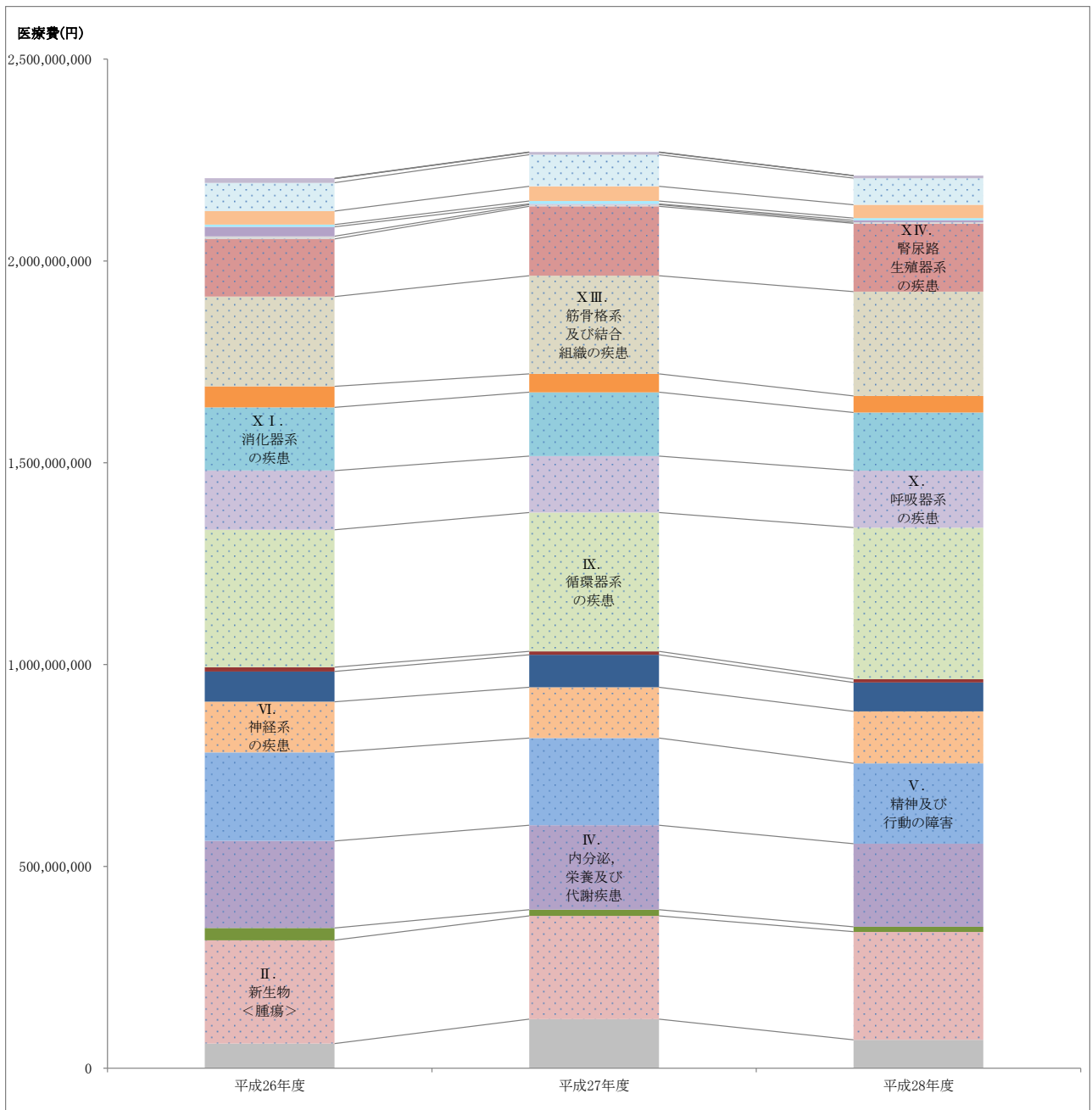
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	127,459,319	5.8%	2,307
2	1402 腎不全	122,509,585	5.5%	151
3	0402 糖尿病	106,209,804	4.8%	1,915
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	91,619,101	4.1%	793
5	0903 その他の心疾患	87,840,000	4.0%	921
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	83,845,715	3.8%	293
7	0606 その他の神経系の疾患	73,336,024	3.3%	1,404
8	1113 その他の消化器系の疾患	69,674,882	3.2%	1,841
9	0403 脂質異常症	61,814,090	2.8%	1,623
10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	61,470,596	2.8%	449

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	127,459,319	2,307	34.2%
2	0402 糖尿病	106,209,804	1,915	28.4%
3	1113 その他の消化器系の疾患	69,674,882	1,841	27.3%
4	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	33,194,781	1,764	26.1%
5	0703 屈折及び調節の障害	8,041,511	1,687	25.0%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	23,682,727	1,680	24.9%
7	1003 その他の急性上気道感染症	11,952,672	1,668	24.7%
8	1006 アレルギー性鼻炎	21,291,090	1,640	24.3%
9	0403 脂質異常症	61,814,090	1,623	24.1%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	42,695,743	1,474	21.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	1402 腎不全	122,509,585	151	811,322
2	1602 その他の周産期に発生した病態	3,100,111	4	775,028
3	0209 白血病	8,563,548	13	658,734
4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	19,611,881	32	612,871
5	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,475,523	3	491,841
6	0905 脳内出血	24,289,222	57	426,127
7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	11,389,876	31	367,415
8	0904 くも膜下出血	4,671,129	14	333,652
9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	83,845,715	293	286,163
10	0507 その他の精神及び行動の障害	30,573,285	122	250,601

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	144,336,105	6.5%	2,345
	2	0402 糖尿病	111,653,756	5.1%	1,892
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	103,100,821	4.7%	295
	4	1402 腎不全	101,881,185	4.6%	119
	5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	96,640,534	4.4%	782
	6	0903 その他の心疾患	73,493,126	3.3%	975
	7	1113 その他の消化器系の疾患	72,839,341	3.3%	1,905
	8	0606 その他の神経系の疾患	69,235,346	3.1%	1,463
	9	0403 脂質異常症	68,373,197	3.1%	1,593
	10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	65,797,939	3.0%	398
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	138,863,633	6.1%	2,331
	2	1402 腎不全	130,674,101	5.8%	151
	3	0402 糖尿病	108,885,544	4.8%	1,950
	4	0105 ウイルス性肝炎	85,438,671	3.8%	240
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	85,079,386	3.7%	299
	6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	75,220,688	3.3%	784
	7	0903 その他の心疾患	74,675,819	3.3%	951
	8	1113 その他の消化器系の疾患	73,596,431	3.2%	1,934
	9	0606 その他の神経系の疾患	69,749,158	3.1%	1,426
	10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	68,439,796	3.0%	410
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	127,459,319	5.8%	2,307
	2	1402 腎不全	122,509,585	5.5%	151
	3	0402 糖尿病	106,209,804	4.8%	1,915
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	91,619,101	4.1%	793
	5	0903 その他の心疾患	87,840,000	4.0%	921
	6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	83,845,715	3.8%	293
	7	0606 その他の神経系の疾患	73,336,024	3.3%	1,404
	8	1113 その他の消化器系の疾患	69,674,882	3.2%	1,841
	9	0403 脂質異常症	61,814,090	2.8%	1,623
	10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	61,470,596	2.8%	449

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	144,336,105	2,345	32.8%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	72,839,341	1,905	26.6%
	3	0402 糖尿病	111,653,756	1,892	26.5%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	26,918,377	1,805	25.2%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	33,202,464	1,775	24.8%
	6	1003 その他の急性上気道感染症	14,094,137	1,755	24.5%
	6	0703 屈折及び調節の障害	9,790,060	1,755	24.5%
	8	1006 アレルギー性鼻炎	22,125,932	1,700	23.8%
	9	0403 脂質異常症	68,373,197	1,593	22.3%
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	39,283,660	1,491	20.9%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	138,863,633	2,331	33.4%
	2	0402 糖尿病	108,885,544	1,950	27.9%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	73,596,431	1,934	27.7%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	36,513,991	1,810	25.9%
	5	1105 胃炎及び十二指腸炎	27,135,446	1,791	25.6%
	6	0703 屈折及び調節の障害	9,403,600	1,750	25.1%
	7	1003 その他の急性上気道感染症	13,194,449	1,732	24.8%
	8	1006 アレルギー性鼻炎	19,884,768	1,681	24.1%
	9	0403 脂質異常症	67,573,312	1,625	23.3%
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	46,545,777	1,507	21.6%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	127,459,319	2,307	34.2%
	2	0402 糖尿病	106,209,804	1,915	28.4%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	69,674,882	1,841	27.3%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	33,194,781	1,764	26.1%
	5	0703 屈折及び調節の障害	8,041,511	1,687	25.0%
	6	1105 胃炎及び十二指腸炎	23,682,727	1,680	24.9%
	7	1003 その他の急性上気道感染症	11,952,672	1,668	24.7%
	8	1006 アレルギー性鼻炎	21,291,090	1,640	24.3%
	9	0403 脂質異常症	61,814,090	1,623	24.1%
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	42,695,743	1,474	21.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	1602 その他の周産期に発生した病態	23,037,314	11	2,094,301
	2	1502 妊娠高血圧症候群	1,000,612	1	1,000,612
	3	1402 腎不全	101,881,185	119	856,144
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	26,169,059	39	671,002
	5	0209 白血病	10,027,072	17	589,828
	6	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	13,833,275	33	419,190
	7	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	103,100,821	295	349,494
	8	0501 血管性及び詳細不明の認知症	6,887,184	25	275,487
	9	0904 くも膜下出血	6,820,086	25	272,803
	10	0905 脳内出血	15,318,942	64	239,358
平成27年度	1	1402 腎不全	130,674,101	151	865,391
	2	0209 白血病	7,331,448	15	488,763
	3	0905 脳内出血	26,338,307	56	470,327
	4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	17,465,420	42	415,843
	5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	14,383,848	37	388,753
	6	0501 血管性及び詳細不明の認知症	9,313,079	26	358,195
	7	0105 ウイルス性肝炎	85,438,671	240	355,994
	8	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	16,956,337	48	353,257
	9	0507 その他の精神及び行動の障害	34,373,376	117	293,790
	10	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	85,079,386	299	284,546
平成28年度	1	1402 腎不全	122,509,585	151	811,322
	2	1602 その他の周産期に発生した病態	3,100,111	4	775,028
	3	0209 白血病	8,563,548	13	658,734
	4	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	19,611,881	32	612,871
	5	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,475,523	3	491,841
	6	0905 脳内出血	24,289,222	57	426,127
	7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	11,389,876	31	367,415
	8	0904 くも膜下出血	4,671,129	14	333,652
	9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	83,845,715	293	286,163
	10	0507 その他の精神及び行動の障害	30,573,285	122	250,601

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)		レセプト件数 ※			患者数 ※		
	2,211,607,620		105,537			6,748		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	70,536,928	3.2%		7,147	6.8%		1,767	26.2%		39,919	
0101 腸管感染症	5,646,304	0.3%	70	1,677	1.6%	44	602	8.9%	30	9,379	102
0102 結核	1,802,383	0.1%	99	233	0.2%	95	69	1.0%	90	26,121	71
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	384,894	0.0%	115	116	0.1%	104	64	0.9%	94	6,014	115
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	5,457,012	0.2%	72	1,115	1.1%	57	348	5.2%	47	15,681	89
0105 ウイルス性肝炎	31,574,964	1.4%	23	1,442	1.4%	52	252	3.7%	58	125,297	17
0106 その他のウイルス性疾患	4,252,762	0.2%	79	157	0.1%	101	65	1.0%	92	65,427	34
0107 真菌症	10,646,577	0.5%	55	1,670	1.6%	45	454	6.7%	38	23,451	74
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	402,332	0.0%	114	40	0.0%	112	7	0.1%	115	57,476	41
0109 その他の感染症及び寄生虫症	10,369,700	0.5%	56	1,326	1.3%	54	433	6.4%	41	23,948	73
II. 新生物<腫瘍>	267,228,363	12.1%		7,670	7.3%		1,875	27.8%		142,522	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	12,181,126	0.6%	48	979	0.9%	60	397	5.9%	45	30,683	62
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	17,001,522	0.8%	40	1,166	1.1%	56	416	6.2%	43	40,869	51
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	11,389,876	0.5%	53	194	0.2%	98	31	0.5%	105	367,415	7
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	18,663,997	0.8%	37	716	0.7%	68	180	2.7%	68	103,689	22
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	43,676,386	2.0%	14	863	0.8%	63	245	3.6%	60	178,271	12
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	21,380,580	1.0%	33	678	0.6%	72	133	2.0%	76	160,756	13
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	3,198,168	0.1%	86	182	0.2%	99	90	1.3%	83	35,535	56
0208 悪性リンパ腫	7,824,305	0.4%	63	287	0.3%	91	74	1.1%	89	105,734	21
0209 白血病	8,563,548	0.4%	58	87	0.1%	107	13	0.2%	113	658,734	3
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	91,619,101	4.1%	4	3,196	3.0%	32	793	11.8%	26	115,535	19
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	31,729,754	1.4%	22	1,722	1.6%	43	720	10.7%	28	44,069	49
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12,443,812	0.6%		2,045	1.9%		459	6.8%		27,111	
0301 貧血	6,381,422	0.3%	67	1,599	1.5%	47	345	5.1%	48	18,497	82
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	6,062,390	0.3%	69	494	0.5%	79	142	2.1%	74	42,693	50
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	205,837,717	9.3%		33,016	31.3%		3,031	44.9%		67,911	
0401 甲状腺障害	11,342,345	0.5%	54	2,318	2.2%	40	500	7.4%	34	22,685	76
0402 糖尿病	106,209,804	4.8%	3	16,394	15.5%	4	1,915	28.4%	2	55,462	44
0403 脂質異常症	61,814,090	2.8%	9	20,186	19.1%	2	1,623	24.1%	9	38,086	52
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	26,471,478	1.2%	25	7,232	6.9%	12	847	12.6%	22	31,253	59
V. 精神及び行動の障害	199,021,931	9.0%		10,269	9.7%		964	14.3%		206,454	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	4,328,538	0.2%	78	62	0.1%	109	28	0.4%	106	154,591	14
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1,989,073	0.1%	95	250	0.2%	93	34	0.5%	102	58,502	40
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	83,845,715	3.8%	6	4,019	3.8%	26	293	4.3%	52	286,163	9

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,211,607,620	105,537	6,748

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	61,470,596	2.8%	10	5,512	5.2%	20	449	6.7%	39	136,906	15
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	12,576,744	0.6%	46	3,913	3.7%	27	444	6.6%	40	28,326	67
0506	知的障害<精神遅滞>	4,237,980	0.2%	80	98	0.1%	106	32	0.5%	103	132,437	16
0507	その他の精神及び行動の障害	30,573,285	1.4%	24	859	0.8%	64	122	1.8%	80	250,601	10
VI. 神経系の疾患		129,005,684	5.8%		17,498	16.6%		1,608	23.8%		80,227	
0601	パーキンソン病	14,096,236	0.6%	43	1,575	1.5%	48	115	1.7%	81	122,576	18
0602	アルツハイマー病	3,156,348	0.1%	87	397	0.4%	85	43	0.6%	100	73,403	31
0603	てんかん	18,283,267	0.8%	39	2,192	2.1%	41	185	2.7%	67	98,828	23
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	19,611,881	0.9%	36	319	0.3%	89	32	0.5%	103	612,871	4
0605	自律神経系の障害	521,928	0.0%	111	479	0.5%	82	69	1.0%	90	7,564	107
0606	その他の神経系の疾患	73,336,024	3.3%	7	14,671	13.9%	5	1,404	20.8%	11	52,234	46
VII. 眼及び付属器の疾患		71,345,924	3.2%		10,791	10.2%		2,324	34.4%		30,700	
0701	結膜炎	7,005,056	0.3%	65	4,464	4.2%	24	1,058	15.7%	15	6,621	113
0702	白内障	13,603,614	0.6%	44	3,232	3.1%	31	596	8.8%	31	22,825	75
0703	屈折及び調節の障害	8,041,511	0.4%	61	7,306	6.9%	11	1,687	25.0%	5	4,767	117
0704	その他の眼及び付属器の疾患	42,695,743	1.9%	15	7,663	7.3%	10	1,474	21.8%	10	28,966	66
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		8,435,471	0.4%		2,249	2.1%		657	9.7%		12,839	
0801	外耳炎	1,673,037	0.1%	100	766	0.7%	67	285	4.2%	55	5,870	116
0802	その他の外耳疾患	967,671	0.0%	103	533	0.5%	78	229	3.4%	63	4,226	118
0803	中耳炎	2,282,408	0.1%	93	472	0.4%	83	138	2.0%	75	16,539	86
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	155,091	0.0%	116	77	0.1%	108	23	0.3%	108	6,743	111
0805	メニエール病	923,103	0.0%	104	283	0.3%	92	65	1.0%	92	14,202	92
0806	その他の内耳疾患	491,834	0.0%	112	172	0.2%	100	44	0.7%	99	11,178	99
0807	その他の耳疾患	1,942,327	0.1%	96	662	0.6%	73	210	3.1%	64	9,249	103
IX. 循環器系の疾患		375,250,297	17.0%		37,697	35.7%		2,991	44.3%		125,460	
0901	高血圧性疾患	127,459,319	5.8%	1	32,203	30.5%	1	2,307	34.2%	1	55,249	45
0902	虚血性心疾患	41,251,098	1.9%	16	4,651	4.4%	23	482	7.1%	37	85,583	28
0903	その他の心疾患	87,840,000	4.0%	5	6,851	6.5%	13	921	13.6%	20	95,375	25
0904	くも膜下出血	4,671,129	0.2%	75	32	0.0%	114	14	0.2%	111	333,652	8
0905	脳内出血	24,289,222	1.1%	28	295	0.3%	90	57	0.8%	95	426,127	6
0906	脳梗塞	46,283,680	2.1%	13	3,766	3.6%	28	425	6.3%	42	108,903	20
0907	脳動脈硬化(症)	7,803	0.0%	121	2	0.0%	120	1	0.0%	120	7,803	105
0908	その他の脳血管疾患	12,222,206	0.6%	47	872	0.8%	62	235	3.5%	61	52,009	47
0909	動脈硬化(症)	7,337,052	0.3%	64	1,477	1.4%	51	288	4.3%	54	25,476	72
0911	低血圧(症)	585,486	0.0%	108	155	0.1%	102	22	0.3%	109	26,613	69
0912	その他の循環器系の疾患	23,303,302	1.1%	32	1,440	1.4%	53	252	3.7%	58	92,473	27
X. 呼吸器系の疾患		141,302,223	6.4%		19,329	18.3%		3,551	52.6%		39,792	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	697,161	0.0%	106	703	0.7%	70	311	4.6%	50	2,242	120
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	5,644,750	0.3%	71	2,735	2.6%	35	849	12.6%	21	6,649	112
1003	その他の急性上気道感染症	11,952,672	0.5%	49	5,767	5.5%	18	1,668	24.7%	7	7,166	108

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,211,607,620	105,537	6,748

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	18,475,309	0.8%	38	788	0.7%	66	293	4.3%	52	63,056	38
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	6,605,590	0.3%	66	2,733	2.6%	36	945	14.0%	18	6,990	109
1006	アレルギー性鼻炎	21,291,090	1.0%	34	7,704	7.3%	9	1,640	24.3%	8	12,982	97
1007	慢性副鼻腔炎	2,298,519	0.1%	92	697	0.7%	71	132	2.0%	77	17,413	85
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	3,304,057	0.1%	85	1,272	1.2%	55	504	7.5%	33	6,556	114
1009	慢性閉塞性肺疾患	12,589,879	0.6%	45	1,538	1.5%	49	186	2.8%	66	67,688	32
1010	喘息	23,342,341	1.1%	31	4,074	3.9%	25	747	11.1%	27	31,248	60
1011	その他の呼吸器系の疾患	35,100,855	1.6%	20	3,346	3.2%	30	986	14.6%	17	35,599	55
X I . 消化器系の疾患		143,905,090	6.5%		26,717	25.3%		3,220	47.7%		44,691	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	10,720	0.0%	120	7	0.0%	118	5	0.1%	116	2,144	121
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	46,783	0.0%	117	21	0.0%	115	13	0.2%	113	3,599	119
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	23,555,574	1.1%	30	6,614	6.3%	15	795	11.8%	25	29,630	65
1105	胃炎及び十二指腸炎	23,682,727	1.1%	29	9,341	8.9%	6	1,680	24.9%	6	14,097	93
1106	痔核	3,024,350	0.1%	89	818	0.8%	65	167	2.5%	71	18,110	83
1107	アルコール性肝疾患	522,625	0.0%	110	227	0.2%	96	36	0.5%	101	14,517	90
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	2,749,214	0.1%	91	571	0.5%	76	89	1.3%	84	30,890	61
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	2,830,490	0.1%	90	453	0.4%	84	80	1.2%	87	35,381	58
1110	その他の肝疾患	4,361,167	0.2%	77	1,606	1.5%	46	490	7.3%	35	8,900	104
1111	胆石症及び胆のう炎	10,135,413	0.5%	57	644	0.6%	74	171	2.5%	70	59,271	39
1112	膵疾患	3,311,145	0.1%	84	347	0.3%	88	88	1.3%	85	37,627	54
1113	その他の消化器系の疾患	69,674,882	3.2%	8	16,573	15.7%	3	1,841	27.3%	3	37,846	53
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		41,226,158	1.9%		9,696	9.2%		2,076	30.8%		19,858	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	3,328,699	0.2%	83	955	0.9%	61	351	5.2%	46	9,483	101
1202	皮膚炎及び湿疹	21,290,334	1.0%	35	6,115	5.8%	16	1,331	19.7%	12	15,996	88
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	16,607,125	0.8%	41	5,060	4.8%	21	1,204	17.8%	13	13,793	95
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		258,316,268	11.7%		25,690	24.3%		2,851	42.2%		90,605	
1301	炎症性多発性関節障害	38,814,611	1.8%	17	3,670	3.5%	29	485	7.2%	36	80,030	30
1302	関節症	55,637,089	2.5%	11	6,816	6.5%	14	829	12.3%	23	67,113	33
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	52,580,431	2.4%	12	8,622	8.2%	7	1,102	16.3%	14	47,714	48
1304	椎間板障害	5,380,674	0.2%	73	1,068	1.0%	59	204	3.0%	65	26,376	70
1305	頸腕症候群	3,941,949	0.2%	81	2,426	2.3%	39	302	4.5%	51	13,053	96
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	11,456,709	0.5%	52	4,883	4.6%	22	796	11.8%	24	14,393	91
1307	その他の脊柱障害	8,330,515	0.4%	59	711	0.7%	69	147	2.2%	73	56,670	42
1308	肩の傷害<損傷>	8,037,867	0.4%	62	2,903	2.8%	33	407	6.0%	44	19,749	77
1309	骨の密度及び構造の障害	36,944,184	1.7%	19	6,025	5.7%	17	565	8.4%	32	65,388	35
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	37,192,239	1.7%	18	5,555	5.3%	19	1,050	15.6%	16	35,421	57

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,211,607,620	105,537	6,748

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	168,823,891	7.6%		7,656	7.3%		1,295	19.2%		130,366	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	8,075,945	0.4%	60	547	0.5%	77	124	1.8%	78	65,129	36
1402 腎不全	122,509,585	5.5%	2	1,514	1.4%	50	151	2.2%	72	811,322	1
1403 尿管結石症	3,750,857	0.2%	82	492	0.5%	81	123	1.8%	79	30,495	63
1404 その他の腎尿路系の疾患	11,847,009	0.5%	50	2,690	2.5%	37	623	9.2%	29	19,016	78
1405 前立腺肥大(症)	15,519,498	0.7%	42	2,534	2.4%	38	274	4.1%	56	56,641	43
1406 その他の男性生殖器系の疾患	829,798	0.0%	105	203	0.2%	97	47	0.7%	97	17,655	84
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	1,849,857	0.1%	97	591	0.6%	75	112	1.7%	82	16,517	87
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	4,441,342	0.2%	76	493	0.5%	80	235	3.5%	61	18,899	80
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	3,361,579	0.2%		76	0.1%		32	0.5%		105,049	
1501 流産	1,298,052	0.1%	102	35	0.0%	113	14	0.2%	111	92,718	26
1502 妊娠高血圧症候群	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	2,063,527	0.1%	94	50	0.0%	110	25	0.4%	107	82,541	29
XVI. 周産期に発生した病態	4,575,634	0.2%		20	0.0%		6	0.1%		762,606	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,475,523	0.1%	101	10	0.0%	117	3	0.0%	118	491,841	5
1602 その他の周産期に発生した病態	3,100,111	0.1%	88	11	0.0%	116	4	0.1%	117	775,028	2
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	5,499,201	0.2%		292	0.3%		93	1.4%		59,131	
1701 心臓の先天奇形	445,749	0.0%	113	50	0.0%	110	15	0.2%	110	29,717	64
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	5,053,452	0.2%	74	242	0.2%	94	80	1.2%	87	63,168	37
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	33,194,781	1.5%		8,032	7.6%		1,764	26.1%		18,818	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	33,194,781	1.5%	21	8,032	7.6%	8	1,764	26.1%	4	18,818	81
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	65,422,341	3.0%		4,093	3.9%		1,260	18.7%		51,922	
1901 骨折	25,181,287	1.1%	27	1,073	1.0%	58	255	3.8%	57	98,750	24
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	11,465,528	0.5%	51	119	0.1%	103	51	0.8%	96	224,814	11
1903 熱傷及び腐食	559,847	0.0%	109	115	0.1%	105	46	0.7%	98	12,171	98
1904 中毒	1,827,446	0.1%	98	349	0.3%	87	175	2.6%	69	10,443	100
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	26,388,233	1.2%	26	2,759	2.6%	34	942	14.0%	19	28,013	68
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	6,205,315	0.3%		2,112	2.0%		330	4.9%		18,804	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	13,915	0.0%	118	1	0.0%	122	1	0.0%	120	13,915	94
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	13,735	0.0%	119	2	0.0%	120	2	0.0%	119	6,868	110
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,211,607,620	105,537	6,748

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	850	0.0%	122	6	0.0%	119	1	0.0%	120	850	122
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	6,176,815	0.3%	68	2,103	2.0%	42	326	4.8%	49	18,947	79
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		669,012	0.0%		391	0.4%		86	1.3%		7,779	
9999	分類外	669,012	0.0%	107	391	0.4%	86	86	1.3%	86	7,779	106

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

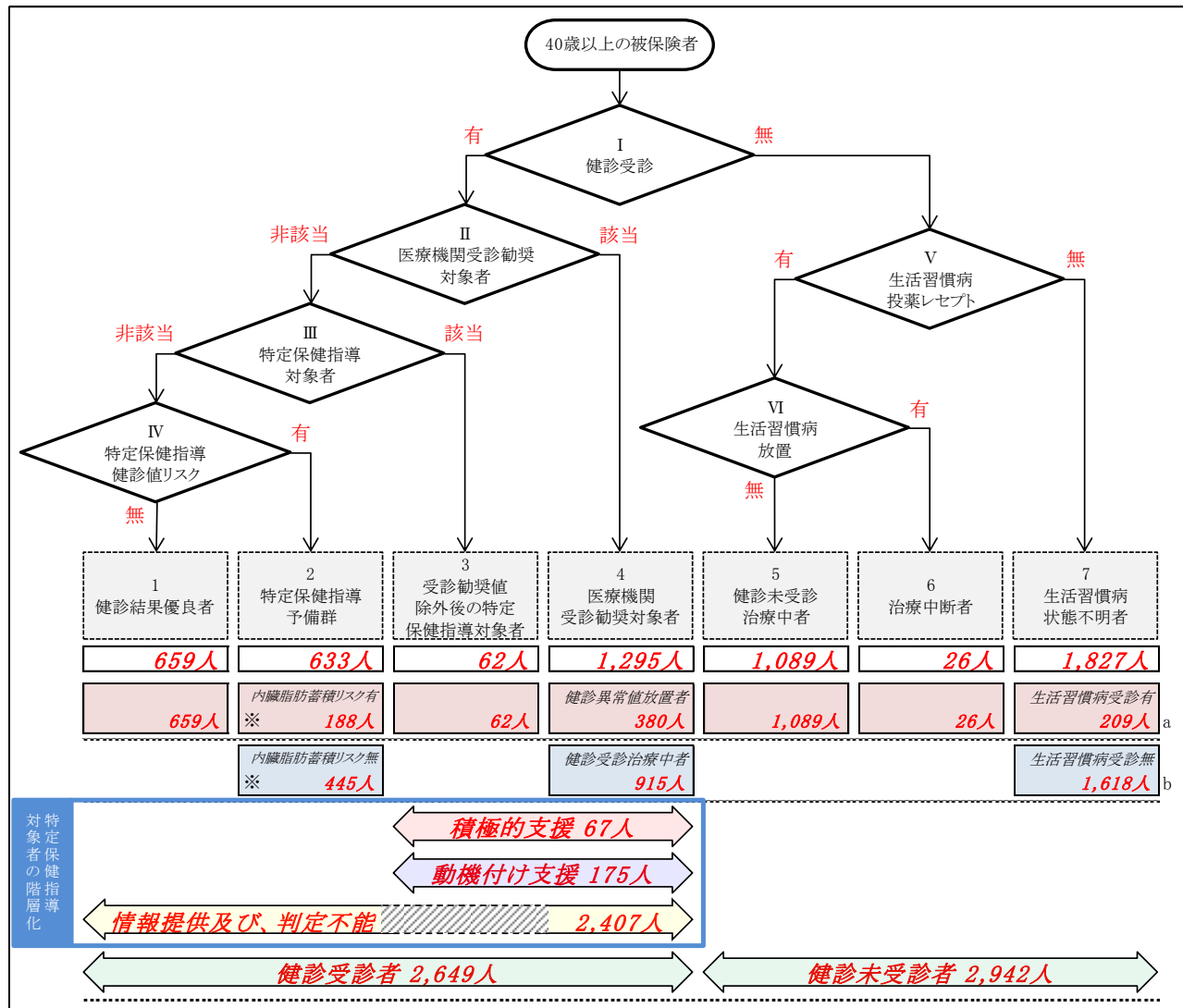
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

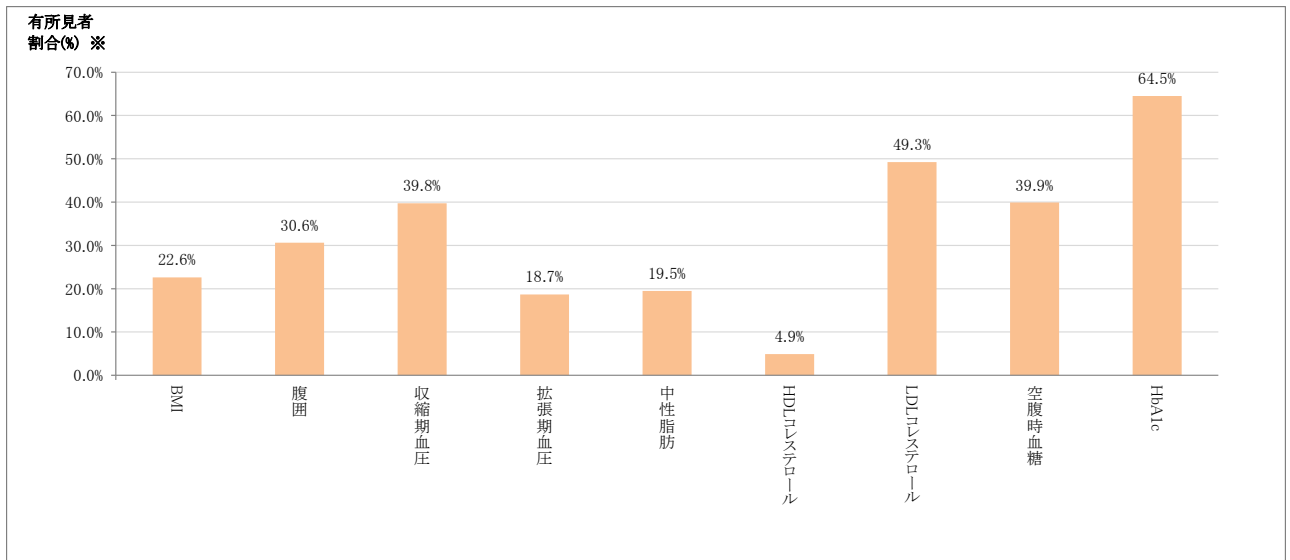
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	2,649	2,649	2,649	2,649
有所見者数(人) ※	599	811	1,053	495
有所見者割合(%) ※	22.6%	30.6%	39.8%	18.7%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	2,649	2,649	2,649	2,529	2,559
有所見者数(人) ※	516	130	1,305	1,009	1,651
有所見者割合(%) ※	19.5%	4.9%	49.3%	39.9%	64.5%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

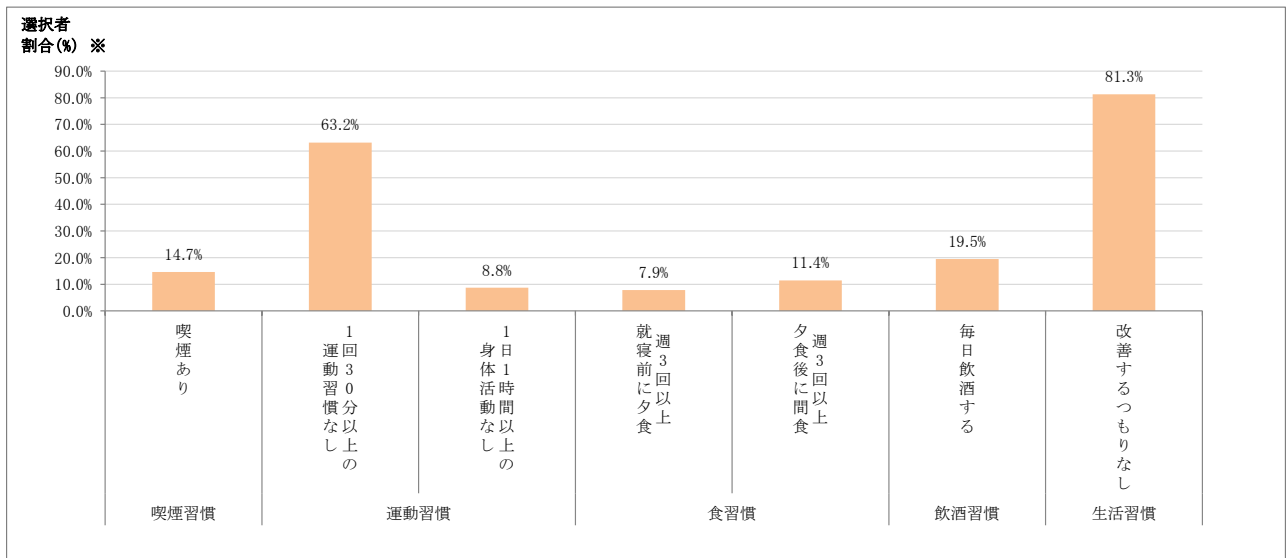
空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	2,648	2,461	2,467
選択者数(人) ※	388	1,555	216
選択者割合(%) ※	14.7%	63.2%	8.8%

	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	2,467	2,467	2,467	2,464
選択者数(人) ※	194	282	481	2,003
選択者割合(%) ※	7.9%	11.4%	19.5%	81.3%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は242人である。このうち、積極的支援の対象者は67人、動機付け支援の対象者は175人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			242人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	2人	67人 28%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	13人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	0人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	5人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	6人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	16人	
	●		●			血糖+脂質	3人	
	●		●	●		血圧+脂質	10人	
		●		●		血糖+喫煙	1人	
			●	●		血圧+喫煙	4人	
				●	脂質+喫煙	7人		
			●		因子数1	血糖	0人	
				●		血圧	0人	
		●		脂質		0人		
			●	喫煙		0人		
				因子数0	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	2人	175人 72%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	10人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	3人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	3人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	2人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	34人	
	●		●			血糖+脂質	8人	
	●		●	●		血圧+脂質	8人	
		●		●		血糖+喫煙	2人	
			●	●		血圧+喫煙	4人	
				●	脂質+喫煙	6人		
			●		因子数1	血糖	36人	
				●		血圧	43人	
		●		脂質		14人		
			●	喫煙		0人		
				因子数0	なし	0人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

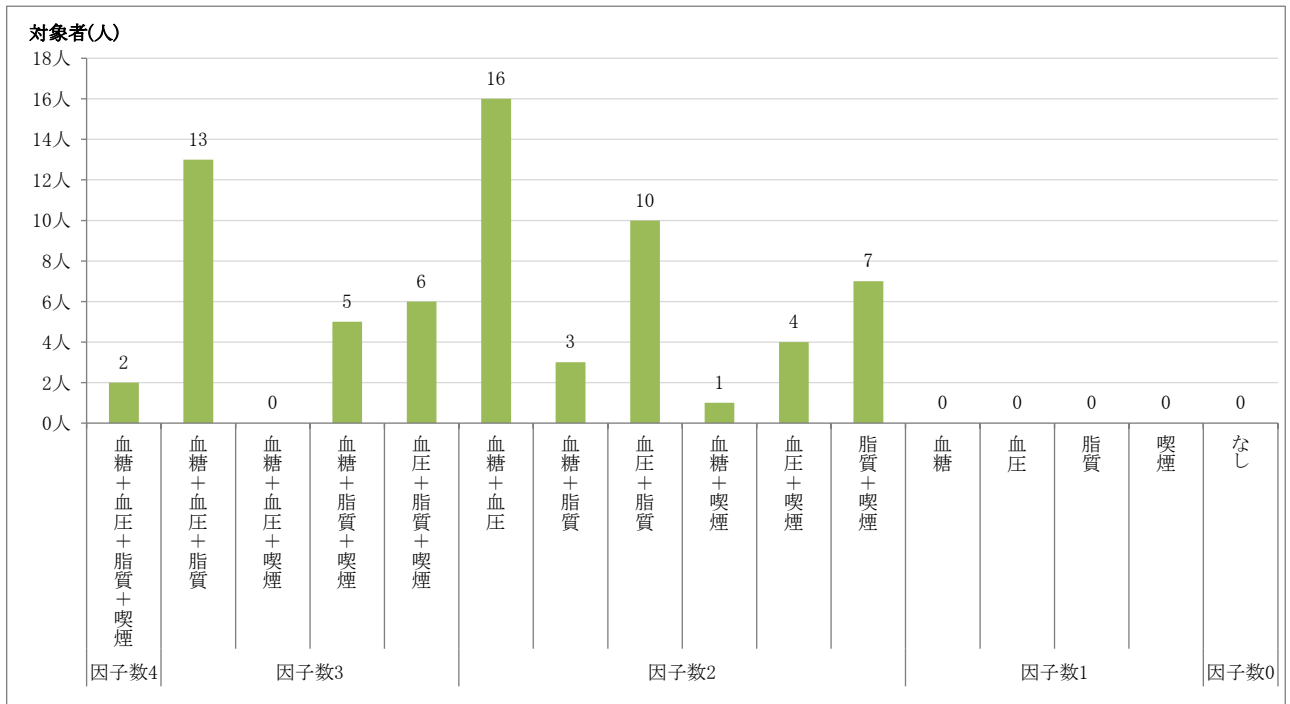
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

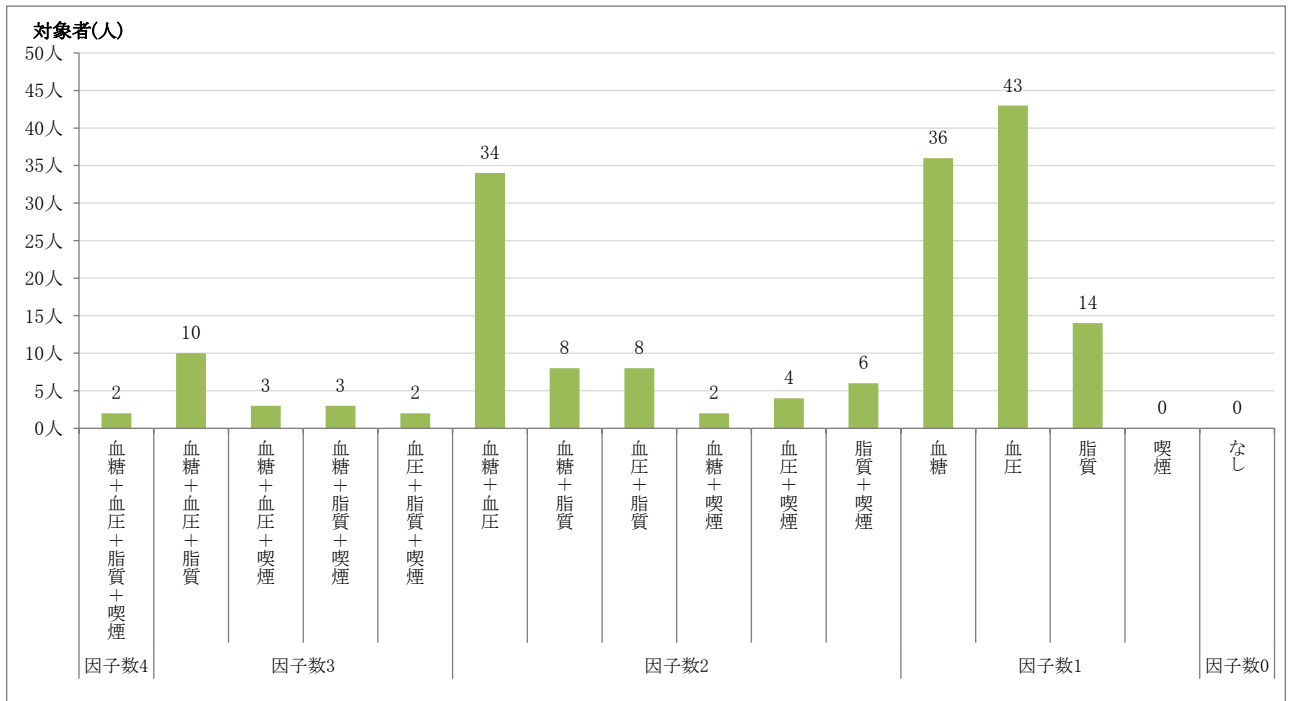
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する380人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	380 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定	
	除外理由別人数
除外	がん、難病等
	96 人
↓	
除外患者を除いた候補者数	284 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者284人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 0人	候補者C 4人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 7人	候補者D 50人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 47人	候補者F 176人
	喫煙	非喫煙	
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			284人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、57.7%が生活習慣を起因とするものであり、その57.7%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

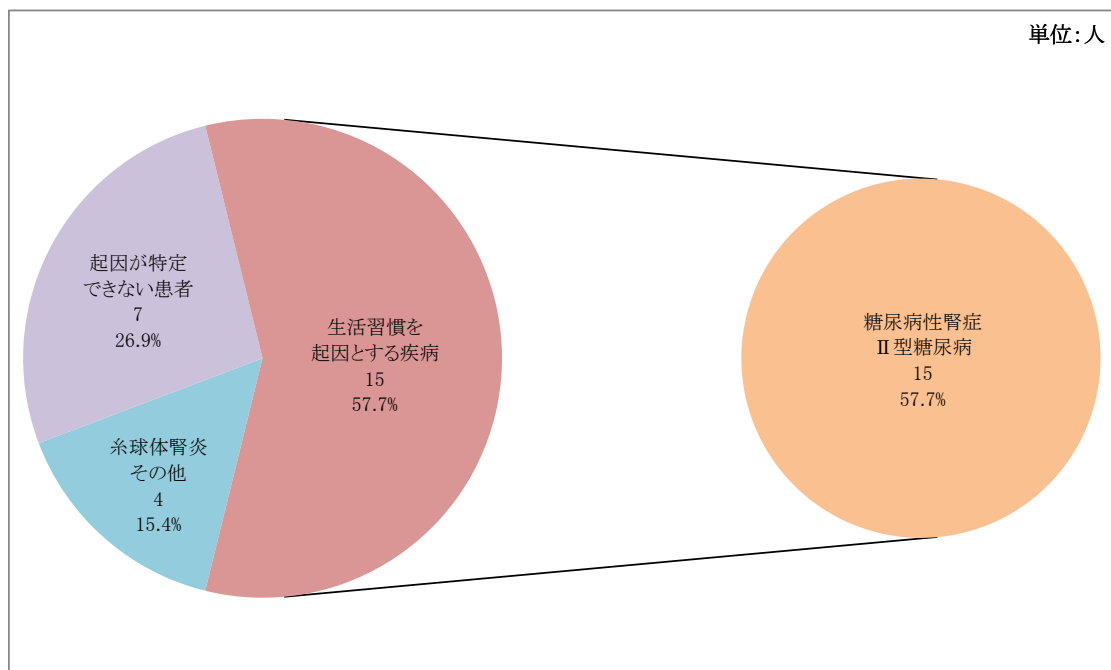
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	26
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	26

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

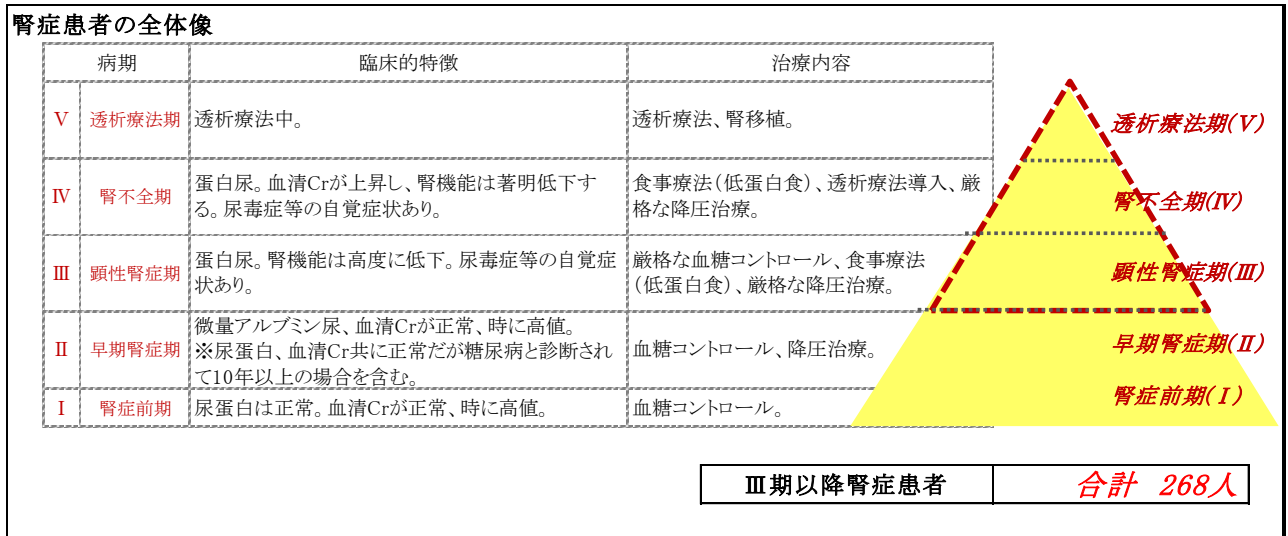
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者268人中92人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

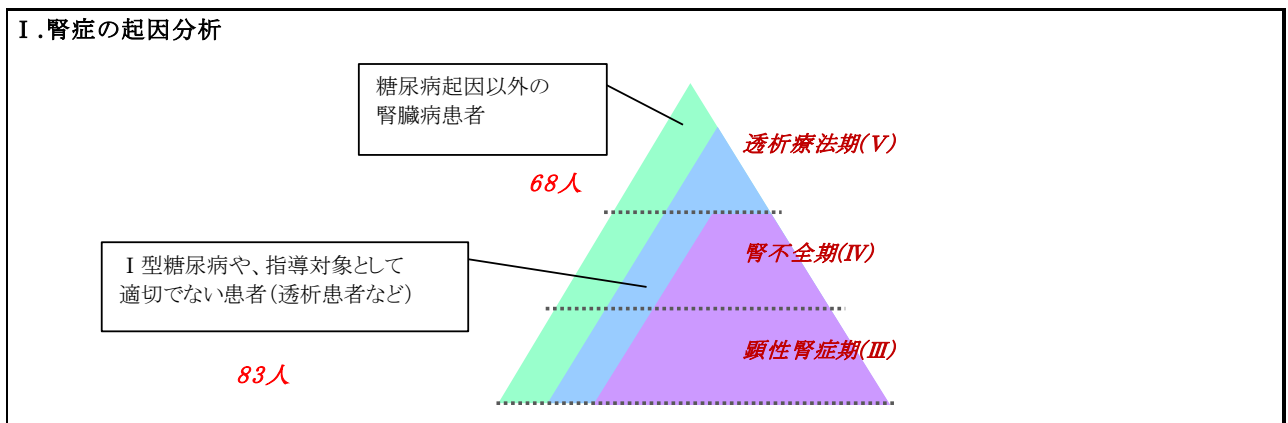
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、68人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、83人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

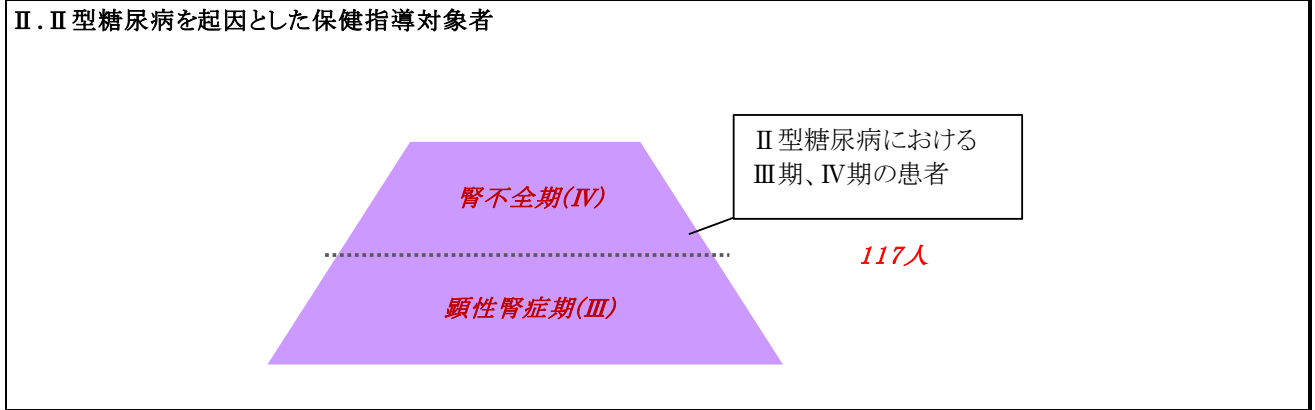
腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて117人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

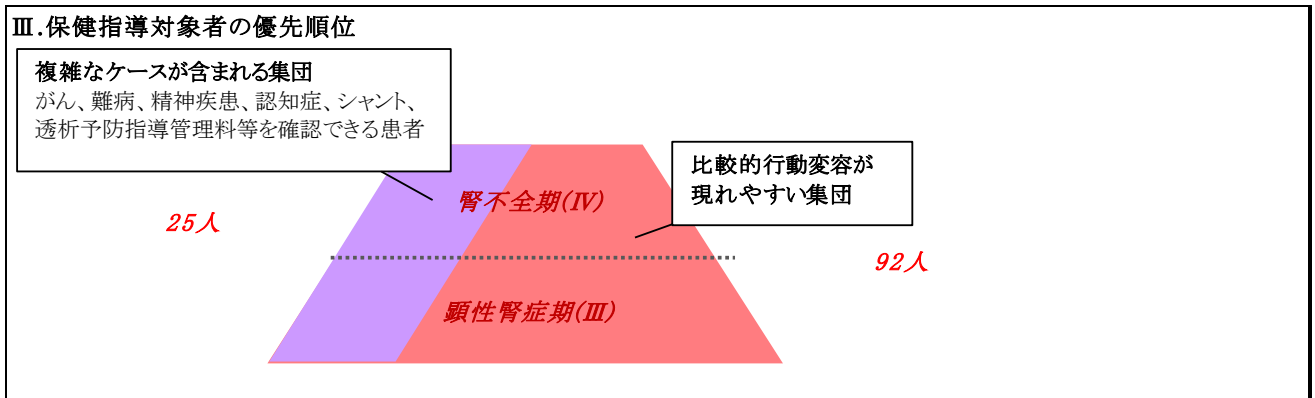


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。117人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、25人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、92人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

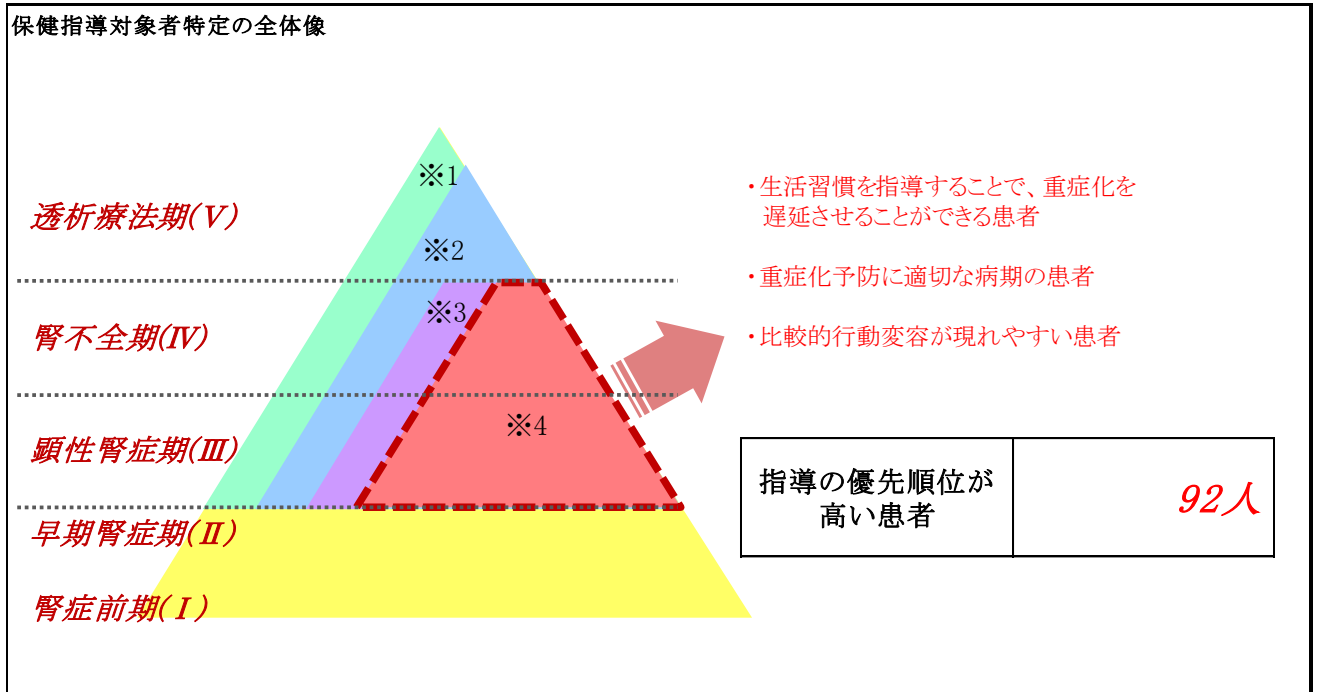
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、92人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(6) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) *	2	4	5	2	9	2	6	4	1	3	7	3
12カ月間の延べ人数											48	
12カ月間の実人数											39	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) *	25	22	26	22	17	19	20	24	21	23	28	39
12カ月間の延べ人数											286	
12カ月間の実人数											95	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) *	20	26	29	26	35	40	29	29	35	38	23	26
12カ月間の延べ人数											356	
12カ月間の実人数											172	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は39人、頻回受診者は95人、重複服薬者は172人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者が19人いるため前述の分析結果より患者数は減少し、287人となる。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者 	
条件設定により候補者となった患者数	287 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	203 人
除外②	がん、難病等 ※	203 人	
除外患者を除き、候補者となった患者数		84 人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者84人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは13人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 4人	候補者C 0人	候補者 と し な い 71人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 7人	候補者D 0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 2人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				13人

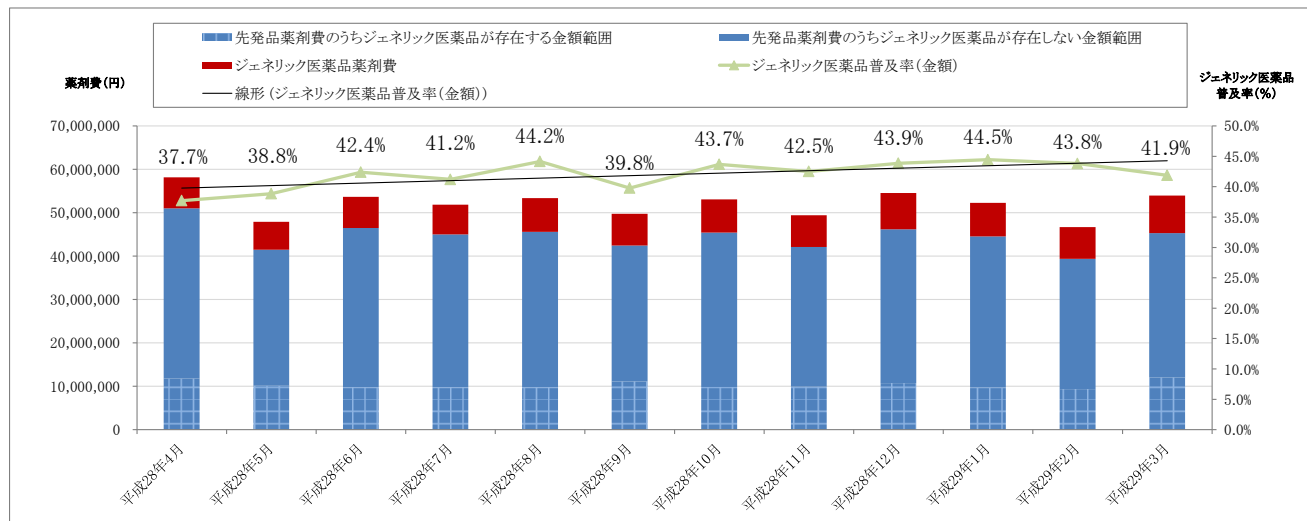
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(7) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。平成28年度のジェネリック医薬品普及率は42.0%(金額ベース)、65.7%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

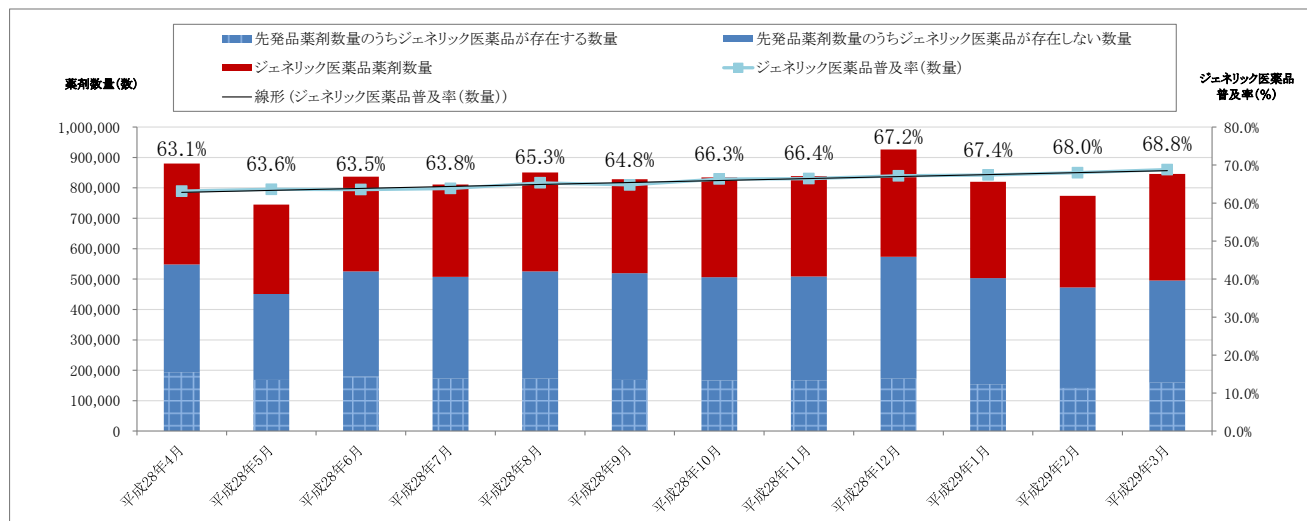


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



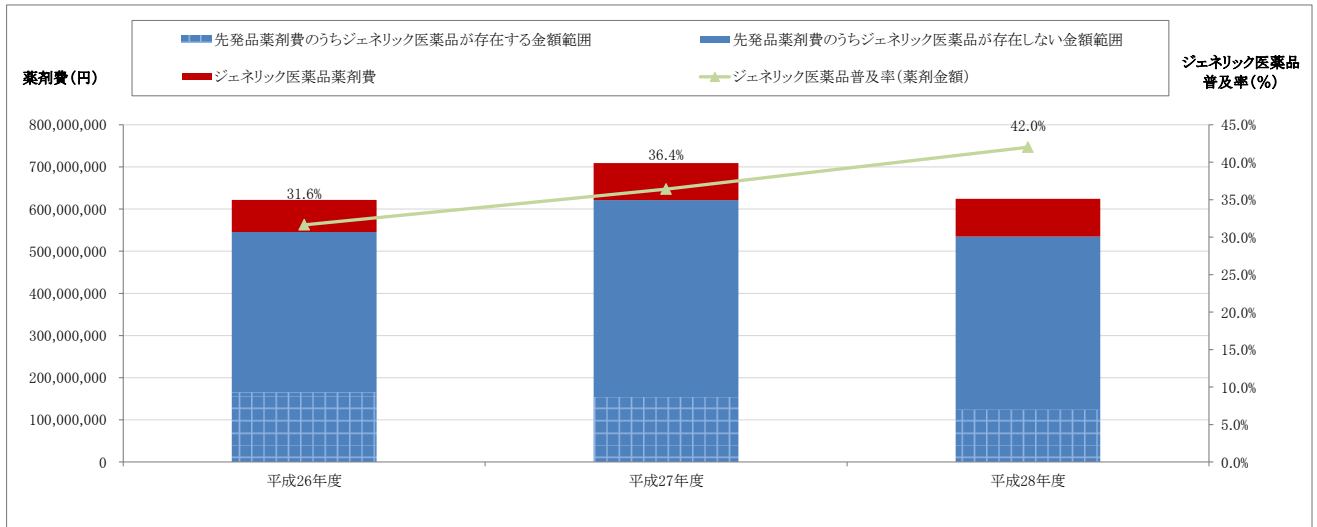
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)42.0%は、平成26年度31.6%より10.4ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)65.7%は、平成26年度55.4%より10.3ポイント上昇している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

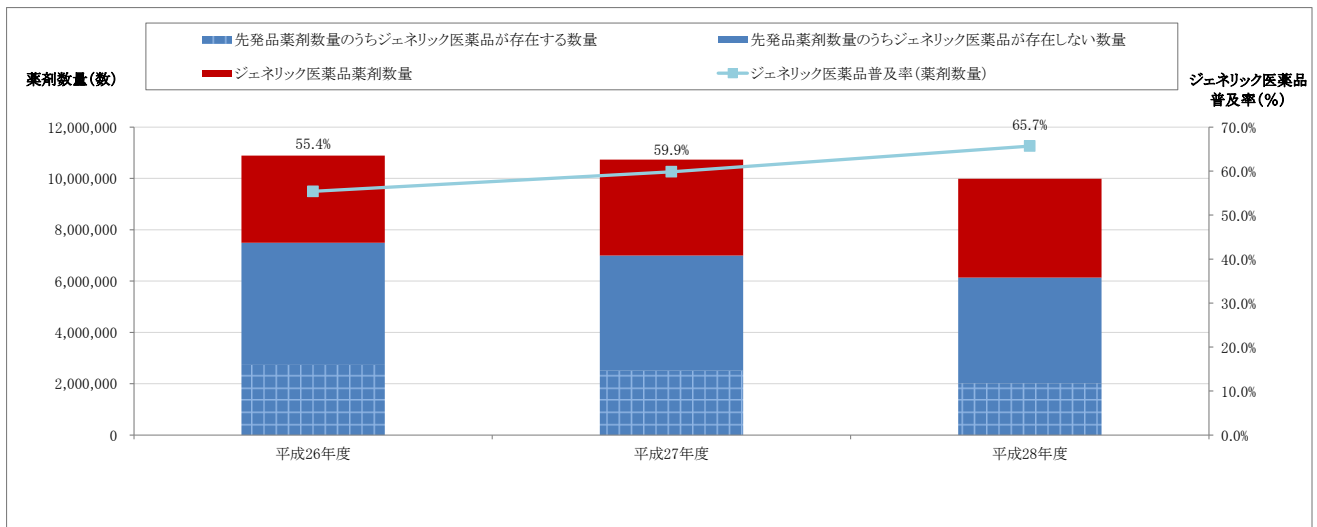


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



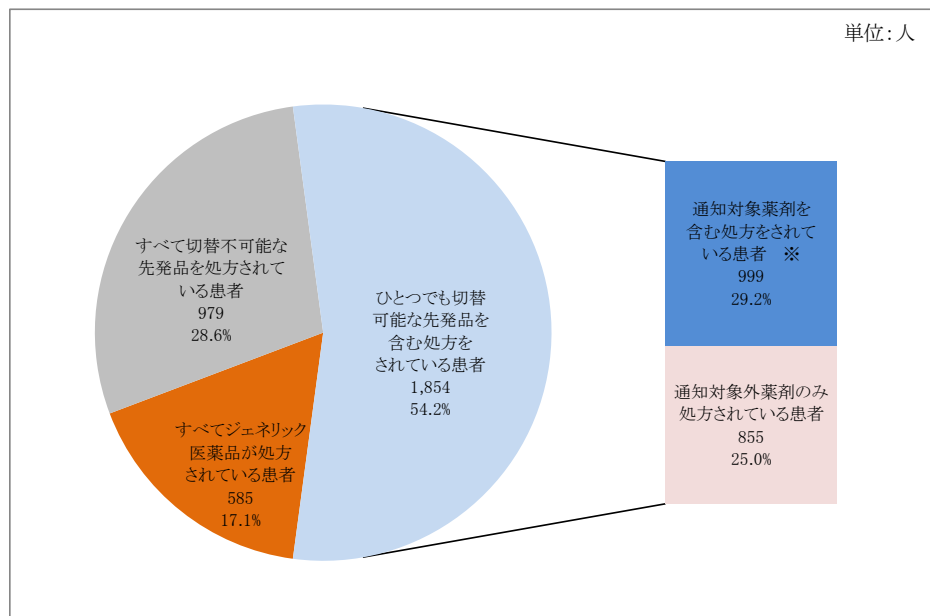
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は3,418人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は1,854人で患者数全体の54.2%を占める。さらに、独自の基準による通知対象薬剤のみに絞り込むと、999人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の29.2%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	循環器系の疾患	375,250,297円
2位	新生物<腫瘍>	267,228,363円
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	258,316,268円

患者数が多い疾病		患者数
1位	呼吸器系の疾患	3,551人
2位	消化器系の疾患	3,220人
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,031人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	762,606円
2位	精神及び行動の障害	206,454円
3位	新生物<腫瘍>	142,522円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	高血圧性疾患	127,459,319円
2位	腎不全	122,509,585円
3位	糖尿病	106,209,804円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	2,307人
2位	糖尿病	1,915人
3位	その他の消化器系の疾患	1,841人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	腎不全	811,322円
2位	その他の周産期に発生した病態	775,028円
3位	白血病	658,734円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	726件
高額レセプト件数割合	0.7%
高額レセプト医療費割合	31.8%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	9,953,200円
2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,641,435円
3位	白血病	6,274,160円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	380人
----------	------

【糖尿病性腎症発症者の状況】

人工透析患者	26人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	15人

【医療機関受診状況】

重複受診者	39人
頻回受診者	95人
重複服薬者	172人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	65.7%
--------------	-------

平成26年度から平成28年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成 26 年度	1位	循環器系の疾患	340,694,175円
	2位	新生物<腫瘍>	255,951,979円
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	222,185,536円
平成 27 年度	1位	循環器系の疾患	343,857,153円
	2位	新生物<腫瘍>	255,626,799円
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	242,977,525円
平成 28 年度	1位	循環器系の疾患	375,250,297円
	2位	新生物<腫瘍>	267,228,363円
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	258,316,268円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成 26 年度	1位	高血圧性疾患	144,336,105円
	2位	糖尿病	111,653,756円
	3位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	103,100,821円
平成 27 年度	1位	高血圧性疾患	138,863,633円
	2位	腎不全	130,674,101円
	3位	糖尿病	108,885,544円
平成 28 年度	1位	高血圧性疾患	127,459,319円
	2位	腎不全	122,509,585円
	3位	糖尿病	106,209,804円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 26 年度	高額レセプト件数	655件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	28.0%
平成 27 年度	高額レセプト件数	682件
	高額レセプト件数割合	0.6%
	高額レセプト医療費割合	30.5%
平成 28 年度	高額レセプト件数	726件
	高額レセプト件数割合	0.7%
	高額レセプト医療費割合	31.8%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの医療費
平成 26 年度	1位	その他の周産期に発生した病態	7,571,315円
	2位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,464,870円
	3位	貧血	6,751,150円
平成 27 年度	1位	その他の精神及び行動の障害	9,871,075円
	2位	その他の脊柱障害	8,198,720円
	3位	子宮の悪性新生物<腫瘍>	7,804,550円
平成 28 年度	1位	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	9,953,200円
	2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,641,435円
	3位	白血病	6,274,160円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	55.4%	59.9%	65.7%

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の受診勧奨 ・特定保健指導の実施
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者受診勧奨 ・生活習慣病治療中断者受診勧奨
<p>◆糖尿病性腎症 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受診行動適正化指導
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率 国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査 受診勧奨事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
糖尿病性腎症重症化 予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、 重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
ジェネリック 医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
対象者を特定し、受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認する。	対象者への通知率 100%	対象者の特定健康診査受診率 30% 特定健康診査受診率 60%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データより検査値の推移を確認する。	対象者への電話勧奨実施率 100%	初回指導率 85% 以上 対象者の指導実施率 73% 以上 特定保健指導対象者 5% 減少
健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 10% 健診異常値放置者 5% 減少
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	対象者の指導実施率 90% 以上	指導完了者の生活習慣改善率 40% 指導完了者の検査値改善率 20% 新規人工透析患者割合 10%以下
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に対象者の受診行動が適切となっているかを確認する。	対象者の指導実施率 70% 以上	指導完了者の受診行動適正化 60% 指導完了者の医療費 5% 減少 重複・頻回受診者、重複服薬者 5% 減少
ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、郵送する。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。	対象者への通知率 100%	通知対象者のジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 50% ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 70%

2. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健康診査受診勧奨事業

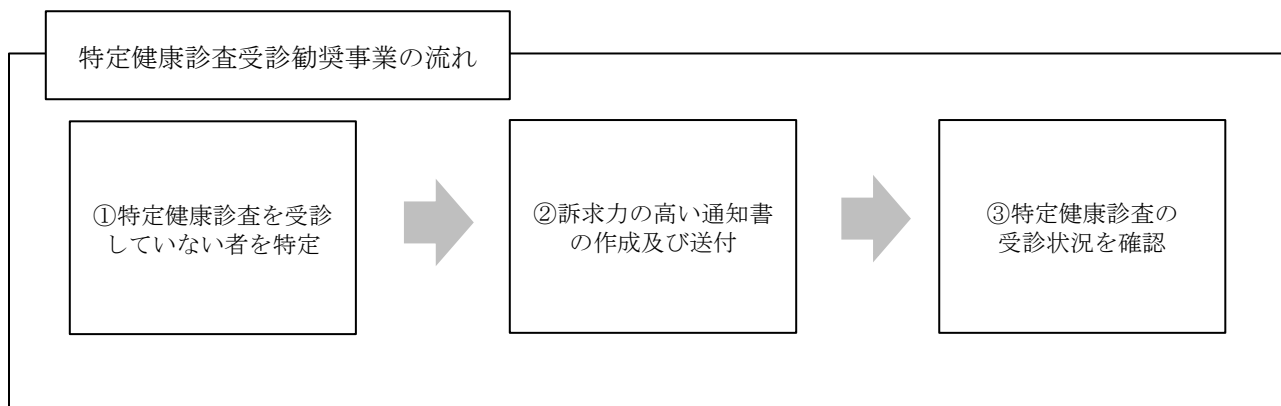
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】



【スケジュール】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				対象者選定		通知				効果測定	

【目標値及び評価方法】

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期 対象者の特定健康診査受診率 30%	事業対象者のうち特定健康診査を受診した人数より確認する。
	中長期 特定健康診査受診率 60%	特定健康診査受診率を確認する。

(2) 特定保健指導事業

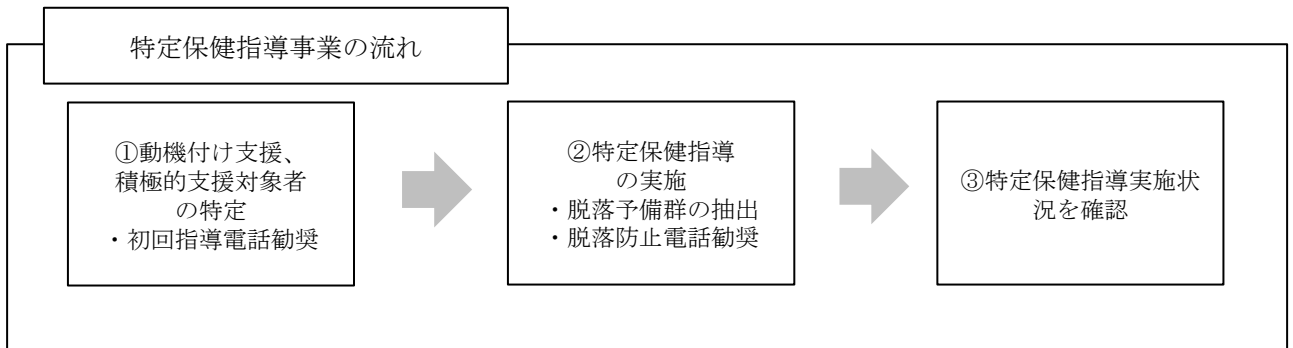
【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。

【事業内容】



【スケジュール】

・前期対象者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
				対象者選定 通知	特定保健指導							
				初回指導 電話勧奨			脱落予備 群の抽出	脱落防止 電話勧奨			効果測定	

・後期対象者

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
			対象者選定 通知	特定保健指導							
			初回指導 電話勧奨			脱落予備 群の抽出	脱落防止 電話勧奨			効果測定	

【目標値及び評価方法】

アウトプット	アウトカム		
	目標	評価方法	
対象者への電話勧奨実施率 100%	短期	初回指導率 85% 以上	事業対象者のうち特定保健指導を受けた人数より確認する
	中長期	対象者の指導実施率 73% 以上 特定保健指導対象者 5% 減少	特定保健指導実施率を確認する。 特定保健指導対象者の割合を確認する。

(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業

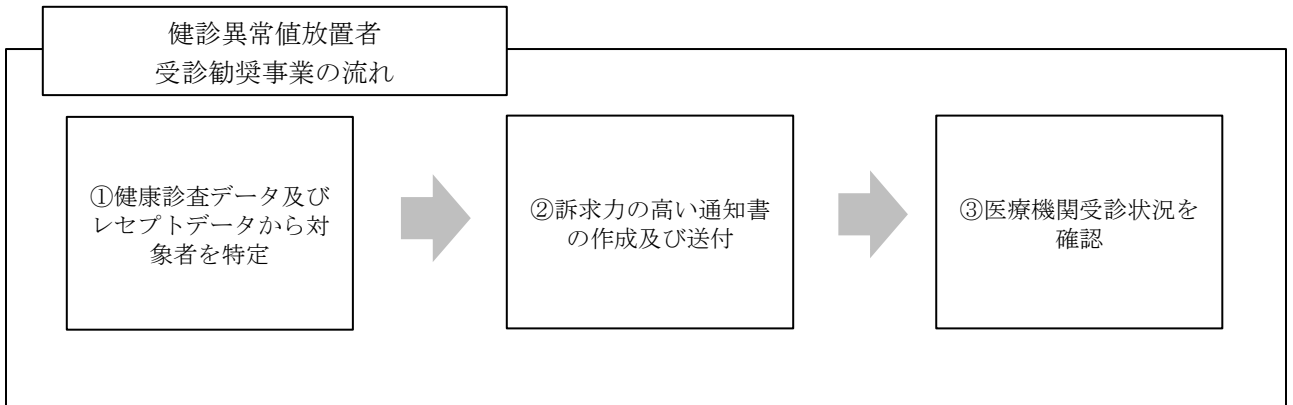
【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

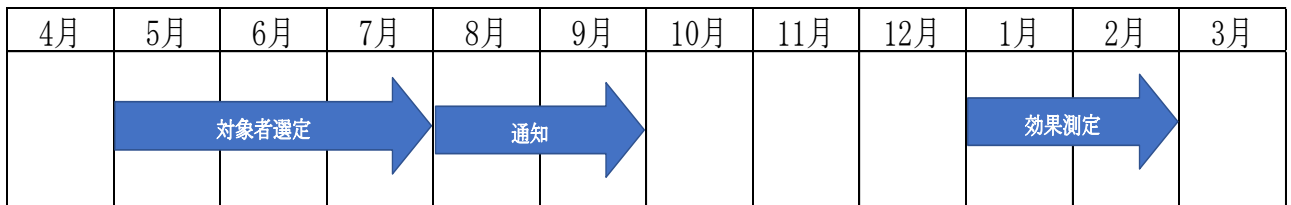
【実施概要】

特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



【スケジュール】



【目標値及び評価方法】

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期 対象者の医療機関受診率 10%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期 健診異常値放置者 5% 減少	健診異常値放置者数の推移により確認する。

(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業

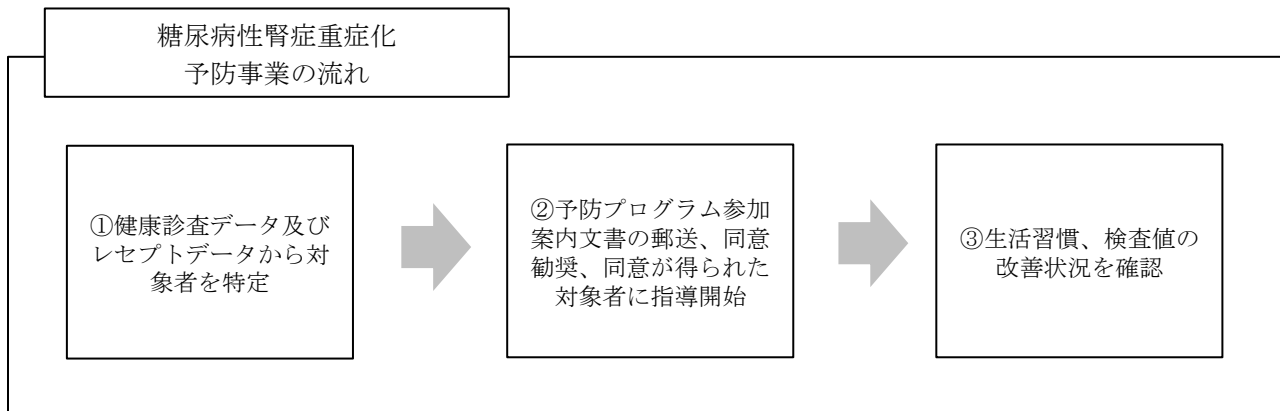
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】



【スケジュール】



【目標値及び評価方法】

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 90% 以上	短期 指導完了者の生活習慣改善率 40% 指導完了者の検査値改善率 20%	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。
	中長期 新規人工透析患者割合 10%以下	レセプトデータより新規人工透析患者数の推移を確認する。

(5) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

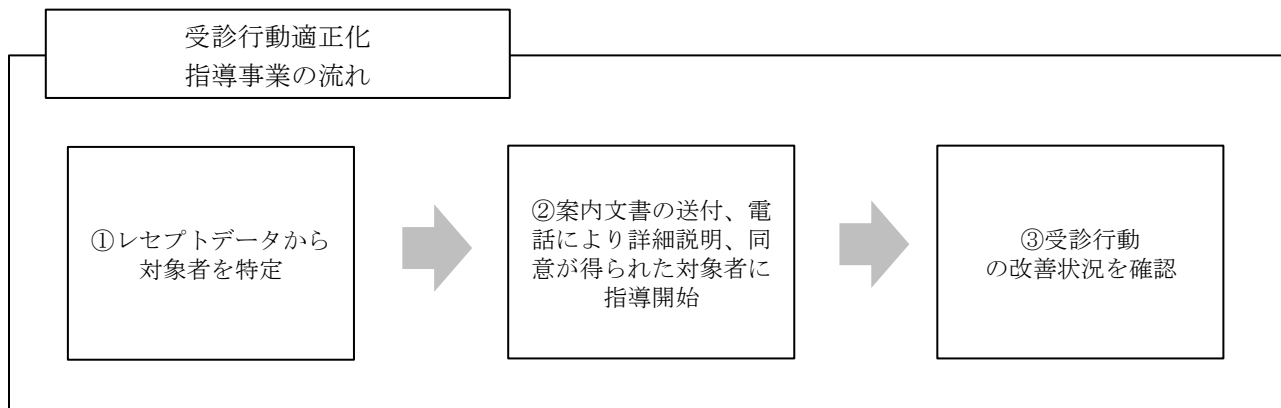
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】



【スケジュール】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			対象者選定			指導			効果測定		

【目標値及び評価方法】

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 70% 以上	短期 指導完了者の受診行動適正化 60% 指導完了者の医療費 5% 減少	指導後の医療機関受診状況を確認する。
	中長期 重複・頻回受診者、重複服薬者 5% 減少	多受診対象者数の推移により確認する。

(6) ジェネリック医薬品差額通知事業

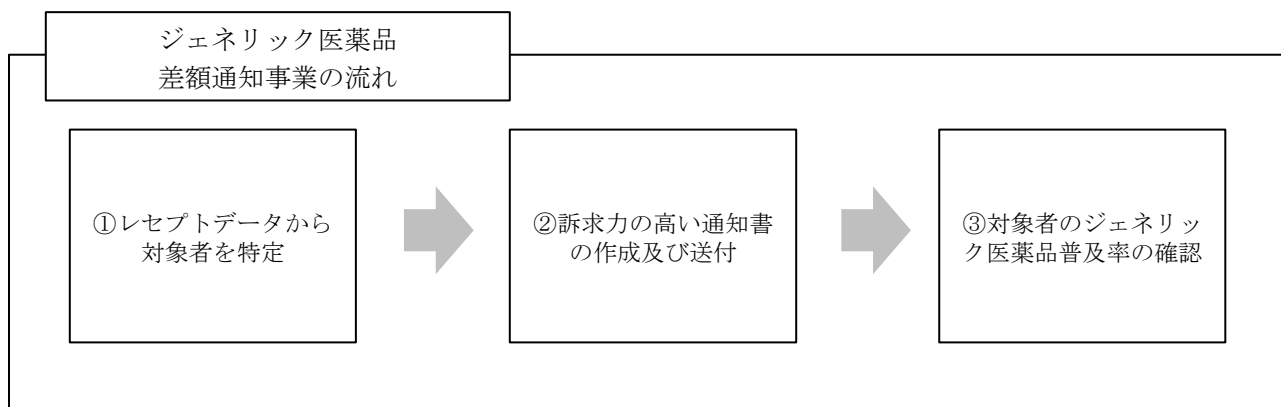
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【スケジュール】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				対象者選定（毎月）							
				通知（毎月）							
				効果測定（毎月）							

【目標値及び評価方法】

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	通知対象者のジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 50%
	中長期	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 70%

通知前後のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を確認する。

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)推移により確認する。

3. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査 受診勧奨事業	P	D	CA	P	D	CA
特定保健指導事業	P	D	CA	P	D	CA
健診異常値放置者 受診勧奨事業	P	D	CA	P	D	CA
糖尿病性腎症 重症化予防事業	P	D	CA	P	D	CA
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	P	D	CA	P	D	CA
ジェネリック 医薬品差額通知事業	P	D	CA	P	D	CA

第4章 特定健康診査等実施計画

1. 計画策定の趣旨

特定健康診査と特定保健指導については、平成20年3月に「蕪崎市第1期特定健康診査等実施計画」を策定して以降、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の早期発見と生活習慣病の発症や重症化、または合併症の発症を抑制することに努めてきた。

今般、第2期（平成25年度～平成30年度）の計画終了に伴い、その実施状況やその評価を踏まえ、第3期計画を策定するものである。

2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ

本計画は、高齢者の医療の確保に関する法律第19条に基づき、蕪崎市国保が策定する計画であり、山梨県医療費適正化計画等と十分な整合性をはかるものとする。

3. 計画期間

第1期特定健康診査等実施計画及び第2期特定健康診査等実施計画は5年を1期としていたが、医療費適正化計画が6年1期に見直されたことを踏まえ、第3期特定健康診査等実施計画からは6年を1期として策定する。

- 計画期間 平成30年度～平成35年度
- データ分析期間 ※P7「4. 計画期間」を参照

4. 特定健診及び保健指導の分析

(1) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況等

蕪崎市国保の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率等を以下に示す。

- 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況
※P11～14「(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況」を参照

(2) 特定健康診査及び特定保健指導の事業実施に係る分析結果

40歳以上の被保険者を対象に、レセプト及び特定健診データによる指導対象者群の分析結果等を以下に示す。

- 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析
※P43「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」を参照
- 特定健康診査に係る分析
※P44～45「(2) 特定健康診査に係る分析」を参照
- 特定保健指導に係る分析
※P46～47「(3) 特定保健指導に係る分析」を参照

5. 第3期計画の目標値

厚生労働省が策定した特定健康診査等基本指針に掲げる基準をもとに、蕪崎市国民健康保険における目標値を設定する。

(1) 特定健診（特定健康診査）の目標値

平成30年度から平成35年度までの特定健診の目標値は下記のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
受診率（目標）	52.5%	54.0%	55.5%	57.0%	58.5%	60.0%
対象者（推計）	5,071人	4,991人	4,912人	4,834人	4,757人	4,682人
受診者（推計）	2,662人	2,695人	2,726人	2,755人	2,783人	2,809人

※対象者数は過去の法定報告値(平成25年度から平成28年度)の増減率等により算出

(2) 特定保健指導の目標値

平成30年度から平成35年度までの特定保健指導の目標値は下記のとおりとする。

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
実施率（目標）	73.5%	73.8%	74.1%	74.4%	74.7%	75.0%
対象者（推計）	253人	252人	255人	254人	253人	252人
実施者（推計）	186人	186人	189人	189人	189人	189人

※対象者数は過去の法定報告値(平成25年度から平成28年度)の出現率等により算出

6. 特定健診・特定保健指導の実施方法

実施内容は、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き（第3版）」（平成30年厚生労働省保健局）に記載されている内容に準拠している。

(1) 特定健康診査の実施方法

①対象者

実施年度中に40歳～74歳になる被保険者(実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む。)ただし、妊産婦、刑務所入所者、海外在住、長期入院等厚生労働省令で定める除外規定に該当する者は対象者から除くものとする。

②実施方法及び実施場所

集団健康診査を保健福祉センター等において実施する。また、受診の機会を拡大するため、土曜・日曜等にも日程を設けるほか、適宜見直しを行う。

③実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」及び市独自の「追加項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施する。

		項目	内容	
必須項目	基本項目	問診	服薬歴、自覚症状、既往歴及び生活習慣の状況に係る質問	
		身体測定	身長、体重、BMI、腹囲	
		血圧測定	収縮期血圧、拡張期血圧	
		理学的検査	身体診察	
		血液検査	血中脂質検査	中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール
			肝機能検査	AST (GOT)、ALT (GPT)、 γ -GT (γ -GTP)
			血糖検査	空腹時血糖又はHbA1c
	尿検査	尿糖、尿蛋白		
	追加項目	市独自の項目	血清クレアチニン検査 (eGFRによる腎機能の評価を含む) ※ 尿酸検査	
	詳細な健診項目		貧血検査	
		心電図検査		
		眼底検査		

※国の基準では「詳細な健診項目」である血清クレアチニンについて、本市では必須項目として実施。

④実施期間

当該年度の7月から11月までの間に行い、予備日を設けるなどして必要に応じて追加健診を実施する。

⑤案内・周知方法

- ・ 特定健康診査の対象者に対し、受診票と案内等を送付
- ・ 広報、ホームページへの記事掲載
- ・ 健康カレンダーへの記載と全戸配布
- ・ 声の広報、メールマガジン等による受診の呼びかけ
- ・ 各種団体（愛育会、食生活改善推進委員会等）への呼びかけや周知

⑥自己負担金

特定健康診査にかかる本人負担は無料とする。

⑦委託の有無

- ・ 委託基準 厚生労働省告示第11号「特定健診・特定保健指導の外部委託基準」を満たす実施機関に委託する。
- ・ 委託機関 特定健康診査は外部委託とし、受託機関において実施する。

(2) 特定保健指導の実施方法

①対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因数による階層化を行い、対象者を抽出する。

ただし、質問票により服薬中と判断された者は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととする。また、65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみ実施する。

【特定保健指導対象者の選定基準】

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当	/	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当	あり なし		
上記以外で BMI≥25	3つ該当	/	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当	あり なし		
	1つ該当	/		
上記に該当しない者、該当するが糖尿病・高血圧症・脂質異常症の治療にかかる薬剤を服用している者				情報提供

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下の通りである。

- ①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上、またはHbA1c (NGSP値) 5.6%以上
- ②脂質：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ③血圧：収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上

②実施方法及び実施場所

特定保健指導は特定健診受診の結果、階層化により積極的支援・動機付け支援と判定された者を対象に、生活習慣改善に向けて、保健師・管理栄養士が保健指導を行う。

集団健診受診者については葦崎市保健福祉センターを実施場所とする。人間ドック受診者について特定保健指導の実施が可能な医療機関においては、それぞれの医療機関が指定する場所で実施する。

③実施内容

特定保健指導は特定健診受診の結果、階層化により積極的支援・動機付け支援と判定された者を対象に、生活習慣改善に向けて、保健師・管理栄養士が保健指導を行う。

	支援形態	支援内容
積極的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・初回面接 ・3か月以上の継続的な支援 ・6か月後の評価（行動目標達成状況、行動維持の励まし等） 	<p>初回時に面接による支援を行い、その後3か月以上の継続的な支援を行う。</p> <p>初回面接時には対象者の行動目標を達成するために必要な支援計画を立て、6か月経過後に実績評価を行う。</p> <p>対象者の行動変容ステージを把握し、対象者が考える将来の生活像を明確にした上で実践可能な行動目標を対象者が選択できるように支援し、行動が継続できるように定期的・継続的に介入する。</p> <p>また、指導終了後も対象者が改善した行動を継続できるよう意識づけを行う。</p>
動機付け支援	<ul style="list-style-type: none"> ・初回面接 ・6か月後の評価（行動目標達成状況、行動維持の励まし等） 	<p>原則1回の面接による支援を実施する。</p> <p>初回面接時に生活習慣に必要な実践指導・行動目標、行動計画を作成し、6か月経過後に実績評価を行う。</p> <p>対象者本人が自分の生活習慣の改善点・延ばすべき行動等に気づき、自ら目標を設定し行動が移せるよう支援する。</p>

④実施時期

集団健診実施後、特定保健指導対象者の選定及び階層化終了後実施する。なお、集団健診受診者については、原則として健診結果説明と同時に初回面接を実施する。

⑤案内方法

動機付け支援、積極的支援対象者全員に保健指導利用案内を啓発チラシとともに個別通知し周知を行う。その後電話にて利用勧奨を行う。

⑥自己負担金

原則として、特定保健指導にかかる本人負担は無料とする。

⑦委託の有無

- ・ 特定保健指導は、原則として特定保健指導業務受託機関への委託により行う。
- ・ 外部委託の実施にあたっては、利用者の利便性に配慮した対応と質を確保するため、「特定保健指導の外部委託に関する基準（厚生労働省告示）」を満たす実施機関に委託する。

⑧利用率向上への対応

- ・ 効率的かつ効果的に特定保健指導を実施するために、集団健診受診者に対しては健診結果説明と同時に初回面接を実施する。
- ・ 利用対象者に対し事前に電話連絡による利用勧奨を行う。
- ・ 特定保健指導を利用したことによる効果など有効性についてチラシ等を作成し周知を促す。

⑨未実施者および中断者対策

- ・ 対象者が保健指導を受けなかった場合は電話等により連絡し、別の集団による保健指導を受けるように促す。
- ・ 来所できない場合には電話にて、対象者が自らの健康状態を自覚し、生活習慣の改善のための自主的な取り組みができるよう支援する。
- ・ 中断者については、外部委託の実施機関から連絡等を受け、対象者に特定保健指導の継続実施を促す。

⑩情報提供

- ・ 健診結果に大きな異常がない者には、健診結果の見方、メタボリックシンドロームについての説明資料を郵送する。
- ・ 医療受診が必要な者についてはその必要性を説明し、受診行動が取れるよう促す。
- ・ 動機付け支援、積極的支援には該当しないが腹囲、BMIが高値の者、腹囲、BMIは正常であるが血糖値、脂質代謝、血圧に異常がみられる者に対し、生活習慣の改善に関する基本的な情報の提供を行う。
- ・ 高血圧、糖尿病で病院受診しているが、コントロール不良と思われる者に対しては訪問等を行い、実態把握を行うとともに生活習慣の改善が図れるよう個別支援を行う。

⑪その他取り組み

- ・市で行う健康教室等の周知・参加を促し、予防として自らの健康維持のために取り組めるようにする。また、特定保健指導の対象または、服薬により対象から除外された者であっても市の保健事業への参加を促し、数値の改善や重症化予防を図っていく。

(3) 特定健診等年間スケジュール

		特定健診	特定保健指導	
			前期	後期
当 年 度	4月			
	5月	・対象者抽出		
	6月	・受診券一斉発送（以降随時）		
	7月	・特定健診（7～8月：9回）		
	8月		・対象者抽出	
	9月		・特定保健指導（3月まで）	
	10月	・特定健診（10～11月：11回）		
	11月	・未受診者勧奨通知発送（10月）		・対象者抽出
	12月		・特定保健指導（翌年度6月まで） 2コース	
	1月			
	2月			
	3月	・翌年度事業計画の検討・見直し		・翌年度事業計画の検討・見直し
翌 年 度	4月			
	5月			
	6月			

※特定保健指導の後期対象者については、翌年度6月まで継続実施。

7. 特定健康診査等の結果の管理と個人情報の保護

特定健康診査等で得られる健康情報等の個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律、蕪崎市個人情報保護条例に遵守する。

(1) データの保管・管理方法・保存年限

特定健康診査等のデータは山梨県国民健康保険団体連合会を通じ、専用回線で接続されたパソコンにおいて電子データで受領し、5年間保管する。

(2) 個人情報の取扱い

特定健康診査及び特定保健指導を外部委託する際は、個人情報の厳重な管理や目的外使用の禁止等を契約書に定めるとともに、契約内容を遵守するよう管理する。

8. 特定健康診査等実施計画の公表・周知

「高齢者の医療の確保に関する法律」第19条第3項の規定に基づき、本計画を市ホームページに掲載し、周知に努める。

9. 特定健康診査等実施計画の評価・見直し

目標及び目標の達成状況について毎年度評価を行い、必要に応じて実施方法・周知方法・保健指導内容等、適宜見直しを行う。

1. データヘルス計画の見直し

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行う。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図り、目標の達成状況等の公表に努める。

3. 事業運営上の留意事項

保健事業の推進に当たっては、保健課との連携を強化し事業を実施する。また、生活習慣病の合併症は、要介護状態の原因疾患になることも多いため、65歳以上の前期高齢者に関する事業は、介護保険課とも連携していく。

4. 個人情報の保護

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「個人情報保護に関する法律についてのガイドライン」「菫崎市個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

地区分析

1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

韮崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【韮崎町】大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	20,740,698	3.7%	11	1,816	12	428	10	48,460	10
II. 新生物<腫瘍>	86,788,300	15.3%	2	1,966	10	467	8	185,842	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,757,982	0.5%	15	541	16	113	16	24,407	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	46,601,897	8.2%	4	7,923	2	727	3	64,102	7
V. 精神及び行動の障害	39,072,568	6.9%	7	2,146	9	206	14	189,673	1
VI. 神経系の疾患	22,552,404	4.0%	9	3,798	6	371	11	60,788	8
VII. 眼及び付属器の疾患	21,836,180	3.8%	10	2,791	7	591	6	36,948	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,919,166	0.3%	18	601	15	168	15	11,424	19
IX. 循環器系の疾患	108,330,112	19.1%	1	9,053	1	708	4	153,009	3
X. 呼吸器系の疾患	41,393,165	7.3%	6	5,129	5	858	1	48,244	11
X I. 消化器系の疾患 ※	36,349,657	6.4%	8	6,196	4	770	2	47,207	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,447,022	1.3%	14	2,357	8	525	7	14,185	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	59,873,507	10.5%	3	6,220	3	683	5	87,663	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	41,585,092	7.3%	5	1,712	13	329	12	126,398	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	216,685	0.0%	19	15	20	7	20	30,955	15
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,613,708	0.5%	16	67	19	20	19	130,685	4
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9,573,366	1.7%	13	1,851	11	458	9	20,903	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	15,559,189	2.7%	12	992	14	292	13	53,285	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,451,364	0.4%	17	518	17	78	17	31,428	14
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	144,398	0.0%	20	122	18	25	18	5,776	20
合計	567,806,460			25,740		1,612		352,237	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

韮崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【穂坂町】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	4,250,285	2.7%	11	472	13	147	9	28,914	12
II. 新生物<腫瘍>	10,875,393	6.9%	6	609	12	163	8	66,720	6
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,593,618	1.0%	15	166	16	43	16	37,061	10
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	18,411,878	11.7%	4	2,769	2	259	2	71,088	5
V. 精神及び行動の障害	19,059,467	12.1%	3	958	8	97	14	196,489	1
VI. 神経系の疾患	7,842,164	5.0%	9	1,410	6	135	11	58,090	7
VII. 眼及び付属器の疾患	5,709,655	3.6%	10	1,005	7	206	6	27,717	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	658,590	0.4%	16	213	15	64	15	10,290	17
IX. 循環器系の疾患	24,636,115	15.6%	1	3,172	1	252	4	97,762	3
X. 呼吸器系の疾患	8,600,786	5.4%	7	1,650	5	296	1	29,057	11
X I. 消化器系の疾患 ※	13,095,434	8.3%	5	2,227	3	259	2	50,562	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,140,082	2.0%	13	810	9	177	7	17,741	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	24,494,265	15.5%	2	2,175	4	243	5	100,799	2
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	8,234,947	5.2%	8	708	10	110	12	74,863	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	41,453	0.0%	18	21	18	7	18	5,922	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,826,245	1.8%	14	664	11	143	10	19,764	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,114,822	2.6%	12	361	14	105	13	39,189	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	405,087	0.3%	17	112	17	19	17	21,320	14
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	25,894	0.0%	19	14	19	6	19	4,316	19
合計	158,016,180			8,763		572		276,252	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

韮崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【藤井町】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	9,822,784	3.7%	10	906	12	226	10	43,464	11
II. 新生物<腫瘍>	30,912,197	11.7%	2	1,014	10	266	8	116,211	6
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	533,830	0.2%	19	198	17	62	16	8,610	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	27,306,843	10.3%	3	4,544	2	408	3	66,929	8
V. 精神及び行動の障害	17,702,831	6.7%	8	1,131	9	116	14	152,611	3
VI. 神経系の疾患	17,814,205	6.7%	7	2,111	6	197	11	90,427	7
VII. 眼及び付属器の疾患	8,082,591	3.1%	11	1,345	7	305	6	26,500	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,049,813	0.4%	17	302	15	86	15	12,207	18
IX. 循環器系の疾患	46,821,897	17.7%	1	5,473	1	402	5	116,472	5
X. 呼吸器系の疾患	20,176,731	7.6%	5	2,455	5	481	1	41,947	12
X I. 消化器系の疾患 ※	16,132,802	6.1%	9	3,388	4	440	2	36,665	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,325,697	2.4%	13	1,316	8	291	7	21,738	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	26,291,629	10.0%	4	3,507	3	405	4	64,918	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	18,687,115	7.1%	6	900	13	157	13	119,026	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,705,546	0.6%	16	11	20	3	20	568,515	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,926,776	1.1%	15	3	21	1	21	2,926,776	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	14,225	0.0%	21	17	19	5	19	2,845	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,831,149	1.5%	14	1,009	11	235	9	16,303	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	7,263,947	2.8%	12	543	14	166	12	43,759	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	577,038	0.2%	18	199	16	35	17	16,487	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	38,964	0.0%	20	47	18	12	18	3,247	20
合計	264,018,610			14,461		923		286,044	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

韮崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【中田町】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,759,295	2.4%	12	338	12	94	9	29,354	12
II. 新生物<腫瘍>	2,584,467	2.2%	13	362	11	97	8	26,644	14
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	167,744	0.1%	17	87	17	24	16	6,989	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,451,106	9.0%	5	1,808	2	162	4	64,513	7
V. 精神及び行動の障害	11,389,650	9.9%	4	567	8	50	14	227,793	1
VI. 神経系の疾患	12,324,036	10.7%	3	1,170	5	91	10	135,429	4
VII. 眼及び付属器の疾患	3,951,756	3.4%	9	571	7	107	6	36,932	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	434,441	0.4%	15	117	15	30	15	14,481	16
IX. 循環器系の疾患	23,378,895	20.2%	1	2,160	1	167	3	139,993	3
X. 呼吸器系の疾患	10,190,668	8.8%	6	1,114	6	180	1	56,615	8
X I. 消化器系の疾患 ※	8,297,328	7.2%	7	1,472	3	177	2	46,878	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,776,348	2.4%	11	473	9	103	7	26,955	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	15,858,175	13.7%	2	1,353	4	155	5	102,311	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	3,409,817	3.0%	10	461	10	69	12	49,418	9
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	17,915	0.0%	19	5	19	1	20	17,915	15
X VI. 周産期に発生した病態 ※	176,720	0.2%	16	6	18	1	20	176,720	2
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	7,028	0.0%	21	3	21	2	19	3,514	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,139,102	1.0%	14	285	13	84	11	13,561	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,183,868	5.4%	8	175	14	58	13	106,618	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	54,115	0.0%	18	96	16	15	17	3,608	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	10,456	0.0%	20	5	19	3	18	3,485	21
合計	115,562,930			5,968		352		328,304	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

菫崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【穴山町】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	5,493,234	7.6%	6	306	13	78	9	70,426	3
II. 新生物<腫瘍>	4,622,898	6.4%	8	374	10	97	8	47,659	9
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	225,071	0.3%	16	95	15	25	16	9,003	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	8,208,924	11.4%	3	1,602	1	137	2	59,919	5
V. 精神及び行動の障害	8,272,461	11.5%	2	363	11	30	14	275,749	1
VI. 神経系の疾患	3,644,145	5.1%	10	606	6	55	13	66,257	4
VII. 眼及び付属器の疾患	2,281,530	3.2%	11	429	9	116	6	19,668	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	237,808	0.3%	15	77	16	27	15	8,808	16
IX. 循環器系の疾患	11,278,716	15.7%	1	1,549	2	126	5	89,514	2
X. 呼吸器系の疾患	7,011,596	9.8%	4	864	5	147	1	47,698	8
X I. 消化器系の疾患 ※	5,309,462	7.4%	7	1,034	4	132	3	40,223	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,528,915	2.1%	13	493	7	102	7	14,989	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	6,862,782	9.6%	5	1,067	3	131	4	52,388	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,599,524	2.2%	12	331	12	62	12	25,799	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,316	0.0%	18	2	18	1	18	2,316	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,432,361	2.0%	14	449	8	76	10	18,847	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,757,607	5.2%	9	277	14	72	11	52,189	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	42,684	0.1%	17	70	17	13	17	3,283	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,776	0.0%	19	1	19	1	18	1,776	19
合計	71,813,810			4,708		310		231,657	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

菫崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【円野町】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,248,675	1.2%	13	374	11	72	10	17,343	15
II. 新生物<腫瘍>	6,524,310	6.3%	9	280	13	68	11	95,946	7
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	106,597	0.1%	18	57	17	10	17	10,660	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	8,873,409	8.5%	6	1,444	2	119	4	74,566	9
V. 精神及び行動の障害	12,159,611	11.7%	2	548	7	45	14	270,214	1
VI. 神経系の疾患	8,967,774	8.6%	5	904	6	73	9	122,846	5
VII. 眼及び付属器の疾患	2,169,536	2.1%	11	398	9	82	6	26,458	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	271,788	0.3%	17	66	16	29	15	9,372	19
IX. 循環器系の疾患	18,381,445	17.7%	1	1,750	1	123	3	149,443	4
X. 呼吸器系の疾患	6,786,268	6.5%	8	919	5	134	1	50,644	11
X I. 消化器系の疾患 ※	8,421,460	8.1%	7	1,327	3	125	2	67,372	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,184,929	1.1%	14	385	10	82	6	14,450	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	10,808,756	10.4%	3	1,281	4	114	5	94,814	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	8,983,249	8.7%	4	353	12	57	13	157,601	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,820	0.0%	20	1	20	1	19	2,820	20
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	784,120	0.8%	15	35	18	5	18	156,824	3
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,452,406	1.4%	12	487	8	80	8	18,155	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,338,071	6.1%	10	211	14	64	12	99,032	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	332,623	0.3%	16	110	15	16	16	20,789	13
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	10,003	0.0%	19	22	19	1	19	10,003	18
合計	103,807,850			4,570		253		410,308	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

菫崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【清哲町】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	626,457	0.7%	15	201	13	60	10	10,441	18
II. 新生物<腫瘍>	14,242,715	14.9%	3	318	9	75	7	189,903	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	222,908	0.2%	16	101	16	15	17	14,861	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	6,053,839	6.3%	6	1,095	4	117	4	51,742	7
V. 精神及び行動の障害	5,816,657	6.1%	7	296	11	29	14	200,574	1
VI. 神経系の疾患	9,388,563	9.8%	4	649	6	56	11	167,653	4
VII. 眼及び付属器の疾患	2,868,312	3.0%	9	430	7	86	6	33,352	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	206,236	0.2%	17	75	17	22	15	9,374	19
IX. 循環器系の疾患	17,005,209	17.8%	2	1,518	1	129	3	131,823	6
X. 呼吸器系の疾患	2,250,234	2.4%	11	660	5	135	1	16,668	13
X I. 消化器系の疾患 ※	5,228,938	5.5%	8	1,173	2	134	2	39,022	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	977,216	1.0%	13	309	10	73	8	13,387	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	19,172,745	20.1%	1	1,155	3	107	5	179,185	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	2,741,825	2.9%	10	291	12	54	12	50,775	8
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	174,355	0.2%	18	10	19	5	18	34,871	11
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	983,839	1.0%	12	323	8	66	9	14,907	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,652,660	7.0%	5	160	14	50	13	133,053	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	691,728	0.7%	14	130	15	17	16	40,690	9
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	56,834	0.1%	19	24	18	5	18	11,367	17
合計	95,361,270			4,016		237		402,368	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

菫崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【神山町】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,326,550	8.2%	6	356	9	71	7	89,106	5
II. 新生物<腫瘍>	7,280,480	9.4%	4	315	12	73	6	99,733	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	376,172	0.5%	16	85	16	18	16	20,898	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	5,393,421	7.0%	7	1,059	3	99	5	54,479	6
V. 精神及び行動の障害	16,329,911	21.1%	1	373	8	42	13	388,807	1
VI. 神経系の疾患	2,273,219	2.9%	10	599	6	55	11	41,331	8
VII. 眼及び付属器の疾患	2,355,430	3.0%	9	376	7	71	7	33,175	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	534,013	0.7%	15	87	15	20	15	26,701	13
IX. 循環器系の疾患	10,627,382	13.8%	2	1,431	1	119	3	89,306	4
X. 呼吸器系の疾患	3,343,362	4.3%	8	628	5	131	1	25,522	14
X I. 消化器系の疾患 ※	6,673,641	8.6%	5	1,142	2	123	2	54,257	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,475,101	1.9%	13	338	11	70	9	21,073	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	10,179,175	13.2%	3	1,023	4	111	4	91,704	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,735,997	2.2%	11	287	13	50	12	34,720	9
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	100,557	0.1%	17	7	19	3	18	33,519	10
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,755	0.0%	20	2	20	2	19	878	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,530,810	2.0%	12	354	10	56	10	27,336	12
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	644,580	0.8%	14	131	14	41	14	15,721	18
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	56,905	0.1%	18	63	17	14	17	4,065	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	34,139	0.0%	19	12	18	2	19	17,070	17
合計	77,272,600			3,912		235		328,820	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

韮崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【旭町】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	5,693,199	2.3%	11	713	13	198	9	28,754	13
II. 新生物<腫瘍>	31,391,144	12.8%	2	783	12	180	11	174,395	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,655,681	1.5%	12	224	17	40	17	91,392	5
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	26,211,861	10.7%	5	3,686	2	345	3	75,976	9
V. 精神及び行動の障害	18,686,094	7.6%	6	1,453	7	112	14	166,840	3
VI. 神経系の疾患	17,780,337	7.2%	7	2,181	5	206	8	86,312	7
VII. 眼及び付属器の疾患	6,515,845	2.7%	10	1,166	8	241	6	27,037	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	882,274	0.4%	17	310	15	74	15	11,923	20
IX. 循環器系の疾患	40,444,562	16.5%	1	3,740	1	313	4	129,216	4
X. 呼吸器系の疾患	11,265,850	4.6%	9	1,729	6	383	1	29,415	12
X I. 消化器系の疾患 ※	13,871,661	5.7%	8	2,868	3	346	2	40,092	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,260,704	1.3%	13	1,036	10	209	7	15,601	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	27,697,358	11.3%	4	2,467	4	305	5	90,811	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	30,811,734	12.6%	3	1,041	9	131	13	235,204	1
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	159,119	0.1%	20	2	21	2	20	79,560	8
X VI. 周産期に発生した病態 ※	6,660	0.0%	21	6	20	1	21	6,660	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	765,754	0.3%	18	47	18	14	18	54,697	10
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,547,604	1.0%	15	831	11	194	10	13,132	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,671,618	1.1%	14	383	14	143	12	18,683	17
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	939,307	0.4%	16	305	16	46	16	20,420	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	227,764	0.1%	19	35	19	10	19	22,776	15
合計	245,486,130			11,085		747		328,629	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

韮崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【大草町】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,803,150	1.5%	14	573	13	148	10	18,940	16
II. 新生物<腫瘍>	30,629,552	15.9%	2	720	11	166	8	184,515	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	833,903	0.4%	15	147	17	39	16	21,382	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	19,361,014	10.0%	4	3,086	2	300	3	64,537	8
V. 精神及び行動の障害	10,240,752	5.3%	8	852	8	87	14	117,710	4
VI. 神経系の疾患	11,494,989	6.0%	6	1,530	6	142	11	80,951	5
VII. 眼及び付属器の疾患	5,119,757	2.7%	11	897	7	199	6	25,727	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	606,156	0.3%	16	195	15	73	15	8,304	17
IX. 循環器系の疾患	38,160,060	19.8%	1	3,650	1	299	4	127,626	3
X. 呼吸器系の疾患	8,060,082	4.2%	9	1,681	5	338	1	23,846	12
X I. 消化器系の疾患 ※	11,219,683	5.8%	7	2,401	4	306	2	36,666	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,508,188	1.8%	12	841	9	179	7	19,599	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	18,459,707	9.6%	5	2,558	3	269	5	68,623	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	21,958,271	11.4%	3	630	12	111	13	197,822	1
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	371,220	0.2%	17	15	19	5	19	74,244	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,348	0.0%	20	2	21	1	21	2,348	20
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	60,464	0.0%	19	30	18	13	18	4,651	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,013,459	1.6%	13	804	10	154	9	19,568	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,805,617	3.5%	10	408	14	122	12	55,784	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	169,721	0.1%	18	194	16	28	17	6,061	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,137	0.0%	21	5	20	3	20	712	21
合計	192,880,230			9,509		646		298,576	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

韮崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【龍岡町】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	8,905,760	3.7%	9	884	9	203	8	43,871	12
II. 新生物<腫瘍>	39,851,445	16.5%	1	861	10	198	9	201,270	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,715,114	0.7%	15	245	16	51	15	33,630	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	25,355,555	10.5%	4	3,539	2	304	4	83,406	6
V. 精神及び行動の障害	7,820,764	3.2%	11	835	11	94	14	83,200	7
VI. 神経系の疾患	9,005,304	3.7%	8	1,793	6	169	11	53,286	9
VII. 眼及び付属器の疾患	8,870,160	3.7%	10	1,234	7	286	5	31,015	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,533,626	0.6%	16	173	17	51	15	30,071	16
IX. 循環器系の疾患	33,201,440	13.7%	2	3,730	1	307	3	108,148	5
X. 呼吸器系の疾患	17,361,628	7.2%	6	2,071	5	381	1	45,569	11
X I. 消化器系の疾患 ※	15,289,033	6.3%	7	2,730	3	335	2	45,639	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,094,887	2.5%	12	1,120	8	213	7	28,614	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	31,034,463	12.8%	3	2,520	4	282	6	110,051	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	24,797,990	10.3%	5	816	12	137	12	181,007	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	718,768	0.3%	18	13	20	6	20	119,795	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,028,948	0.4%	17	47	19	16	18	64,309	8
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,437,792	1.8%	13	779	13	175	10	25,359	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,972,848	1.6%	14	333	14	110	13	36,117	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	469,212	0.2%	19	283	15	42	17	11,172	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	110,163	0.0%	20	97	18	16	18	6,885	20
合計	241,574,900			10,610		701		344,615	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

菫崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,866,841	2.4%	10	208	9	42	10	44,449	13
II. 新生物<腫瘍>	1,525,462	2.0%	12	68	15	25	14	61,018	9
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	255,192	0.3%	16	99	14	19	15	13,431	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,607,970	4.6%	7	461	5	54	5	66,814	7
V. 精神及び行動の障害	32,471,165	41.6%	1	747	2	56	4	579,842	2
VI. 神経系の疾患	5,918,544	7.6%	3	747	2	58	3	102,044	5
VII. 眼及び付属器の疾患	1,585,172	2.0%	11	149	11	34	12	46,623	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	101,560	0.1%	17	33	16	13	16	7,812	18
IX. 循環器系の疾患	2,984,464	3.8%	9	471	4	46	7	64,880	8
X. 呼吸器系の疾患	4,861,853	6.2%	4	429	6	87	1	55,883	10
X I. 消化器系の疾患 ※	4,015,991	5.1%	6	759	1	73	2	55,014	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,507,069	4.5%	8	218	8	52	6	67,444	6
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	7,583,706	9.7%	2	364	7	46	7	164,863	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	4,278,330	5.5%	5	126	12	28	13	152,798	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	71,769	0.1%	18	8	19	5	18	14,354	15
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,460,310	1.9%	13	2	21	1	21	1,460,310	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	5,075	0.0%	21	11	18	3	19	1,692	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	426,648	0.5%	15	196	10	43	9	9,922	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,457,514	1.9%	14	119	13	37	11	39,392	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	15,531	0.0%	19	32	17	7	17	2,219	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	6,484	0.0%	20	7	20	2	20	3,242	19
合計	78,006,650			2,195		160		487,542	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

韮崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【韮崎町】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	33,388,874	5.9%	545
2	1402 腎不全	31,792,638	5.6%	43
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	28,793,610	5.1%	201
4	0903 その他の心疾患	25,289,321	4.5%	224
5	0402 糖尿病	22,343,235	3.9%	489
6	1302 関節症	21,058,318	3.7%	199
7	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	17,185,533	3.0%	72
8	1113 その他の消化器系の疾患	16,504,737	2.9%	424
9	0905 脳内出血	16,025,389	2.8%	15
10	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	15,995,659	2.8%	56

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【穂坂町】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	11,066,088	7.0%	202
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	10,152,728	6.4%	30
3	0402 糖尿病	9,913,679	6.3%	166
4	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	7,214,833	4.6%	83
5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	6,622,464	4.2%	73
6	1113 その他の消化器系の疾患	6,006,622	3.8%	137
7	1302 関節症	5,947,935	3.8%	64
8	0403 脂質異常症	5,561,416	3.5%	145
9	0903 その他の心疾患	5,347,290	3.4%	67
10	0606 その他の神経系の疾患	4,750,798	3.0%	115

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

韮崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【藤井町】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0903 その他の心疾患	21,739,886	8.2%	110
2	0901 高血圧性疾患	17,796,683	6.7%	328
3	0402 糖尿病	14,967,500	5.7%	242
4	1402 腎不全	13,208,082	5.0%	19
5	0606 その他の神経系の疾患	10,840,759	4.1%	178
6	1113 その他の消化器系の疾患	8,891,450	3.4%	217
7	0403 脂質異常症	8,600,677	3.3%	228
8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	8,307,102	3.1%	33
9	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	7,752,464	2.9%	160
10	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	7,650,779	2.9%	98

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【中田町】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	7,784,073	6.7%	130
2	0908 その他の脳血管疾患	6,503,591	5.6%	11
3	0402 糖尿病	5,695,598	4.9%	89
4	0606 その他の神経系の疾患	5,295,355	4.6%	83
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	5,221,782	4.5%	17
6	1901 骨折	4,753,804	4.1%	12
7	0603 てんかん	4,195,098	3.6%	11
8	0904 くも膜下出血	4,039,963	3.5%	2
9	1309 骨の密度及び構造の障害	3,511,364	3.0%	42
10	1113 その他の消化器系の疾患	3,244,074	2.8%	103

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

菰崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【穴山町】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	5,580,267	7.8%	15
2	0901 高血圧性疾患	5,271,534	7.3%	98
3	0402 糖尿病	4,359,059	6.1%	90
4	1011 その他の呼吸器系の疾患	3,324,107	4.6%	44
5	0105 ウイルス性肝炎	2,793,601	3.9%	7
6	0403 脂質異常症	2,656,691	3.7%	67
7	1113 その他の消化器系の疾患	2,420,801	3.4%	76
8	1301 炎症性多発性関節障害	2,291,884	3.2%	24
9	0106 その他のウイルス性疾患	2,004,709	2.8%	4
10	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	1,876,734	2.6%	37

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【円野町】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	6,866,694	6.6%	8
2	0606 その他の神経系の疾患	5,440,996	5.2%	65
3	0901 高血圧性疾患	5,379,626	5.2%	101
4	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	5,183,580	5.0%	13
5	0912 その他の循環器系の疾患	4,608,875	4.4%	8
6	0402 糖尿病	4,376,364	4.2%	73
7	1301 炎症性多発性関節障害	4,297,888	4.1%	19
8	0905 脳内出血	3,953,362	3.8%	4
9	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	3,829,716	3.7%	3
10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	3,653,609	3.5%	24

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

菰崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【清哲町】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0903 その他の心疾患	8,813,391	9.2%	42
2	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	7,470,852	7.8%	44
3	1301 炎症性多発性関節障害	4,898,632	5.1%	18
4	0901 高血圧性疾患	4,622,561	4.8%	96
5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	4,066,399	4.3%	24
6	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3,750,776	3.9%	2
7	1302 関節症	3,571,152	3.7%	37
8	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	3,475,567	3.6%	29
9	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	3,312,340	3.5%	2
10	0606 その他の神経系の疾患	3,151,185	3.3%	53

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【神山町】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	7,846,244	10.2%	20
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	6,543,876	8.5%	16
3	0105 ウイルス性肝炎	4,778,277	6.2%	9
4	0901 高血圧性疾患	4,747,917	6.1%	84
5	0903 その他の心疾患	2,891,430	3.7%	42
6	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	2,798,460	3.6%	44
7	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	2,573,703	3.3%	28
8	1113 その他の消化器系の疾患	2,550,238	3.3%	80
9	0402 糖尿病	2,377,740	3.1%	65
10	1307 その他の脊柱障害	2,349,729	3.0%	7

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

菰崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【旭町】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	23,274,818	9.5%	16
2	0606 その他の神経系の疾患	13,066,372	5.3%	173
3	0901 高血圧性疾患	12,156,163	5.0%	238
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	11,969,109	4.9%	85
5	0402 糖尿病	11,795,647	4.8%	234
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	11,166,527	4.5%	40
7	0903 その他の心疾患	8,946,440	3.6%	92
8	0906 脳梗塞	8,211,781	3.3%	60
9	1301 炎症性多発性関節障害	8,010,730	3.3%	60
10	1113 その他の消化器系の疾患	7,846,638	3.2%	216

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【大草町】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	18,852,163	9.8%	16
2	0901 高血圧性疾患	11,915,501	6.2%	217
3	0906 脳梗塞	10,624,414	5.5%	45
4	0402 糖尿病	10,391,688	5.4%	174
5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	9,812,097	5.1%	78
6	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	8,422,543	4.4%	62
7	0902 虚血性心疾患	7,878,556	4.1%	37
8	0606 その他の神経系の疾患	6,584,099	3.4%	125
9	1113 その他の消化器系の疾患	6,097,905	3.2%	179
10	0403 脂質異常症	5,256,688	2.7%	141

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

菰崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【龍岡町】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	20,294,121	8.4%	19
2	0402 糖尿病	15,500,297	6.4%	186
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	15,425,056	6.4%	87
4	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	12,212,770	5.1%	35
5	0901 高血圧性疾患	11,967,162	5.0%	239
6	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	11,810,041	4.9%	102
7	0912 その他の循環器系の疾患	7,996,374	3.3%	28
8	1113 その他の消化器系の疾患	7,639,075	3.2%	193
9	0403 脂質異常症	6,711,148	2.8%	176
10	0105 ウイルス性肝炎	5,760,681	2.4%	34

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	11,121,703	14.3%	35
2	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	6,912,413	8.9%	26
3	0507 その他の精神及び行動の障害	6,823,763	8.7%	8
4	0501 血管性及び詳細不明の認知症	4,031,079	5.2%	4
5	1402 腎不全	3,664,065	4.7%	3
6	1302 関節症	2,579,143	3.3%	8
7	1011 その他の呼吸器系の疾患	2,421,007	3.1%	24
8	1202 皮膚炎及び湿疹	2,279,997	2.9%	42
9	1113 その他の消化器系の疾患	1,942,259	2.5%	48
10	0506 知的障害<精神遅滞>	1,927,074	2.5%	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

韮崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【韮崎町】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	33,388,874	545	33.8%
2	0402 糖尿病	22,343,235	489	30.3%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9,573,366	458	28.4%
4	1003 その他の急性上気道感染症	3,218,198	440	27.3%
5	0703 屈折及び調節の障害	1,960,139	439	27.2%
6	1006 アレルギー性鼻炎	6,004,020	427	26.5%
7	1113 その他の消化器系の疾患	16,504,737	424	26.3%
8	1105 胃炎及び十二指腸炎	5,829,731	408	25.3%
9	0403 脂質異常症	15,047,249	389	24.1%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	13,674,933	365	22.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【穂坂町】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	11,066,088	202	35.3%
2	0402 糖尿病	9,913,679	166	29.0%
3	1003 その他の急性上気道感染症	1,272,461	161	28.1%
4	1006 アレルギー性鼻炎	1,544,237	152	26.6%
5	0403 脂質異常症	5,561,416	145	25.3%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,826,245	143	25.0%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,929,775	141	24.7%
7	0703 屈折及び調節の障害	638,060	141	24.7%
9	1113 その他の消化器系の疾患	6,006,622	137	24.0%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	3,270,457	134	23.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

韮崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【藤井町】 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	17,796,683	328	35.5%
2	1003 その他の急性上気道感染症	1,644,333	258	28.0%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,234,147	250	27.1%
4	0402 糖尿病	14,967,500	242	26.2%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,831,149	235	25.5%
6	0703 屈折及び調節の障害	1,010,492	231	25.0%
7	0403 脂質異常症	8,600,677	228	24.7%
8	1113 その他の消化器系の疾患	8,891,450	217	23.5%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	5,025,296	211	22.9%
10	1006 アレルギー性鼻炎	2,282,514	209	22.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【中田町】 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	7,784,073	130	36.9%
2	1113 その他の消化器系の疾患	3,244,074	103	29.3%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,642,822	96	27.3%
4	0403 脂質異常症	3,228,171	92	26.1%
5	0402 糖尿病	5,695,598	89	25.3%
6	1003 その他の急性上気道感染症	654,850	88	25.0%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,139,102	84	23.9%
8	0606 その他の神経系の疾患	5,295,355	83	23.6%
9	0703 屈折及び調節の障害	331,104	77	21.9%
10	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	2,371,137	74	21.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

菰崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【穴山町】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	5,271,534	98	31.6%
2	0402 糖尿病	4,359,059	90	29.0%
2	0703 屈折及び調節の障害	364,994	90	29.0%
4	1113 その他の消化器系の疾患	2,420,801	76	24.5%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,432,361	76	24.5%
4	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1,067,657	76	24.5%
7	1202 皮膚炎及び湿疹	571,708	74	23.9%
8	1003 その他の急性上気道感染症	536,474	71	22.9%
9	0403 脂質異常症	2,656,691	67	21.6%
9	1105 胃炎及び十二指腸炎	796,397	67	21.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【円野町】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	5,379,626	101	39.9%
2	1113 その他の消化器系の疾患	3,466,014	81	32.0%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,452,406	80	31.6%
4	1003 その他の急性上気道感染症	448,707	78	30.8%
5	0402 糖尿病	4,376,364	73	28.9%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,112,344	72	28.5%
7	0606 その他の神経系の疾患	5,440,996	65	25.7%
8	0403 脂質異常症	2,990,274	64	25.3%
8	1006 アレルギー性鼻炎	985,595	64	25.3%
10	0703 屈折及び調節の障害	446,489	61	24.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

菫崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【清哲町】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	4,622,561	96	40.5%
2	1113 その他の消化器系の疾患	3,065,069	87	36.7%
3	0402 糖尿病	2,886,126	75	31.6%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	888,778	75	31.6%
5	1003 その他の急性上気道感染症	544,699	68	28.7%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	983,839	66	27.8%
7	0403 脂質異常症	2,378,692	63	26.6%
8	0703 屈折及び調節の障害	255,327	60	25.3%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1,462,534	56	23.6%
10	0606 その他の神経系の疾患	3,151,185	53	22.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【神山町】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	4,747,917	84	35.7%
2	1113 その他の消化器系の疾患	2,550,238	80	34.0%
3	0402 糖尿病	2,377,740	65	27.7%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,113,385	65	27.7%
5	1003 その他の急性上気道感染症	406,449	61	26.0%
6	1006 アレルギー性鼻炎	736,645	58	24.7%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,530,810	56	23.8%
7	0703 屈折及び調節の障害	228,927	56	23.8%
9	0403 脂質異常症	1,869,028	52	22.1%
9	0606 その他の神経系の疾患	1,462,447	52	22.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

菰崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【旭町】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	12,156,163	238	31.9%
2	0402 糖尿病	11,795,647	234	31.3%
3	1113 その他の消化器系の疾患	7,846,638	216	28.9%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,547,604	194	26.0%
5	0403 脂質異常症	6,432,697	182	24.4%
6	0703 屈折及び調節の障害	935,333	175	23.4%
7	0606 その他の神経系の疾患	13,066,372	173	23.2%
8	1006 アレルギー性鼻炎	2,330,577	169	22.6%
9	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,101,273	157	21.0%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	3,793,191	147	19.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【大草町】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	11,915,501	217	33.6%
2	1113 その他の消化器系の疾患	6,097,905	179	27.7%
3	0402 糖尿病	10,391,688	174	26.9%
4	1006 アレルギー性鼻炎	1,641,809	155	24.0%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,013,459	154	23.8%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,360,436	152	23.5%
7	0403 脂質異常症	5,256,688	141	21.8%
8	0703 屈折及び調節の障害	796,484	136	21.1%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	2,736,484	132	20.4%
9	1003 その他の急性上気道感染症	902,026	132	20.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

菫崎町	穂坂町	藤井町	中田町	穴山町	円野町
清哲町	神山町	旭町	大草町	龍岡町	その他

【龍岡町】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	11,967,162	239	34.1%
2	0703 屈折及び調節の障害	1,005,297	201	28.7%
3	1113 その他の消化器系の疾患	7,639,075	193	27.5%
4	0402 糖尿病	15,500,297	186	26.5%
5	1006 アレルギー性鼻炎	1,942,221	183	26.1%
6	0403 脂質異常症	6,711,148	176	25.1%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,437,792	175	25.0%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	4,635,561	165	23.5%
9	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,916,944	159	22.7%
10	1003 その他の急性上気道感染症	1,188,680	154	22.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113 その他の消化器系の疾患	1,942,259	48	30.0%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	426,648	43	26.9%
3	1202 皮膚炎及び湿疹	2,279,997	42	26.3%
3	0606 その他の神経系の疾患	1,126,003	42	26.3%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	756,695	38	23.8%
6	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	11,121,703	35	21.9%
7	0402 糖尿病	1,602,871	32	20.0%
7	1006 アレルギー性鼻炎	438,237	32	20.0%
9	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	592,399	30	18.8%
9	1003 その他の急性上気道感染症	228,382	30	18.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

年度別 特定健康診査結果分析

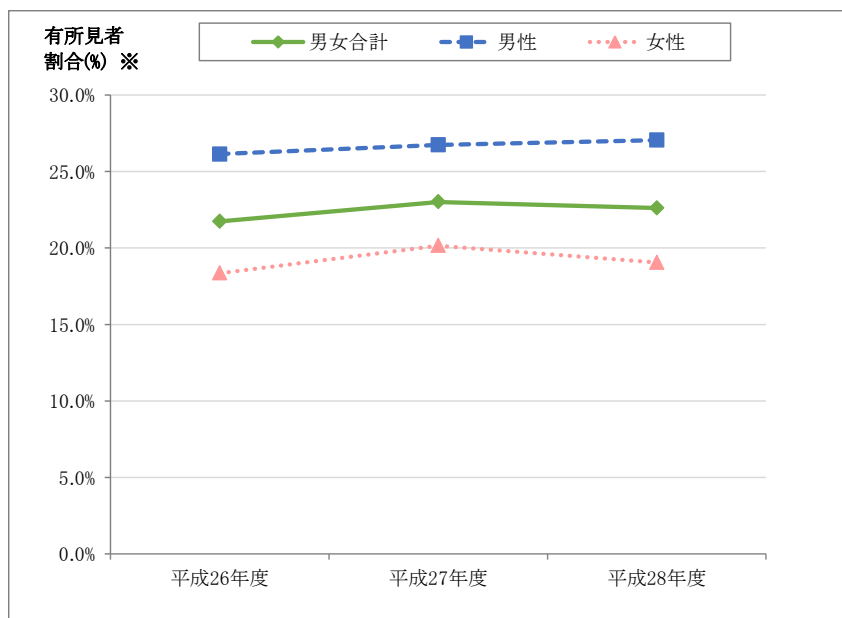
1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,475	2,621	2,649
	有所見者数(人) ※	538	603	599
	有所見者割合(%) ※	21.7%	23.0%	22.6%
男性	対象者数(人) ※	1,075	1,137	1,179
	有所見者数(人) ※	281	304	319
	有所見者割合(%) ※	26.1%	26.7%	27.1%
女性	対象者数(人) ※	1,400	1,484	1,470
	有所見者数(人) ※	257	299	280
	有所見者割合(%) ※	18.4%	20.1%	19.0%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

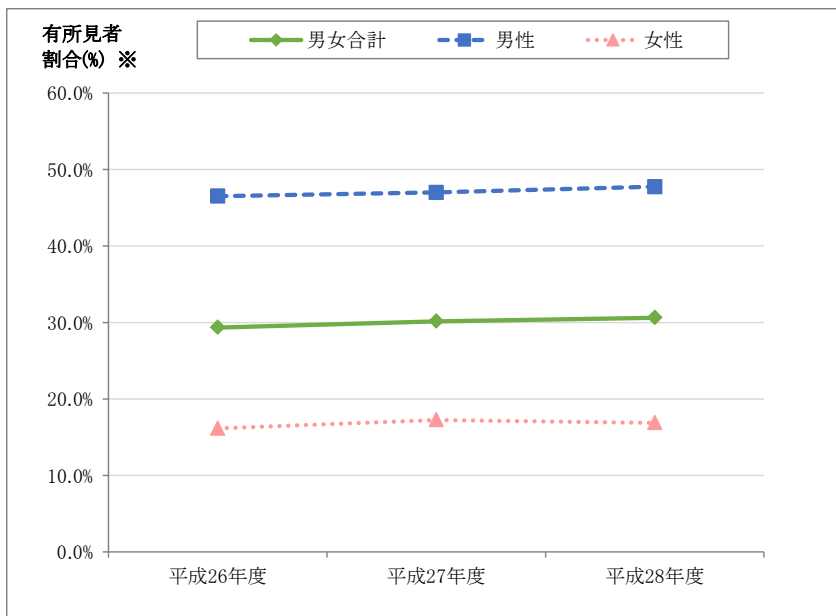
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,475	2,620	2,649
	有所見者数(人) ※	726	790	811
	有所見者割合(%) ※	29.3%	30.2%	30.6%
男性	対象者数(人) ※	1,075	1,136	1,179
	有所見者数(人) ※	500	534	563
	有所見者割合(%) ※	46.5%	47.0%	47.8%
女性	対象者数(人) ※	1,400	1,484	1,470
	有所見者数(人) ※	226	256	248
	有所見者割合(%) ※	16.1%	17.3%	16.9%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

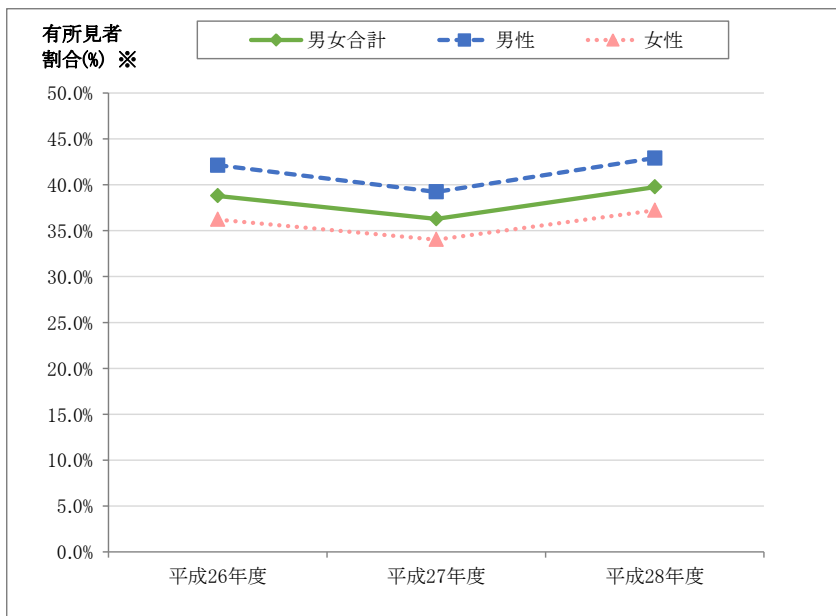
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,475	2,621	2,649
	有所見者数(人) ※	960	951	1,053
	有所見者割合(%) ※	38.8%	36.3%	39.8%
男性	対象者数(人) ※	1,075	1,137	1,179
	有所見者数(人) ※	453	446	506
	有所見者割合(%) ※	42.1%	39.2%	42.9%
女性	対象者数(人) ※	1,400	1,484	1,470
	有所見者数(人) ※	507	505	547
	有所見者割合(%) ※	36.2%	34.0%	37.2%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

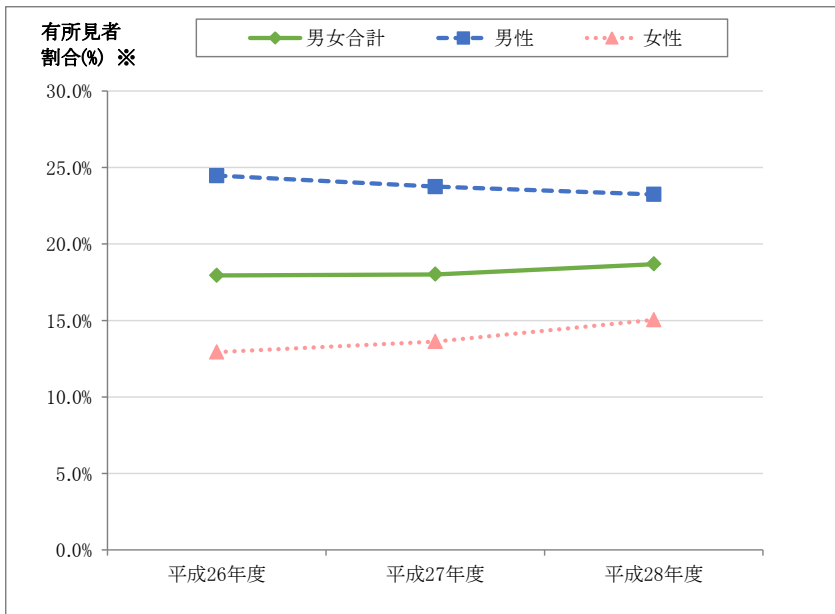
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,475	2,621	2,649
	有所見者数(人) ※	444	472	495
	有所見者割合(%) ※	17.9%	18.0%	18.7%
男性	対象者数(人) ※	1,075	1,137	1,179
	有所見者数(人) ※	263	270	274
	有所見者割合(%) ※	24.5%	23.7%	23.2%
女性	対象者数(人) ※	1,400	1,484	1,470
	有所見者数(人) ※	181	202	221
	有所見者割合(%) ※	12.9%	13.6%	15.0%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

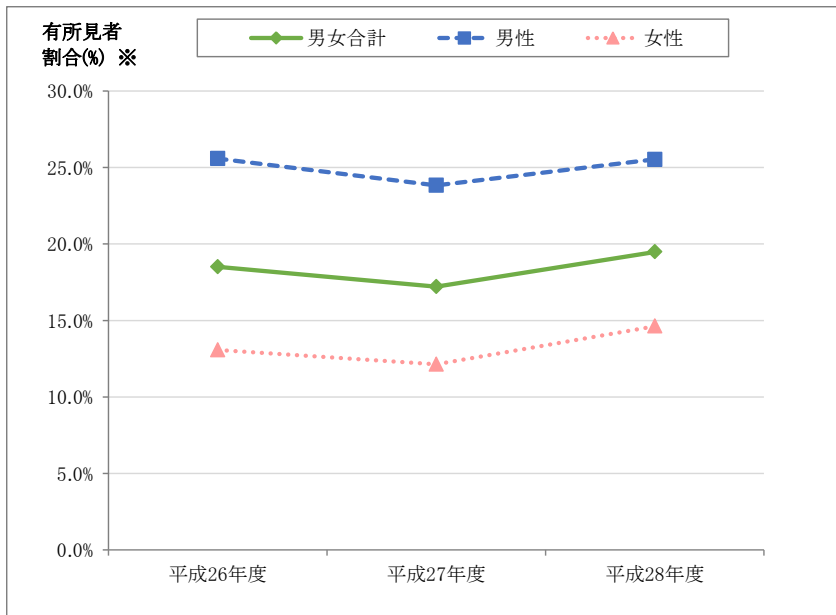
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,475	2,621	2,649
	有所見者数(人) ※	458	451	516
	有所見者割合(%) ※	18.5%	17.2%	19.5%
男性	対象者数(人) ※	1,075	1,137	1,179
	有所見者数(人) ※	275	271	301
	有所見者割合(%) ※	25.6%	23.8%	25.5%
女性	対象者数(人) ※	1,400	1,484	1,470
	有所見者数(人) ※	183	180	215
	有所見者割合(%) ※	13.1%	12.1%	14.6%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

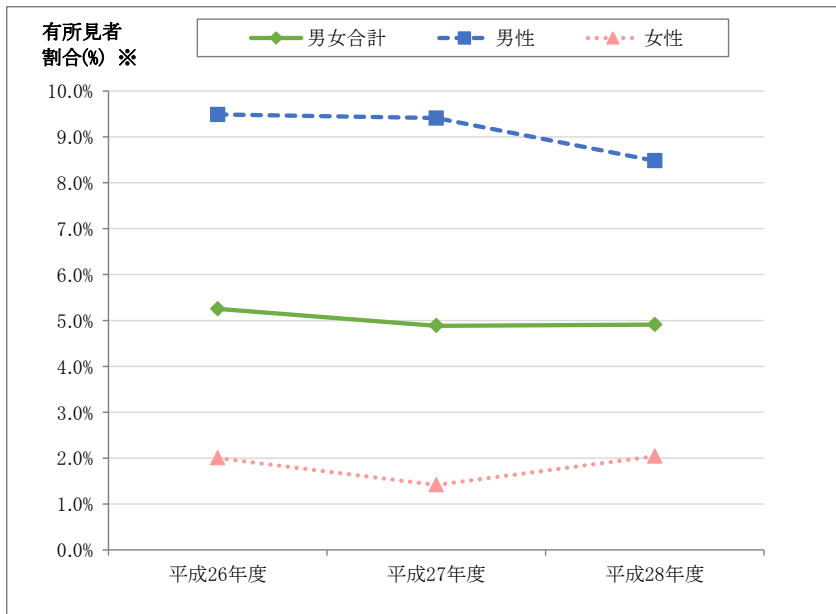
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,475	2,621	2,649
	有所見者数(人) ※	130	128	130
	有所見者割合(%) ※	5.3%	4.9%	4.9%
男性	対象者数(人) ※	1,075	1,137	1,179
	有所見者数(人) ※	102	107	100
	有所見者割合(%) ※	9.5%	9.4%	8.5%
女性	対象者数(人) ※	1,400	1,484	1,470
	有所見者数(人) ※	28	21	30
	有所見者割合(%) ※	2.0%	1.4%	2.0%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

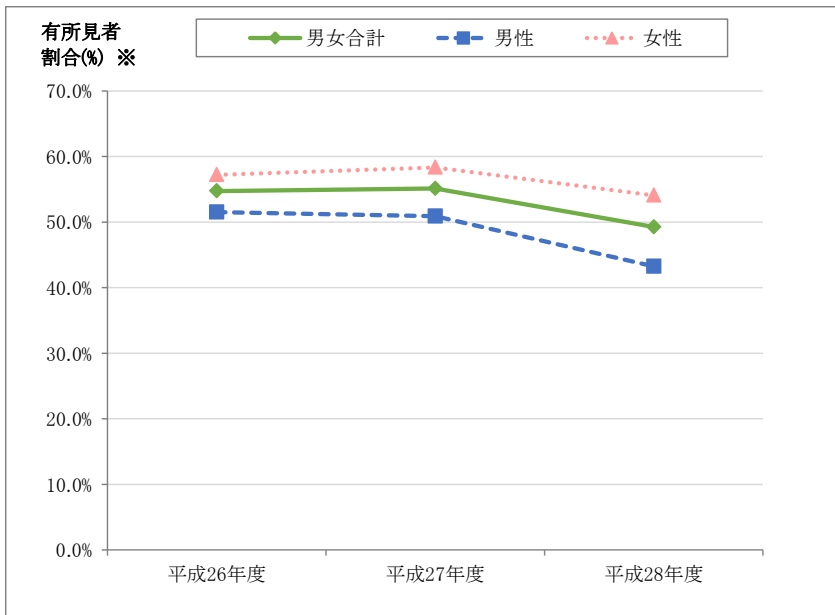
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,475	2,621	2,649
	有所見者数(人) ※	1,355	1,445	1,305
	有所見者割合(%) ※	54.7%	55.1%	49.3%
男性	対象者数(人) ※	1,075	1,137	1,179
	有所見者数(人) ※	554	579	510
	有所見者割合(%) ※	51.5%	50.9%	43.3%
女性	対象者数(人) ※	1,400	1,484	1,470
	有所見者数(人) ※	801	866	795
	有所見者割合(%) ※	57.2%	58.4%	54.1%

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

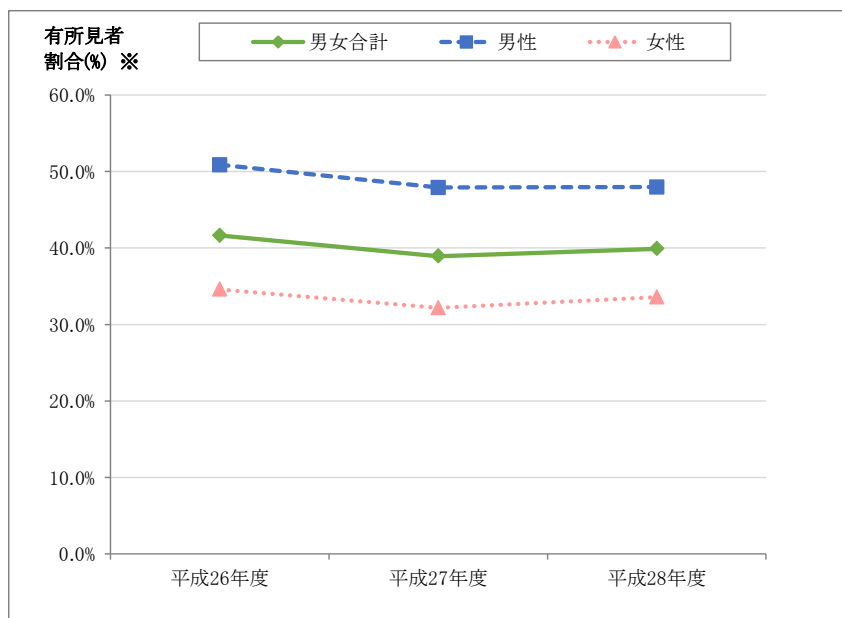
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,381	2,500	2,529
	有所見者数(人) ※	991	973	1,009
	有所見者割合(%) ※	41.6%	38.9%	39.9%
男性	対象者数(人) ※	1,028	1,073	1,111
	有所見者数(人) ※	523	514	533
	有所見者割合(%) ※	50.9%	47.9%	48.0%
女性	対象者数(人) ※	1,353	1,427	1,418
	有所見者数(人) ※	468	459	476
	有所見者割合(%) ※	34.6%	32.2%	33.6%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

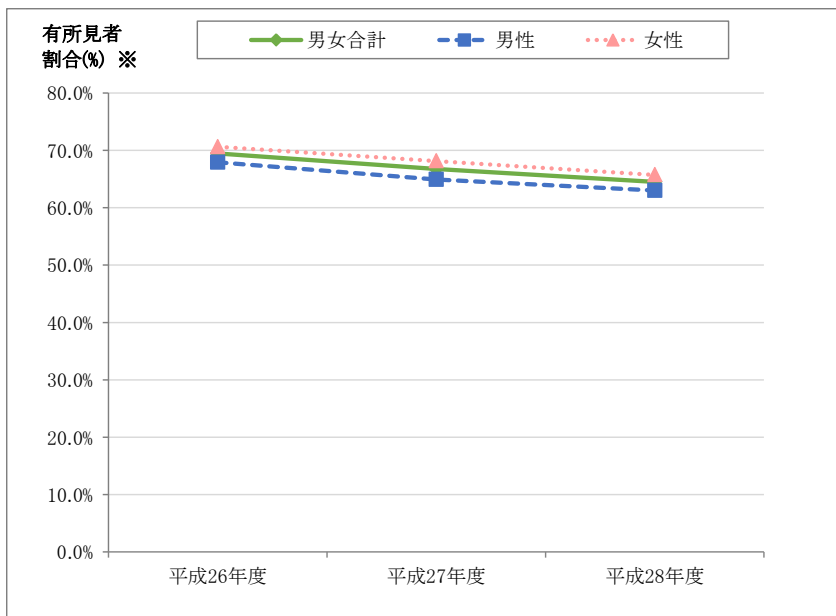
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,436	2,584	2,559
	有所見者数(人) ※	1,692	1,725	1,651
	有所見者割合(%) ※	69.5%	66.8%	64.5%
男性	対象者数(人) ※	1,057	1,115	1,141
	有所見者数(人) ※	718	724	719
	有所見者割合(%) ※	67.9%	64.9%	63.0%
女性	対象者数(人) ※	1,379	1,469	1,418
	有所見者数(人) ※	974	1,001	932
	有所見者割合(%) ※	70.6%	68.1%	65.7%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

2. 質問別回答状況

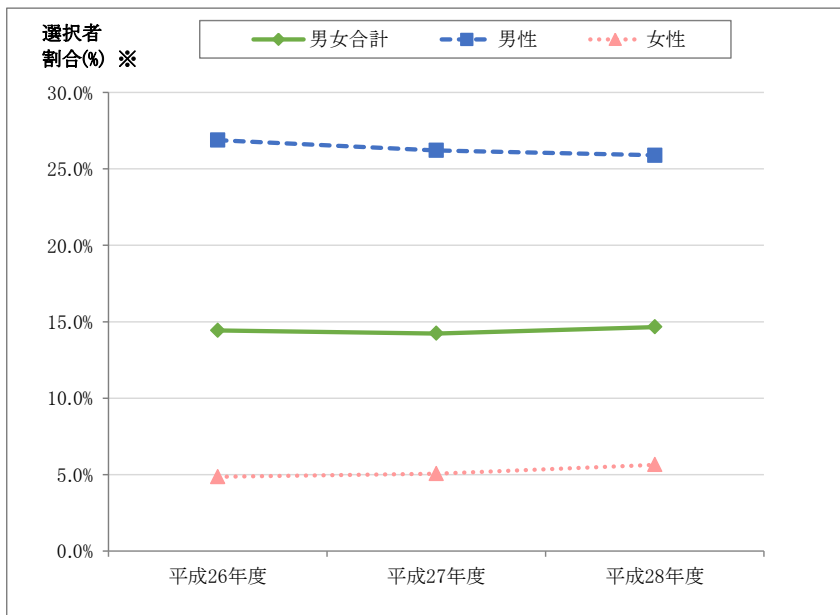
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,475	2,621	2,648
	選択者数(人) ※	357	373	388
	選択者割合(%) ※	14.4%	14.2%	14.7%
男性	質問回答者数(人) ※	1,075	1,137	1,178
	選択者数(人) ※	289	298	305
	選択者割合(%) ※	26.9%	26.2%	25.9%
女性	質問回答者数(人) ※	1,400	1,484	1,470
	選択者数(人) ※	68	75	83
	選択者割合(%) ※	4.9%	5.1%	5.6%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

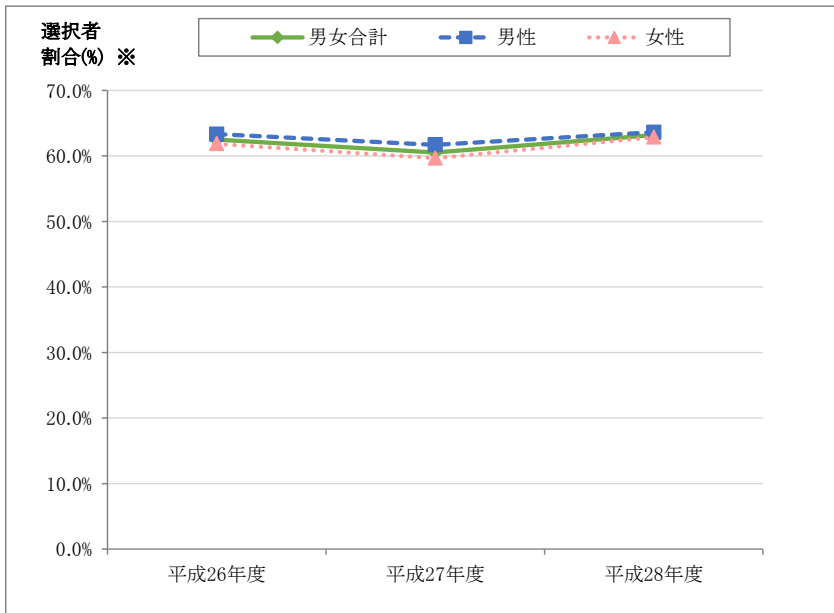
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,372	2,508	2,461
	選択者数(人) ※	1,482	1,518	1,555
	選択者割合(%) ※	62.5%	60.5%	63.2%
男性	質問回答者数(人) ※	1,017	1,076	1,080
	選択者数(人) ※	644	664	687
	選択者割合(%) ※	63.3%	61.7%	63.6%
女性	質問回答者数(人) ※	1,355	1,432	1,381
	選択者数(人) ※	838	854	868
	選択者割合(%) ※	61.8%	59.6%	62.9%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

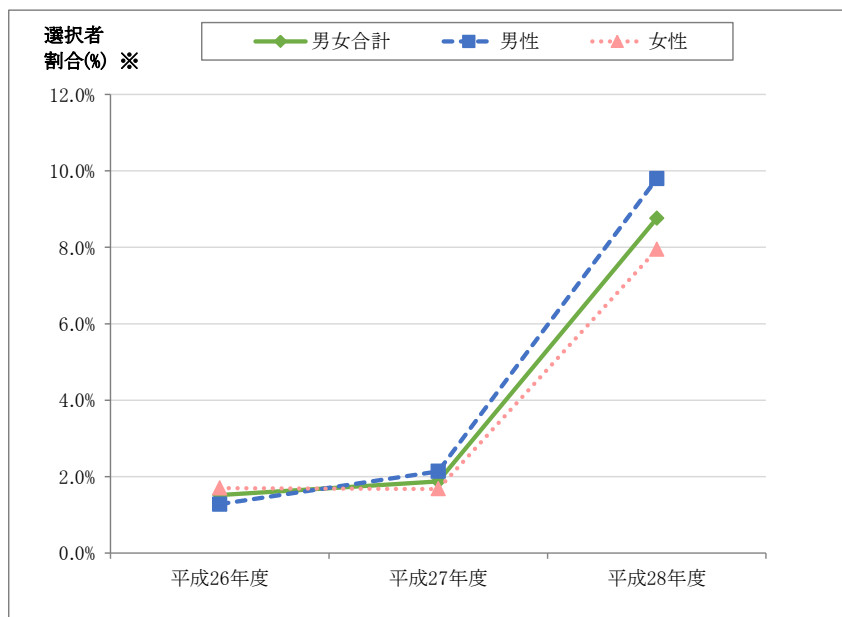
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,372	2,508	2,467
	選択者数(人) ※	36	47	216
	選択者割合(%) ※	1.5%	1.9%	8.8%
男性	質問回答者数(人) ※	1,017	1,076	1,082
	選択者数(人) ※	13	23	106
	選択者割合(%) ※	1.3%	2.1%	9.8%
女性	質問回答者数(人) ※	1,355	1,432	1,385
	選択者数(人) ※	23	24	110
	選択者割合(%) ※	1.7%	1.7%	7.9%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

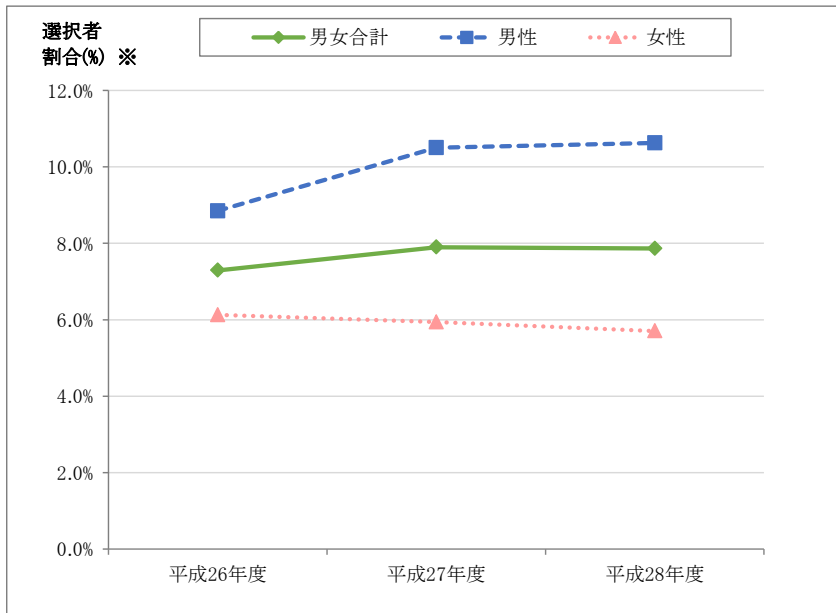
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,372	2,507	2,467
	選択者数(人) ※	173	198	194
	選択者割合(%) ※	7.3%	7.9%	7.9%
男性	質問回答者数(人) ※	1,017	1,076	1,082
	選択者数(人) ※	90	113	115
	選択者割合(%) ※	8.8%	10.5%	10.6%
女性	質問回答者数(人) ※	1,355	1,431	1,385
	選択者数(人) ※	83	85	79
	選択者割合(%) ※	6.1%	5.9%	5.7%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

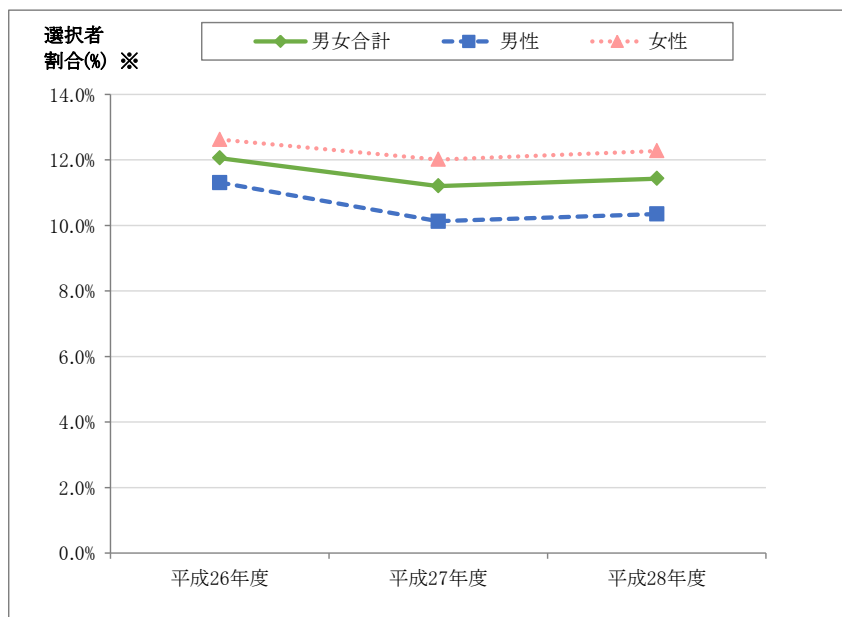
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,372	2,508	2,467
	選択者数(人) ※	286	281	282
	選択者割合(%) ※	12.1%	11.2%	11.4%
男性	質問回答者数(人) ※	1,017	1,076	1,082
	選択者数(人) ※	115	109	112
	選択者割合(%) ※	11.3%	10.1%	10.4%
女性	質問回答者数(人) ※	1,355	1,432	1,385
	選択者数(人) ※	171	172	170
	選択者割合(%) ※	12.6%	12.0%	12.3%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

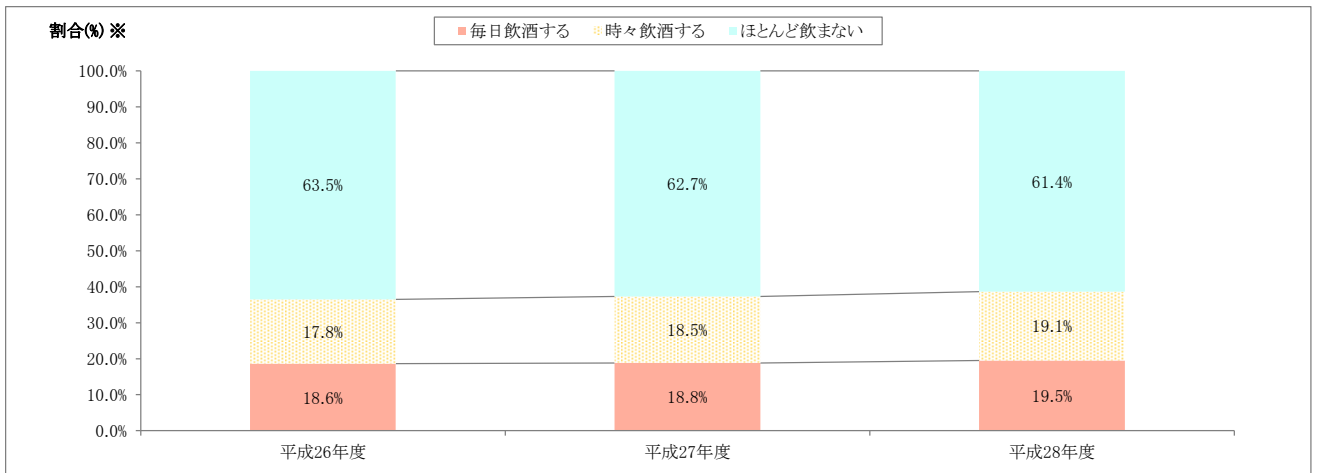
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④ 飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,372	442	18.6%	423	17.8%	1,507	63.5%
平成27年度	2,508	472	18.8%	463	18.5%	1,573	62.7%
平成28年度	2,467	481	19.5%	472	19.1%	1,514	61.4%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

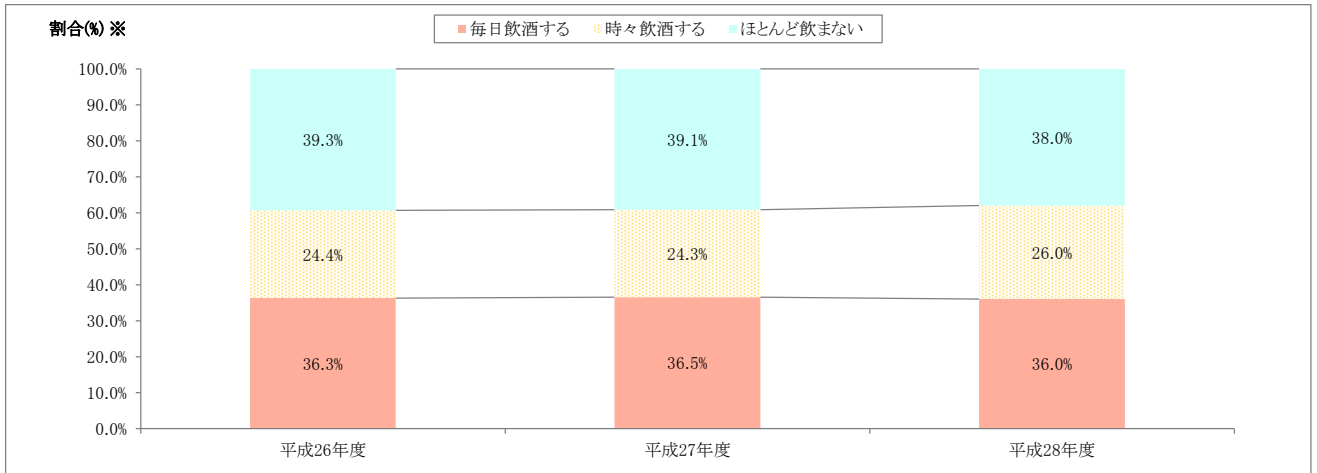
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,017	369	36.3%	248	24.4%	400	39.3%
平成27年度	1,076	393	36.5%	262	24.3%	421	39.1%
平成28年度	1,082	390	36.0%	281	26.0%	411	38.0%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

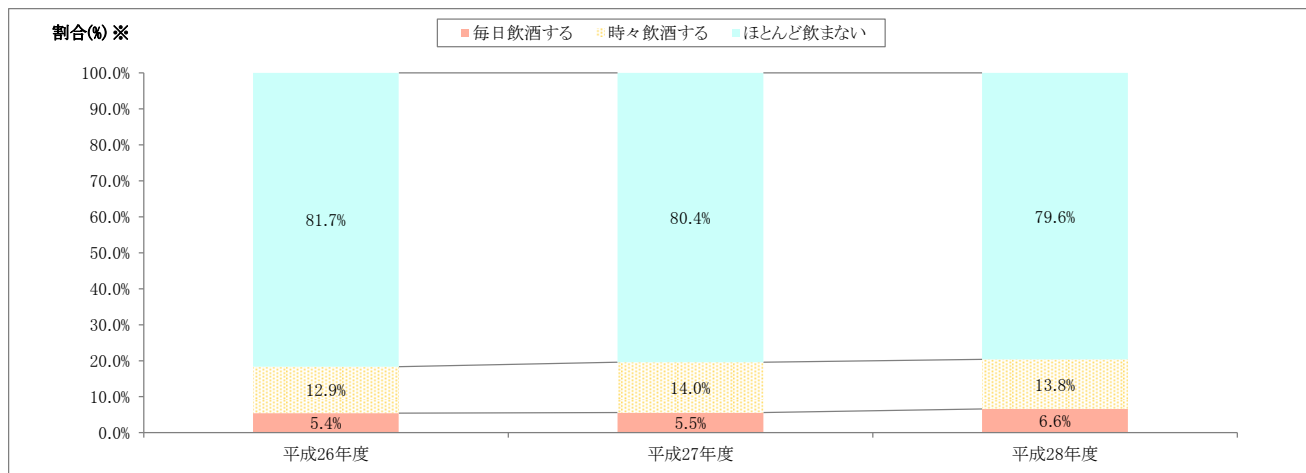
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,355	73	5.4%	175	12.9%	1,107	81.7%
平成27年度	1,432	79	5.5%	201	14.0%	1,152	80.4%
平成28年度	1,385	91	6.6%	191	13.8%	1,103	79.6%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

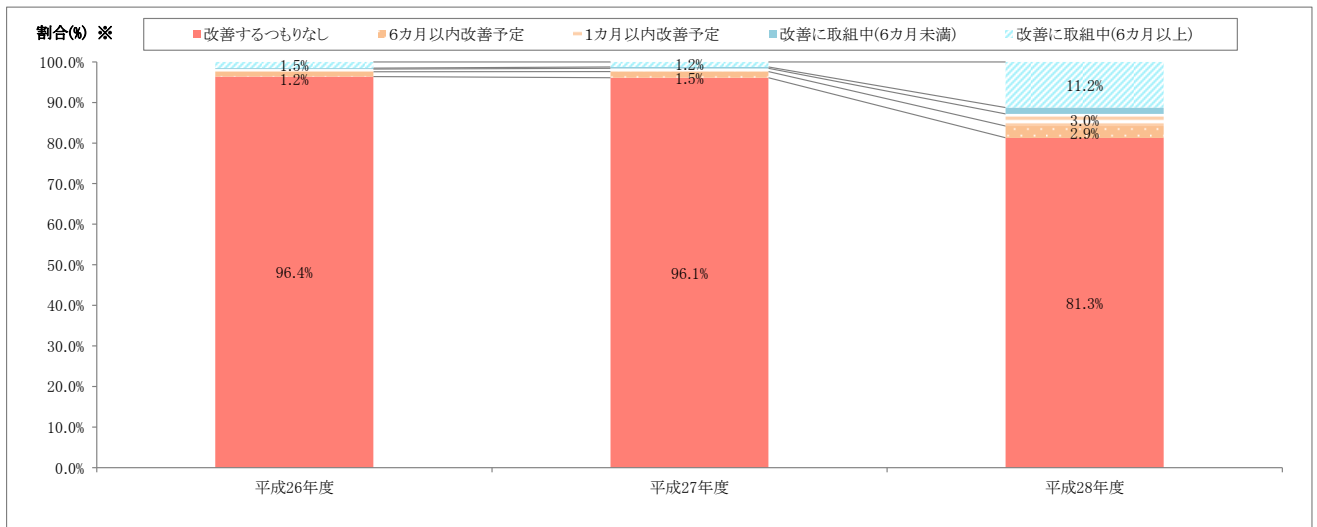
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,372	2,286	96.4%	28	1.2%	16	0.7%
平成27年度	2,508	2,410	96.1%	38	1.5%	20	0.8%
平成28年度	2,464	2,003	81.3%	72	2.9%	73	3.0%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,372	6	0.3%	36	1.5%
平成27年度	2,508	9	0.4%	31	1.2%
平成28年度	2,464	39	1.6%	277	11.2%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

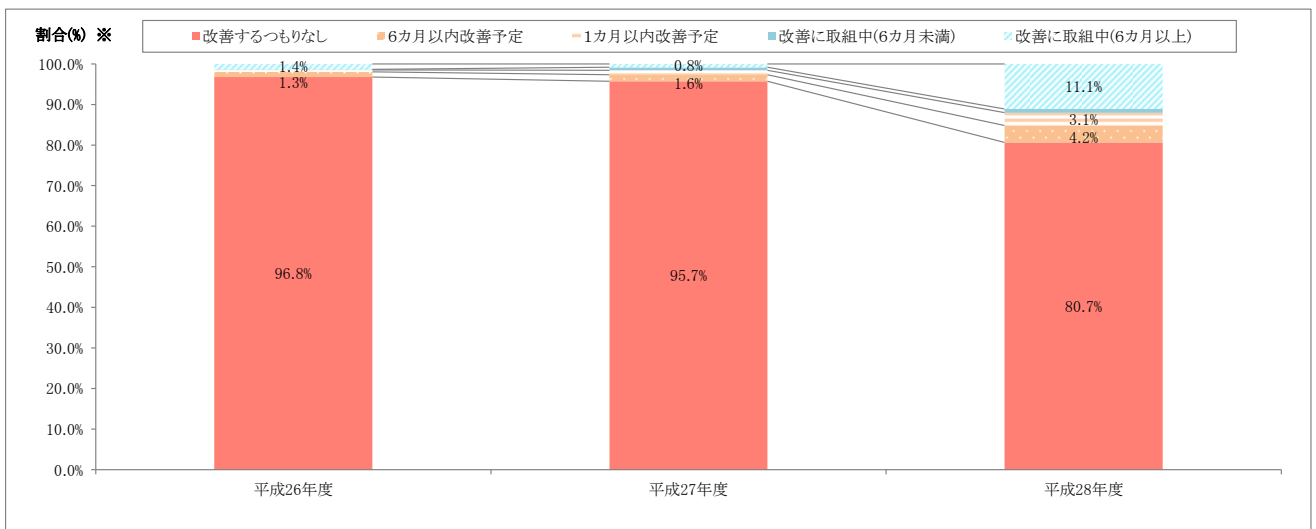
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,017	984	96.8%	13	1.3%	5	0.5%
平成27年度	1,076	1,030	95.7%	17	1.6%	12	1.1%
平成28年度	1,081	872	80.7%	45	4.2%	34	3.1%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,017	1	0.1%	14	1.4%
平成27年度	1,076	8	0.7%	9	0.8%
平成28年度	1,081	10	0.9%	120	11.1%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

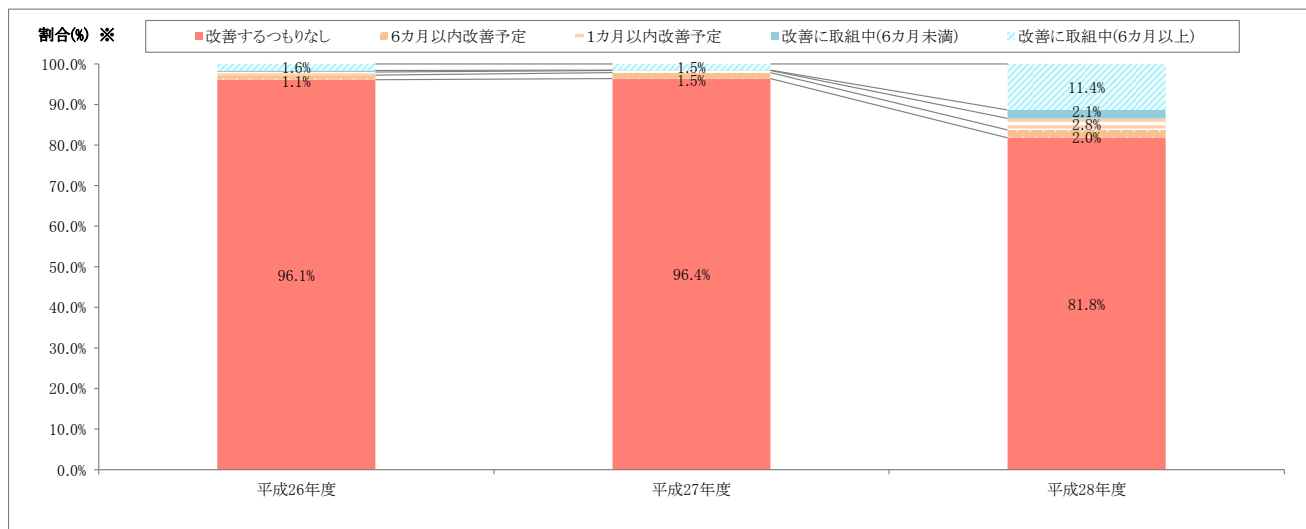
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,355	1,302	96.1%	15	1.1%	11	0.8%
平成27年度	1,432	1,380	96.4%	21	1.5%	8	0.6%
平成28年度	1,383	1,131	81.8%	27	2.0%	39	2.8%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,355	5	0.4%	22	1.6%
平成27年度	1,432	1	0.1%	22	1.5%
平成28年度	1,383	29	2.1%	157	11.4%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

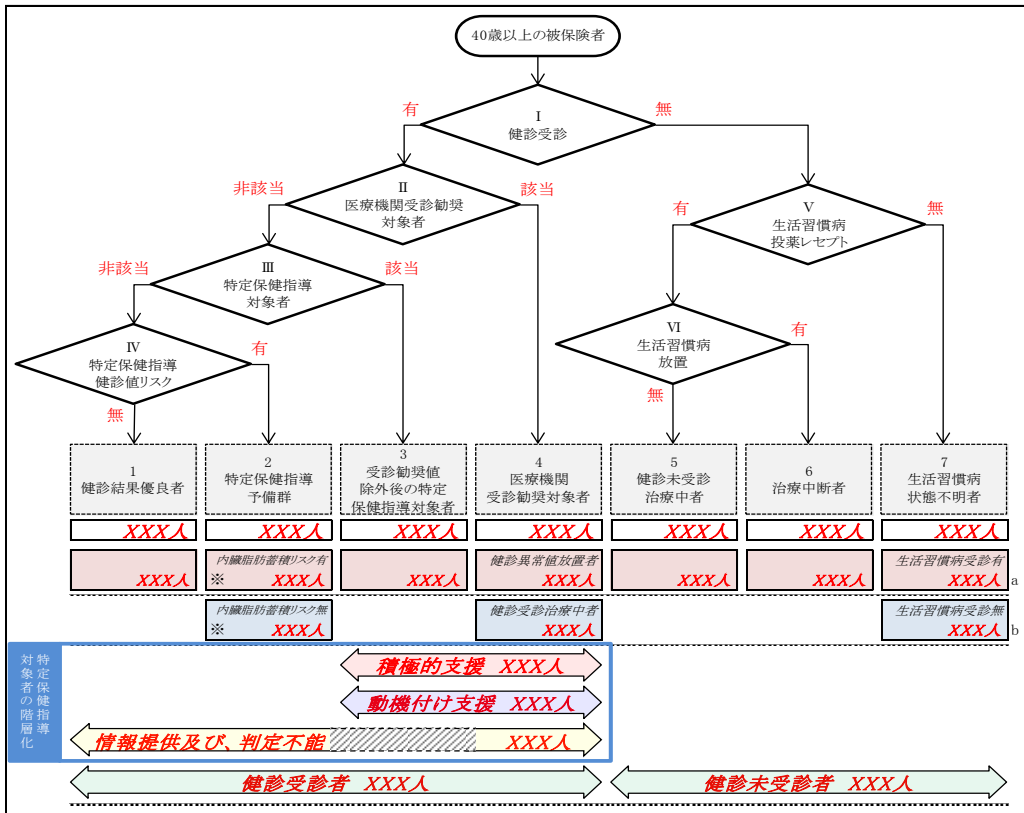
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 ……健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 ……健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 ……厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク ……厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト ……生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 ……生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 ……保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 ……保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 ……「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 ……「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 ……受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者
 - 健診異常値放置者 ……「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 ……「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 ……生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 ……過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病投薬レセプト ……生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 ……「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 ……「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	DPC	包括医療費支払い制度。入院期間中に治療した病気の中で最も医療資源を投入した一疾患のみに厚生労働省が定めた1日当たりの定額の点数からなる包括評価部分(入院基本料、検査、投薬、注射、画像診断など)と、出来高評価部分(手術、胃カメラ、リハビリなど)を組み合わせて計算する方式。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の年齢に達する者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさったり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		